

遠 軽 町 耐 震 改 修 促 進 計 画

平成 31 年 3 月

遠軽町

目 次

第1章 はじめに	1
1 計画策定の背景	1
2 計画の目的	2
3 対象区域・計画期間	2
4 計画の位置づけ	2
5 策定体制	3
6 町の概要	4
第2章 耐震診断及び耐震改修の実施に関する目標.....	9
1 想定される地震及び被害状況調査	9
2 耐震化対策の現状の把握	47
3 平成 32 年度を目処とした耐震化の目標設定	55
4 耐震化に向けた取組方針	56
第3章 耐震化促進に向けた施策	59
1 住宅・建築物の地震防災対策に関する啓発、知識の普及	60
2 耐震診断・改修の促進を図るための支援や環境整備	62
3 耐震診断・改修を担う人材の技術力向上	74
第4章 耐震改修促進法及び建築基準法に基づく指導.....	75
1 耐震改修促進法に基づく指導等	75
2 建築基準法に基づく勧告又は命令	75
3 所管行政庁との連携	75

第1章 はじめに

1 計画策定の背景

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国では同年10月に「建築物の耐震改修の促進に関する法律（以下「耐震改修促進法」という）」を制定し、建築物の地震に対する安全性の向上を図ることとしました。

その後、東南海・南海地震、首都圏直下型地震など大地震が想定される警戒地域外で、平成16年10月の新潟県中越地震、平成17年3月の福岡県西方沖地震などの大地震が頻発し、全国いっどこで大地震が発生してもおかしくない状況にあるとの認識が広まり、これを受け、平成18年1月に耐震改修促進法の改正法が施行され、国及び地方公共団体による計画的な耐震化の促進や建物所有者に対する指導等について強化されることとなりました。

このような動向を受け北海道では平成18年12月に「北海道耐震改修促進計画」を策定、町においても計画的な耐震化の推進を図るため、平成21年度に平成22～27年度までを計画期間とする「遠軽町耐震改修促進計画」を策定し、平成27年度までの住宅及び多数の者が利用する建築物の耐震化率の目標を定め、地震に強い住宅・建築物の確保や耐震改修・地震防災に対する住民意識の啓発、耐震改修に係る関連技術者の支援、特定建築物の耐震化の促進等を行ってきました。

しかし、平成23年3月に発生した東日本大震災では、これまでの想定を超える巨大な地震・津波により、多くの人命が失われ、甚大な被害をもたらすなど、住宅や建築物の安全性を取り巻く情勢が大きく変化しています。

国では、平成25年11月に、耐震改修促進法を改正し、地震に対する安全性の向上を一層促進することとし、北海道においても平成28年5月に北海道耐震改修促進計画を見直し、市町村においても耐震改修促進計画の改定に努めることとしています。

以上を踏まえ、「遠軽町耐震改修促進計画」は平成27年度で計画期間が終了していることから、これまでの実施状況に関する調査・検証を行うとともに、国や道の目標を踏まえた新たな耐震化の目標を設定する必要があるため、計画の見直しを行います。

表 1-1 耐震改修促進法の変遷

年	関係法令の制定、改正	概要	主な背景
昭和 55 年	建築基準法改正 (新耐震基準の整備)	構造計算に動的な考え方を盛り込んだ、いわゆる「新耐震基準」を義務化。	宮城県沖地震 (昭和 53 年)
平成 7 年	耐震改修促進法制定	建築物の耐震性の向上を目的とした新たな法律を制定。 特定建築物所有者の耐震診断、耐震改修の責務を規定。	兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災：平成 7 年)
平成 17 年	耐震改修促進法改正	計画的な耐震化の促進を目的として、自治体による耐震改修促進計画の策定責務を法に規定。 特定建築物の範囲の拡大。	新潟県中越地震 (平成 16 年) 福岡県西方沖地震 (平成 17 年)
平成 25 年	耐震改修促進法改正	要緊急安全確認大規模建築物、要安全確認計画記載建築物の所有者に耐震診断の実績及び結果報告の義務を規定。 原則、全ての建築物の所有者に耐震診断、耐震改修の努力義務を規定。	岩手・宮城内陸地震 (平成 20 年) 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災：平成 23 年)

2 計画の目的

本計画は、住宅建築物と不特定多数の者が利用する建築物において現状を把握し、その建築物の耐震化にむけて具体的な目標を設定し、目標の達成のために必要な施策を定め、計画的に町内における建築物の耐震性の向上を図ることとします。

3 対象区域・計画期間

本計画の対象区域は町全域とし、計画期間は 7 年間（平成 31～37 年度）としますが、耐震化の目標年度は国の基本方針、北海道耐震改修促進計画との整合性を図り、平成 32 年度とします。

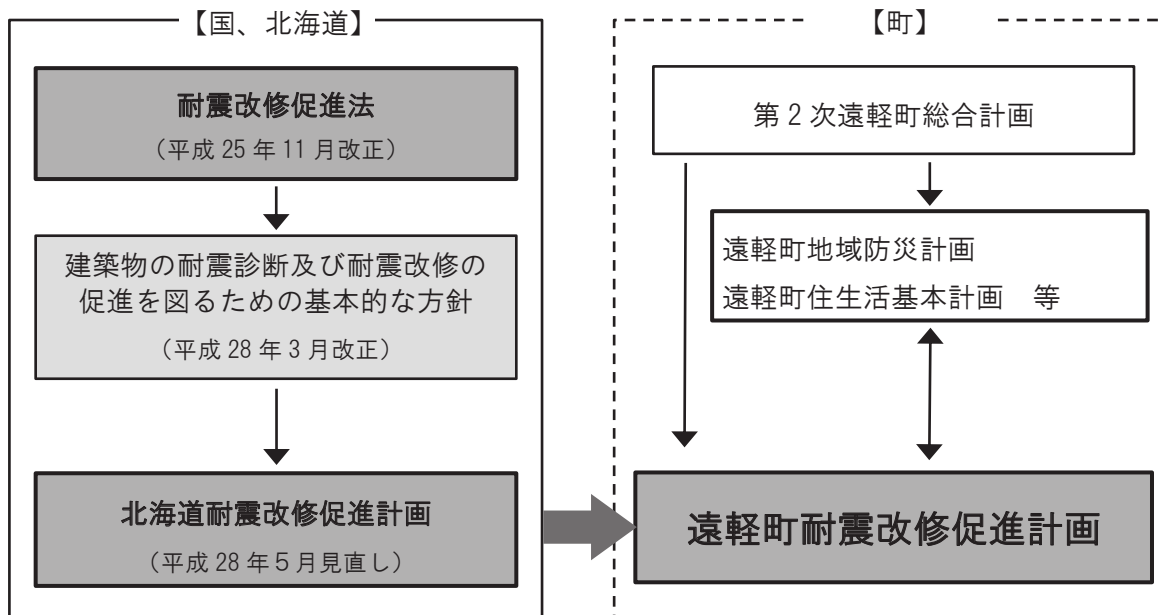
なお、社会情勢等が大きく変化し、本計画の見直しが必要となった場合は適宜見直しを行います。

4 計画の位置づけ

本計画は、耐震改修促進法第 6 条の「市町村は、都道府県耐震改修促進計画に基づき、当該市町村の区域内の建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための計画を定めるよう努めるものとする」に基づき策定します。

本計画の策定にあたっては、上位計画、関連計画、その他分野別計画との整合性を図ります。

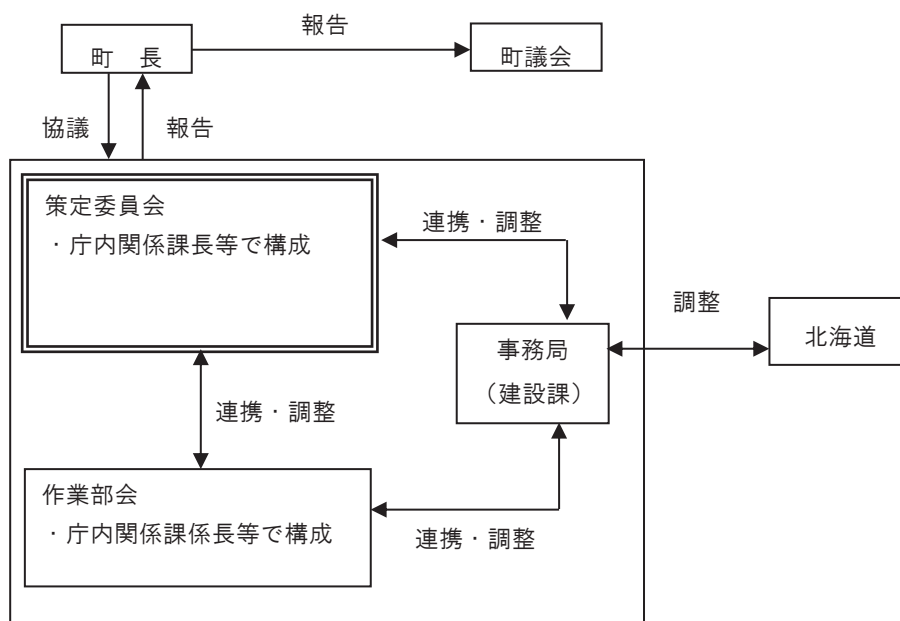
図 1-1 計画の位置づけ



5 策定体制

耐震改修促進計画の策定においては、計画の公認として「策定委員会」、庁内調整の場として「作業部会」を設置します。

図 1-2 策定体制



6 町の概要

(1) 位置・地形

町は、北海道の北東部、オホーツク管内のほぼ中央、内陸側に位置し、面積は133,245haとなっています。北は紋別市・滝上町、東は湧別町・佐呂間町、西は上川町、南は北見市に接しており、東西47km、南北46kmにわたる緑豊かなまちです。

町を貫流する湧別川の上流側に位置し、支湧別川、武利川、丸瀬布川、瀬戸瀬川、生田原川、サナブチ川のほか多数の支流が合流し、そこに広がる肥よくな大地は、開拓当初から農耕地に適した環境として繁栄してきました。

図 1-3 町の位置

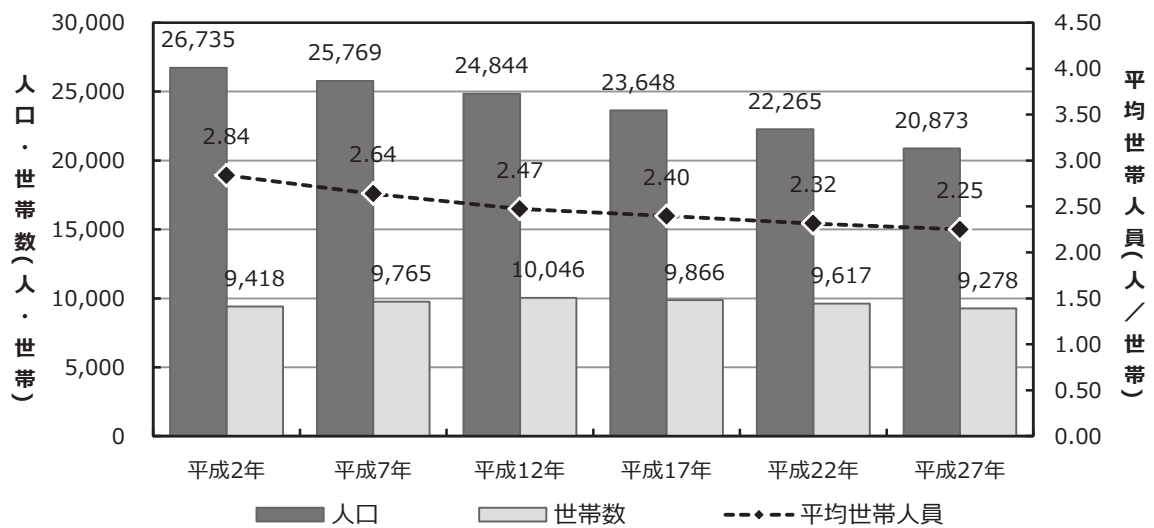


(2) 人口・世帯

人口・世帯数は平成 27 年国勢調査では 20,873 人、9,278 世帯となっています。推移をみると、人口は減少傾向となっており、世帯数は平成 12 年までは増加傾向となっていました、平成 17 年には減少に転じています。

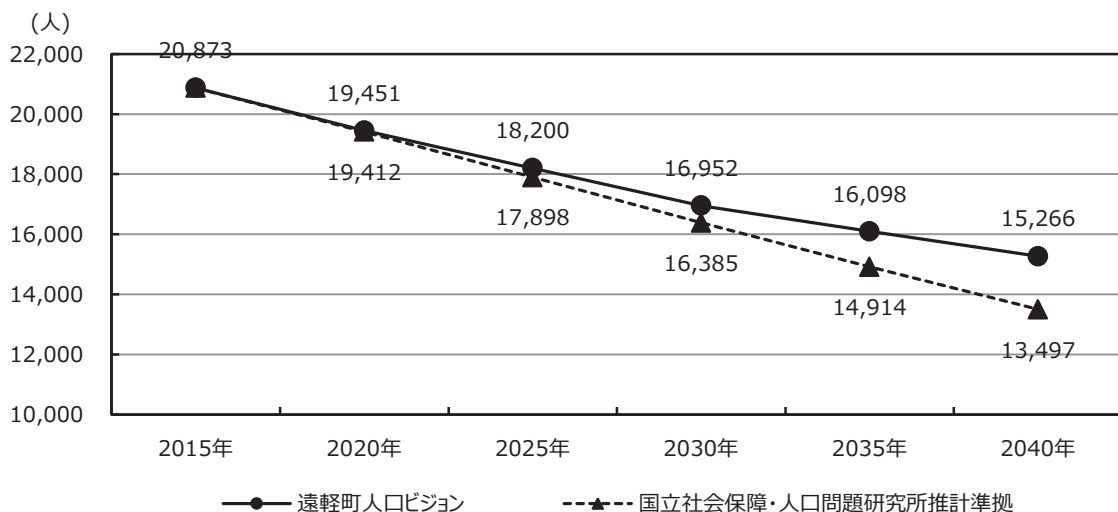
遠軽町人口ビジョンによる将来人口の推移をみると、2040 年で国立社会保障・人口問題研究所の推計が 13,497 人、目標推計は 15,266 人となっています。

図 1-4 人口、世帯の推移



資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）

図 1-5 将来人口の推計

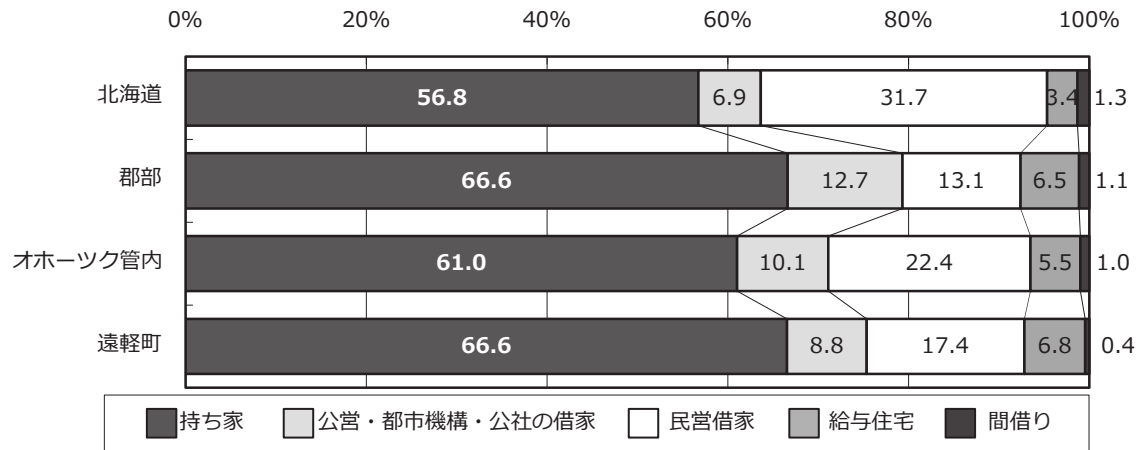


資料：遠軽町人口ビジョン（※2015 年は平成 27 年国勢調査結果（総務省統計局）の実績値）

（３）住宅所有関係別世帯数

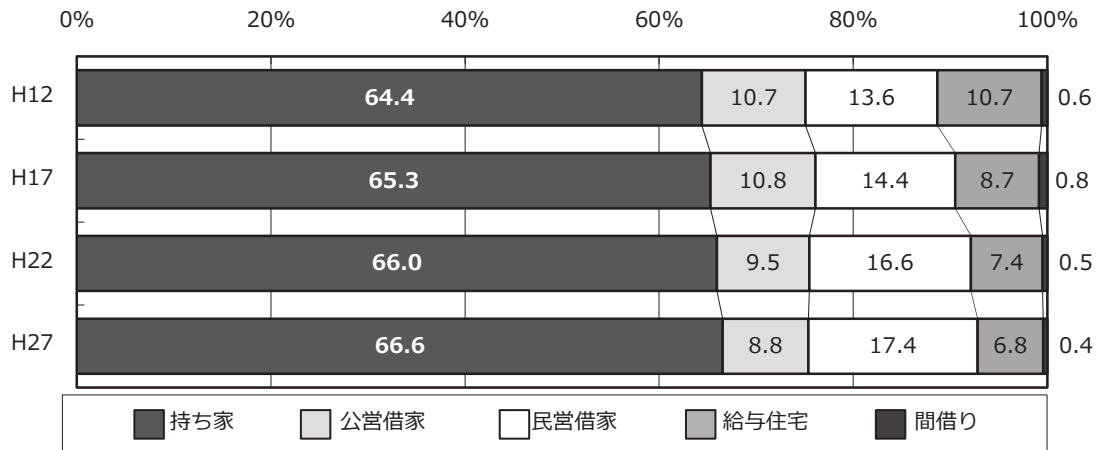
住宅所有関係別世帯数をみると、平成 27 年国勢調査では、持ち家が 66.6%、公営借家が 8.8%、民営借家が 17.4%、給与住宅が 6.8%となっています。全道、郡部、オホーツク管内と比較すると、持ち家率が郡部と同様に最も高く、民営借家率は郡部に次いで低くなっています。

図 1-6 住宅所有関係別世帯構成比の比較



資料：平成 27 年国勢調査結果（総務省統計局）

図 1-7 住宅所有関係別世帯構成比の推移



資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）

(4) 住宅数、空家数

5 年間（平成 20～25 年）の推移をみると、住宅数が減少しているのに対し、空家数が増加しており、空き家率は 5 ポイント上昇しています。

表 1-2 住宅数、空家数の推移

	住宅数	空家数	空家率
H15※	7,970	900	11.3%
H20	12,870	2,470	19.2%
H25	10,950	2,650	24.2%

※ H15 は旧遠軽町のみのデータ

資料：各年住宅・土地統計調査（総務省統計局）

(5) 災害履歴

災害履歴をみると、近年、震度3を超える地震は起こっていません。

表 1-3 町及び周辺の主な地震歴

年月日	震度	震源地 (M : マグニチュード)
平成 11 年 5 月 13 日 2:59	震度 2	M6.3 釧路地方中南部
平成 12 年 1 月 28 日 23:21	震度 2	M7.0 根室半島南東沖
平成 14 年 10 月 14 日 23:12	震度 2	M6.1 青森県東方沖
平成 15 年 5 月 26 日 18:24	震度 2	M7.1 宮城県沖
平成 15 年 9 月 26 日 4:50	震度 4	M8.0 十勝沖
平成 15 年 9 月 26 日 6:08	震度 3	M7.1 十勝沖
平成 15 年 9 月 26 日 15:26	震度 2	M6.1 釧路沖
平成 15 年 9 月 29 日 11:36	震度 2	M6.5 釧路沖
平成 15 年 9 月 29 日 16:49	震度 2	M5.5 十勝沖
平成 15 年 10 月 8 日 18:06	震度 2	M6.4 釧路沖
平成 15 年 10 月 8 日 22:32	震度 2	M5.7 釧路沖
平成 15 年 10 月 11 日 9:08	震度 2	M6.1 十勝沖
平成 15 年 10 月 18 日 18:32	震度 2	M4.5 十勝地方北部
平成 15 年 12 月 29 日 10:30	震度 2	M6.0 釧路沖
平成 16 年 11 月 11 日 19:02	震度 2	M6.3 十勝沖
平成 16 年 11 月 29 日 3:32	震度 3	M7.1 釧路沖
平成 16 年 12 月 6 日 23:15	震度 3	M6.9 釧路沖
平成 17 年 1 月 18 日 23:09	震度 2	M6.4 釧路沖
平成 19 年 1 月 9 日 5:12	震度 2	M4.7 網走沖
平成 19 年 4 月 27 日 1:37	震度 2	M5.2 十勝沖
平成 20 年 7 月 24 日 0:26	震度 2	M6.8 岩手県沿岸北部
平成 20 年 9 月 11 日 9:20	震度 2	M7.1 十勝沖
平成 21 年 11 月 19 日 0:23	震度 2	M4.2 北見地方
平成 23 年 3 月 11 日 14:46	震度 2	M9.0 三陸沖
平成 23 年 3 月 11 日 15:08	震度 2	M7.4 岩手県沖
平成 23 年 3 月 11 日 15:25	震度 2	M7.5 三陸沖
平成 23 年 4 月 7 日 23:32	震度 2	M7.2 宮城県沖
平成 23 年 6 月 23 日 6:50	震度 2	M6.9 岩手県沖
平成 24 年 3 月 14 日 18:08	震度 2	M6.9 三陸沖
平成 24 年 8 月 25 日 23:16	震度 2	M6.1 十勝地方南部
平成 24 年 12 月 7 日 17:18	震度 2	M7.3 三陸沖
平成 25 年 2 月 2 日 23:17	震度 3	M6.5 十勝地方南部
平成 27 年 8 月 14 日 13:43	震度 2	M5.1 十勝地方中部
平成 28 年 1 月 14 日 12:25	震度 2	M6.7 浦河沖
平成 30 年 9 月 6 日 3:07	震度 2	M6.7 胆振地方中東部

資料：気象庁ホームページ（平成 30 年 9 月 14 日時点）

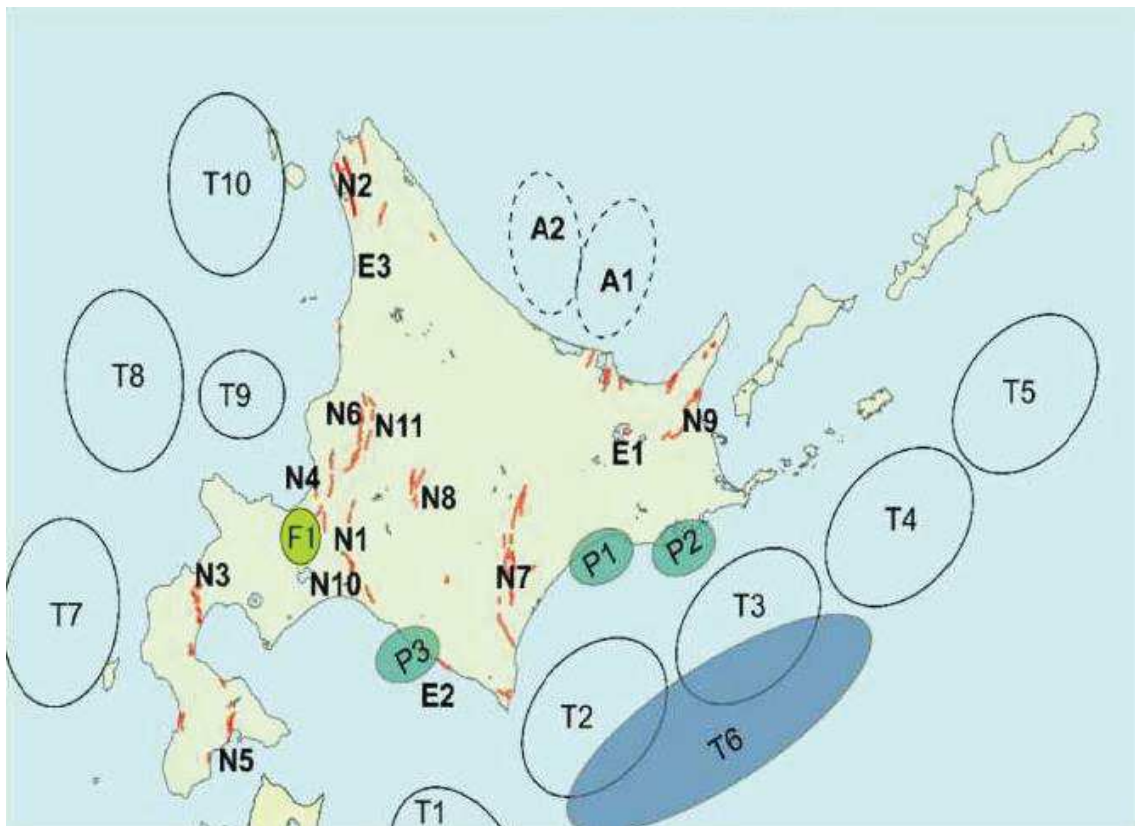
第2章 耐震診断及び耐震改修の実施に関する目標

1 想定される地震及び被害状況調査

(1) 想定地震

「北海道耐震改修促進計画」では、「北海道地域防災計画（平成24年6月修正）」に基づき海域で発生する海溝型（プレート境界）地震と、陸域などで発生する内陸型（地殻内）地震に大別して30の地震を想定しています。

図 2-1 北海道地域防災計画による想定地震の位置



資料：北海道地域防災計画

表 2-1 北海道地域防災計画による想定地震の概要

地震		マグニチュード	地震発生率※		
			10 年以内	30 年以内	50 年以内
海溝型地震					
千島海溝/日本海溝					
T1	三陸沖北部	8.0	ほぼ 0～2%	2～20%	50～60%
T2	十勝沖	8.1	ほぼ 0～0.008%	2～6%	30～40%
T3	根室沖	7.9	10%程度	50%程度	80～90%
T4	色丹沖	7.8	10～20%	60%程度	80～90%
T5	択捉島沖	8.1	20%程度	60～70%	90%程度
T6	500 年間隔地震	8.6			
日本海東縁部					
T7	北海道南西沖	7.8	ほぼ 0%	ほぼ 0%	ほぼ 0%
T8	積丹半島沖	7.8			
T9	留萌沖	7.5			
T10	北海道北西沖	7.8	0.002～0.04%	0.006～0.1%	0.01～0.2%
プレート内					
P1	釧路直下	7.5			
P2	厚岸直下	7.2			
P3	日高西部	7.2			
内陸型地震					
活断層帯					
N1	石狩低地東縁主部 地震本部	7.9			
	石狩低地東縁主部 主部北側	7.5			
	石狩低地東縁主部 主部南側	7.2			
N2	サロベツ	7.6			
N3	黒松内低地	7.3			
N4	当別	7.0			
N5	函館平野西縁	7.0-7.5			
N6	増毛山地東縁	7.8			
N7	十勝平野 地震本部				
	十勝平野 主部	8.0			
	十勝平野 光地園	7.2			
N8	富良野 地震本部				
	富良野 西部	7.2			
	富良野 東部	7.2			
N9	標津	7.7 以上			
N10	石狩低地東縁南部	7.7 以上			
N11	沼田-砂川付近	7.5			
伏在断層					
F1	札幌市直下	6.7-7.5			
既往の内陸地震					
E1	弟子屈地域	6.5			
E2	浦川周辺	7.1			
E3	道北地域	6.5			
オホーツク海					
A1	網走沖	7.8			
A2	紋別沖（紋別構造線）	7.9			

※北海道地域防災計画に記載があるもののみ

(2) 地震動評価

想定地震における町内の最大震度は以下のとおりです。十勝平野断層帯主部（モデル45_5）と十勝沖が震度階級で5強となり最大となります。

表 2-2 想定地震における町内の平均震度・最大震度

想定地震	モデル※1	最大震度		平均震度	
		※2	震度階級	※3	震度階級
1 標津断層帯	30_1	4.7	5 弱	4.0	4
2	45_5	4.5	4	3.9	4
3 十勝平野断層帯主部	30_3	5.2	5 強	4.5	5 弱
4	45_2	4.3	4	3.6	4
5	45_5	5.4	5 強	4.8	5 弱
6 富良野断層帯西部	30_2	4.4	4	3.7	4
7	30_5	4.4	4	3.7	4
8	45_3	4.4	4	3.7	4
9 増毛山地東縁断層帯	30_2	4.8	5 弱	4.1	4
10	45_1	4.7	5 弱	4.0	4
11	45_2	4.8	5 弱	4.1	4
12	45_3	4.5	5 弱	3.8	4
13	45_4	4.9	5 弱	4.1	4
14	45_5	4.2	4	3.6	4
15 沼田-砂川付近の断層帯	30_3	4.9	5 弱	4.1	4
16	30_4	4.7	5 弱	3.9	4
17	45_1	4.8	5 弱	4.1	4
18	45_2	4.6	5 弱	3.7	4
19	45_3	4.8	5 弱	4.1	4
20	45_4	4.7	5 弱	3.9	4
21 当別断層帯	30_2	—	—	—	—
22	30_5	—	—	—	—
23 石狩低地東縁断層帯主部	(北) 深さ 7km30_1	4.5	4	3.8	4
24	(北) 深さ 7km30_5	4.6	5 弱	3.9	4
25	(北) 深さ 7km45_1	4.5	4	3.7	4
26	(北) 深さ 3km30_2	3.9	4	3.3	—
27	(北) 深さ 3km45_2	3.9	4	3.2	—
28	(北) 深さ 3km45_3	4.5	5 弱	3.8	4
29	(北) 深さ 3km45_5	4.6	5 弱	3.8	4
30	(南) 深さ 3km45_2	—	—	—	—
31	(南) 深さ 3km45_5	—	—	—	—
32 石狩低地東縁断層帯南部	深さ 7km30_5	—	—	—	—
33	深さ 3km30_2	—	—	—	—
34	深さ 3km30_3	—	—	—	—
35	深さ 3km30_5	—	—	—	—
36 黒松内低地断層帯	30_5	—	—	—	—
37	45_3	—	—	—	—
38	45_4	—	—	—	—
39 函館平野西縁断層帯	45_2	—	—	—	—
40	45_3	—	—	—	—
41 サロベツ断層帯北延長	30_2	4.5	4	3.9	4
42	30_3	4.1	4	3.5	—
43	30_5	4.0	4	3.4	—
44 札幌市直下	西札幌背斜	—	—	—	—
45	月寒背斜	—	—	—	—
46	野幌丘陵 45_1	—	—	—	—
47 根室沖		4.6	5 弱	4.0	4
48 十勝沖		5.2	5 強	4.6	5 弱

想定地震		最大		平均	
		震度 ※2	震度 階級	震度 ※3	震度 階級
49	三陸沖北部	—	—	—	—
50	北海道北西沖	No_2	4.7	5 弱	4.1
51		No_5	4.4	4	3.8
52	北海道南西沖	No_2	—	—	—
53	北海道留萌沖	N193No_1	4.6	5 弱	3.9
54		N225No_2	4.9	5 弱	4.2

※1 モデルは、中央防災会議や北海道の調査結果など既存の被害予測資料から地震調査研究推進本部による「活断層で発生する地震の強震動評価のレシピ」を用いて設定されたものである。断層パラメータのうち、「傾斜角」「破壊開始点」「アスペリティ位置」については複数のモデルを検討して選定している。例えば、十勝平野断層帯主部の3つのモデル「30_3」「45_2」「45_5」は、「傾斜角」「破壊開始点」「アスペリティ位置」の設定の違いによるものである。

※2 町内を250mメッシュに分割し、メッシュ毎に計算された震度の最大値

※3 町内を250mメッシュに分割し、メッシュ毎に計算された震度の平均値

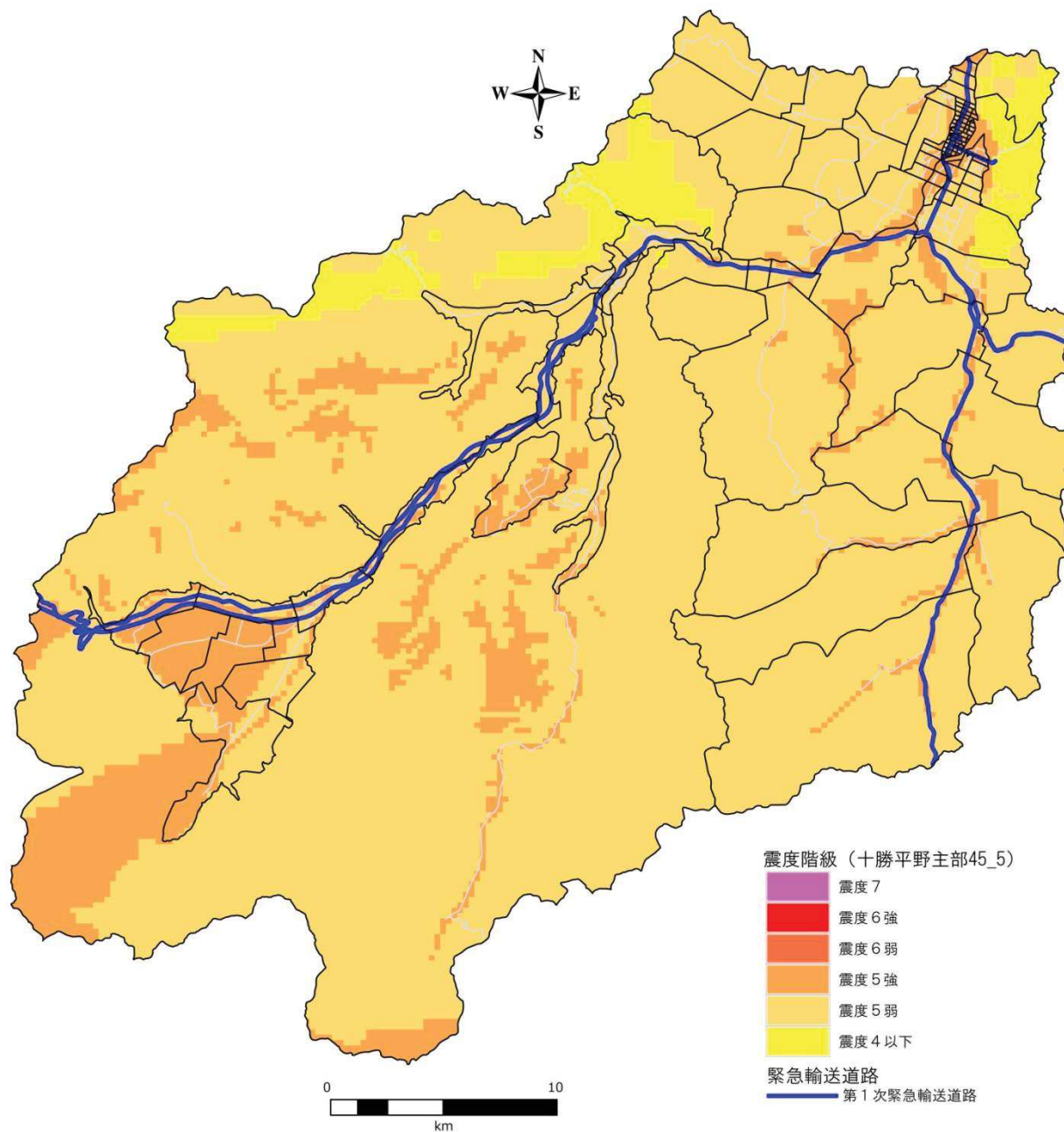
(参考) 気象庁震度階級表

震度階級	計測震度	震度階級	計測震度
0	0.5 未満	5 弱	4.5 - 5.0 未満
1	0.5 - 1.5 未満	5 強	5.0 - 5.5 未満
2	1.5 - 2.5 未満	6 弱	5.5 - 6.0 未満
3	2.5 - 3.5 未満	6 強	6.0 - 6.5 未満
4	3.5 - 4.5 未満	7	6.5 以上

①十勝平野断層帯主部における震度分布

十勝平野断層帯主部（モデル 45_5）における震度分布（250mメッシュ）をみると、町内の大半が震度5弱以下となっていますが、遠軽市街地周辺の国道242号及び333号沿いや奥白滝付近などでは震度5強の地域がみられます。

図 2-2 十勝平野断層帯主部（モデル45_5）における震度分布

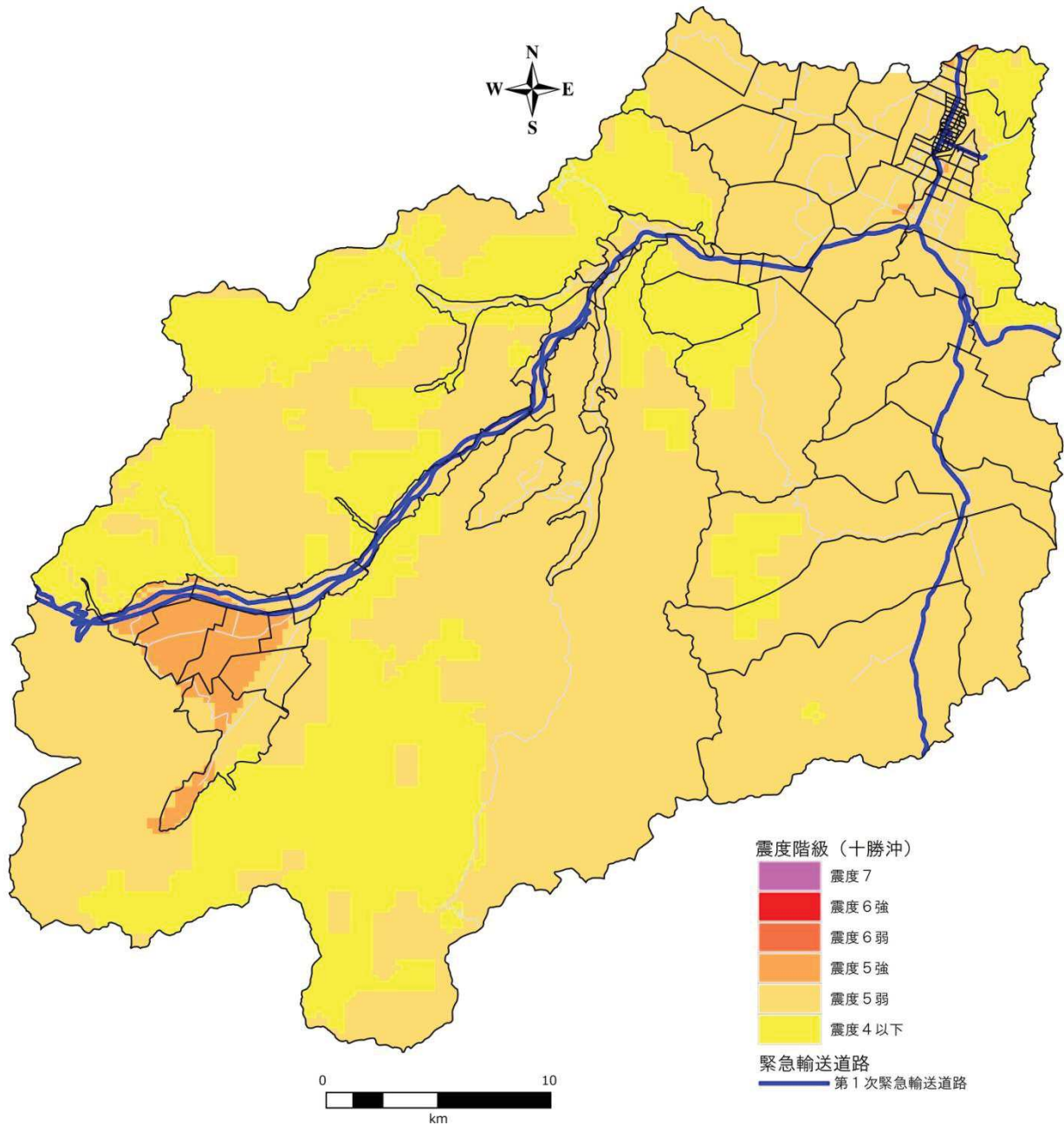


※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

②十勝沖における震度分布

十勝沖における震度分布（250mメッシュ）をみると、震度5弱以下が大半を占めていますが、奥白滝付近では震度5強の地域もみられます。

図 2-3 十勝沖における震度分布

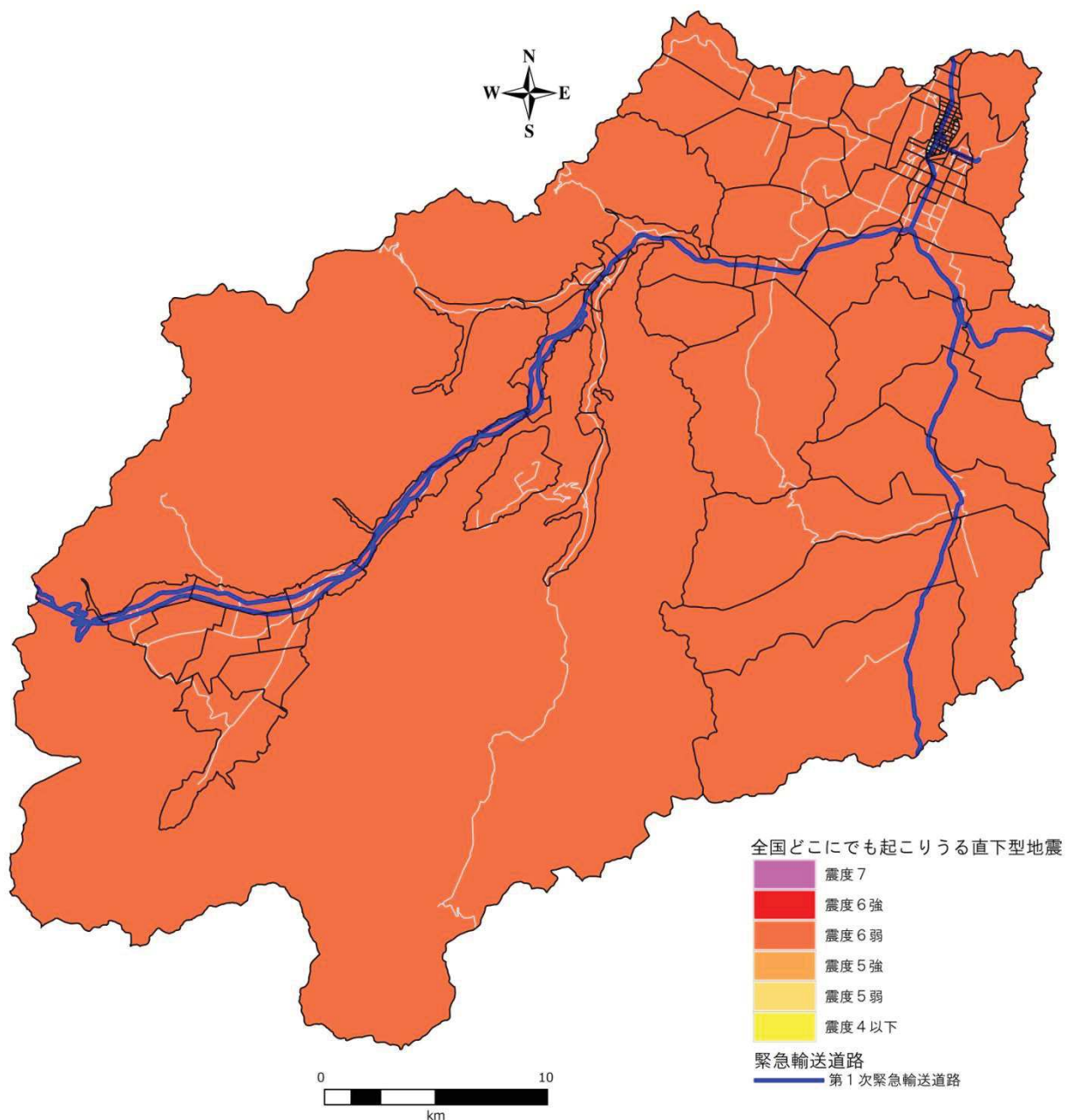


※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

③全国どこでも起こりうる直下型の地震

直下型における震度分布（500mメッシュ）をみると、町内全域で震度6弱となっており、最大震度は6.0となっています。

図 2-4 全国どこでも起こりうる直下型の地震における震度分布



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

表 2-3 十勝平野断層帯主部及び十勝沖地震、直下型地震における字別最大震度・平均震度

	住所	面積 (km ²)	十勝平野主部 45_5		十勝沖		直下型	
			最大震度	平均震度	最大震度	平均震度	最大震度	平均震度
1	生田原	25.28	5.1	4.8	4.9	4.6	5.8	5.7
2	生田原安国	24.29	5.1	4.8	4.9	4.6	5.8	5.7
3	生田原水穂	11.55	5.1	4.7	4.9	4.6	5.9	5.7
4	生田原八重	24.34	5.1	4.8	4.9	4.6	5.7	5.6
5	生田原岩戸	35.75	5.1	4.8	4.9	4.6	5.7	5.6
6	生田原伊吹	36.94	5.1	4.8	4.9	4.6	5.7	5.6
7	生田原清里	70.97	5.1	4.9	4.9	4.6	5.7	5.6
8	生田原豊原	25.41	5.1	4.8	4.9	4.6	5.8	5.7
9	生田原旭野	13.65	5.1	4.7	4.9	4.5	5.8	5.7
10	大通北1丁目	0.04	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
11	大通北2丁目	0.04	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
12	大通北3丁目	0.04	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
13	大通北4丁目	0.08	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
14	大通北5丁目	0.08	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
15	大通北6丁目	0.08	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
16	大通北7丁目	0.08	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	5.9
17	大通北8丁目	0.06	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	5.9
18	大通北9丁目	0.08	5.0	5.0	5.0	4.9	6.0	5.9
19	大通北10丁目	0.08	5.0	5.0	5.0	4.9	6.0	5.9
20	大通北11丁目	0.09	5.0	5.0	5.0	4.9	5.9	5.9
21	大通南1丁目	0.06	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
22	大通南2丁目	0.05	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
23	大通南3丁目	0.02	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
24	大通南4丁目	0.03	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
25	岩見通北1丁目	0.03	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.8
26	岩見通北2丁目	0.02	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.8
27	岩見通北3丁目	0.01	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
28	岩見通北4丁目	0.04	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
29	岩見通北5丁目	0.04	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
30	岩見通北6丁目	0.03	5.0	5.0	5.0	4.9	5.9	5.8
31	岩見通北7丁目	0.05	5.0	5.0	5.0	4.9	6.0	5.9
32	岩見通北8丁目	0.05	5.0	4.9	5.0	4.9	6.0	5.9
33	岩見通北9丁目	0.07	5.0	4.9	5.0	4.8	6.0	5.8
34	岩見通北10丁目	0.06	5.0	4.9	5.0	4.8	5.8	5.8
35	岩見通北11丁目	0.08	5.0	4.9	5.0	4.8	5.9	5.8
36	岩見通南1丁目	0.04	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
37	岩見通南2丁目	0.03	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
38	岩見通南3丁目	0.02	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
39	岩見通南4丁目	0.01	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
40	一条通北1丁目	0.03	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
41	一条通北2丁目	0.05	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
42	一条通北3丁目	0.07	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
43	一条通北4丁目	0.07	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
44	一条通北5丁目	0.03	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
45	一条通北6丁目	0.03	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
46	一条通北7丁目	0.02	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	5.9
47	一条通北8丁目	0.03	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	5.9
48	一条通北9丁目	0.06	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	5.9
49	一条通北10丁目	0.04	5.0	5.0	5.0	4.9	5.9	5.9
50	一条通南1丁目	0.05	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
51	一条通南2丁目	0.04	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
52	一条通南3丁目	0.01	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
53	二条通北1丁目	0.04	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
54	二条通北2丁目	0.03	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9

	住所	面積 (km ²)	十勝平野主部 45_5		十勝沖		直下型	
			最大震度	平均震度	最大震度	平均震度	最大震度	平均震度
55	二条通北3丁目	0.02	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
56	二条通北4丁目	0.02	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
57	二条通北5丁目	0.05	5.0	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
58	二条通北6丁目	0.05	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	5.9
59	二条通北7丁目	0.05	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	5.9
60	二条通北8丁目	0.01	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
61	二条通南1丁目	0.05	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
62	二条通南2丁目	0.02	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
63	学田1丁目	0.65	5.0	4.9	5.0	4.8	5.8	5.8
64	学田2丁目	0.87	5.0	4.9	5.0	4.9	6.0	5.9
65	学田3丁目	0.69	5.0	4.9	5.0	4.9	6.0	5.9
66	学田4丁目	0.46	5.0	5.0	5.0	4.9	6.0	5.9
67	学田5丁目	0.33	5.1	5.0	5.0	4.9	6.0	6.0
68	南町1丁目	0.11	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
69	南町2丁目	0.30	5.1	5.0	5.0	4.9	5.9	5.8
70	南町3丁目	0.57	5.1	5.0	5.0	4.9	5.9	5.8
71	南町4丁目	0.29	5.1	4.9	5.0	4.8	5.9	5.8
72	西町1丁目	0.37	5.0	5.0	5.0	4.9	5.9	5.7
73	西町2丁目	0.52	5.0	4.9	5.0	4.9	5.9	5.8
74	西町3丁目	0.55	5.1	4.9	5.0	4.8	5.9	5.8
75	東町1丁目	0.49	5.1	5.1	5.0	5.0	5.9	5.9
76	東町2丁目	0.17	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
77	東町3丁目	0.42	5.1	5.0	5.0	4.9	5.9	5.8
78	東町4丁目	0.48	5.0	4.9	5.0	4.8	5.9	5.8
79	東町5丁目	0.58	5.0	4.9	5.0	4.8	5.9	5.8
80	福路1丁目	0.22	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
81	福路2丁目	0.38	5.1	5.0	5.0	5.0	5.9	5.9
82	福路3丁目	0.52	5.1	5.0	5.0	4.9	5.9	5.9
83	向遠軽	11.87	5.1	4.6	5.0	4.5	6.0	5.7
84	宮前町	0.20	5.0	4.9	5.0	4.9	5.9	5.7
85	寿町	0.45	4.9	4.9	4.9	4.8	5.9	5.8
86	丸大	3.29	5.0	4.9	5.0	4.9	5.9	5.7
87	弥生	8.68	5.0	4.5	5.0	4.4	6.0	5.7
88	留岡	6.65	5.0	4.9	5.0	4.8	5.9	5.7
89	社名淵	7.04	5.0	4.9	4.9	4.8	5.9	5.7
90	豊里	9.29	5.1	4.7	5.0	4.6	5.9	5.7
91	清川	7.56	5.1	4.9	5.0	4.8	5.9	5.7
92	野上	12.15	5.1	4.8	5.0	4.7	5.9	5.7
93	栄野	14.73	5.0	4.8	4.9	4.7	5.8	5.7
94	瀬戸瀬西町	1.31	5.0	4.8	4.9	4.7	5.8	5.7
95	瀬戸瀬東町	2.05	5.0	4.8	4.9	4.7	5.8	5.7
96	見晴	4.36	5.0	4.9	4.9	4.8	5.9	5.7
97	若松	8.25	5.0	4.9	4.9	4.8	5.9	5.7
98	美山	11.21	5.0	4.8	4.9	4.7	5.8	5.7
99	千代田	14.82	5.0	4.7	4.9	4.6	5.8	5.7
100	湯の里	47.21	5.1	4.7	4.9	4.6	5.8	5.7
101	柏	12.05	4.8	4.5	4.7	4.4	5.7	5.7
102	若咲内	6.07	5.0	4.8	4.9	4.6	5.8	5.7
103	白竜	8.51	4.9	4.6	4.9	4.5	5.7	5.7
104	丸瀬布元町	0.20	5.0	4.9	4.9	4.8	5.7	5.7
105	丸瀬布西町	0.14	5.0	5.0	4.9	4.9	5.7	5.7
106	丸瀬布中町	0.08	5.0	5.0	4.9	4.8	5.7	5.7
107	丸瀬布新町	1.20	5.0	4.8	4.9	4.7	5.8	5.7
108	丸瀬布東町	0.83	5.0	4.8	4.9	4.6	5.8	5.7
109	丸瀬布水谷町	0.86	5.0	4.7	4.9	4.6	5.7	5.6
110	丸瀬布天神町	1.55	5.0	4.7	4.9	4.6	5.7	5.6

	住所	面積 (km ²)	十勝平野主部 45_5		十勝沖		直下型	
			最大震度	平均震度	最大震度	平均震度	最大震度	平均震度
111	丸瀬布金山	4.10	5.0	4.8	4.9	4.7	5.8	5.7
112	丸瀬布南丸	6.43	5.0	4.8	4.9	4.6	5.7	5.6
113	丸瀬布上丸	3.99	4.9	4.6	4.8	4.5	5.7	5.6
114	丸瀬布武利	2.73	5.0	4.8	4.9	4.6	5.7	5.6
115	丸瀬布上武利	5.29	5.0	4.8	4.8	4.7	5.7	5.6
116	丸瀬布大平	9.39	5.1	4.9	4.9	4.7	5.7	5.7
117	白滝	4.16	5.4	4.9	5.2	4.7	5.7	5.6
118	上白滝	3.77	5.4	5.0	5.2	4.8	5.7	5.6
119	奥白滝	5.46	5.3	5.1	5.1	4.9	5.7	5.6
120	旧白滝	4.89	5.1	4.8	5.0	4.6	5.7	5.6
121	下白滝	1.56	5.0	4.8	4.8	4.7	5.7	5.6
122	東白滝	6.44	5.4	5.3	5.2	5.1	5.7	5.5
123	白滝天狗平	8.38	5.3	5.3	5.1	5.1	5.7	5.6
124	白滝北支湧別	2.87	5.4	5.1	5.2	4.9	5.6	5.6
125	白滝支湧別	6.53	5.4	5.1	5.1	4.9	5.7	5.6
126	白滝上支湧別	14.33	5.4	5.1	5.2	4.8	5.7	5.6
127	その他	760.02	5.4	4.8	5.2	4.6	5.8	5.7
町全体		1,332.45	5.4	4.8	5.2	4.6	6.0	5.7

（３）建物被害想定

①地震の揺れによる建物被害の想定

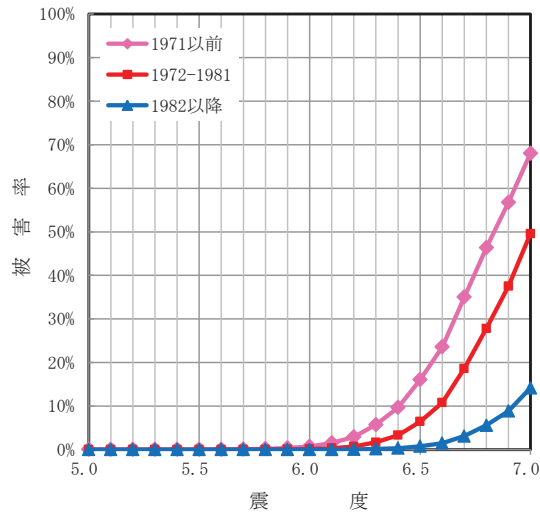
「平成 27 年度地震被害想定調査結果（平成 29 年 2 月 北海道）」においては、地震の計測震度と構造別・建築年別の建物被害の想定を図 2-5 のとおりとしています。木造建物においては、町のように多雪区域の場合、積雪時においては積雪荷重を考慮しています。

昭和 56 年以前（旧耐震基準）で建てられた建築物は、昭和 57 年以降（新耐震基準）に建てられた建築物に比べて全壊率・全半壊率が高く、例えば木造建物（冬以外）で計測震度が 6.7（震度 7）の場合に、昭和 57 年以降（新耐震基準）は約 1 割が全半壊、昭和 47～56 年以前の建物（旧耐震基準）は約 4 割が全半壊すると想定しています。

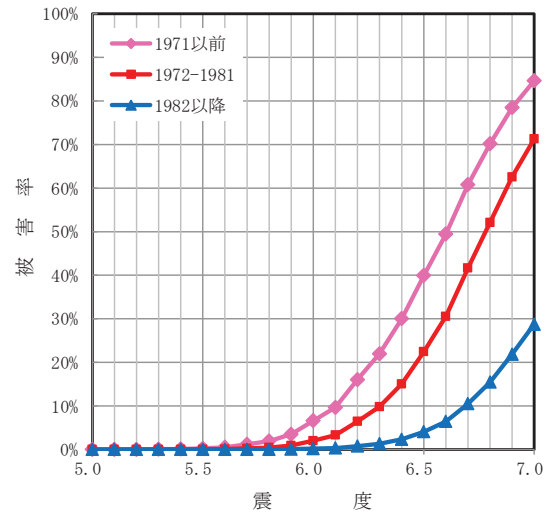
参考：昭和 56 年以前と昭和 57 年以降の区分について（耐震基準について）

現在の耐震基準の原型は昭和 56 年 6 月 1 日に施行された改正建築基準法によるもので、それ以前の耐震基準が「旧耐震基準」、それ以降は「新耐震基準」と呼ばれています。

図 2-5 震度と構造別全半壊率との関係
【木造（冬以外）】

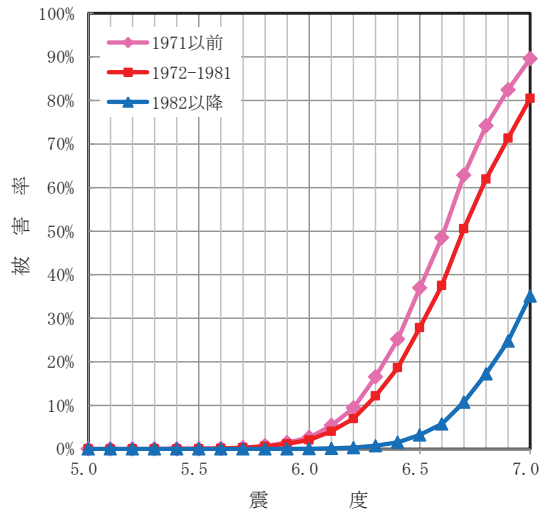


震度と木造全壊率との関係

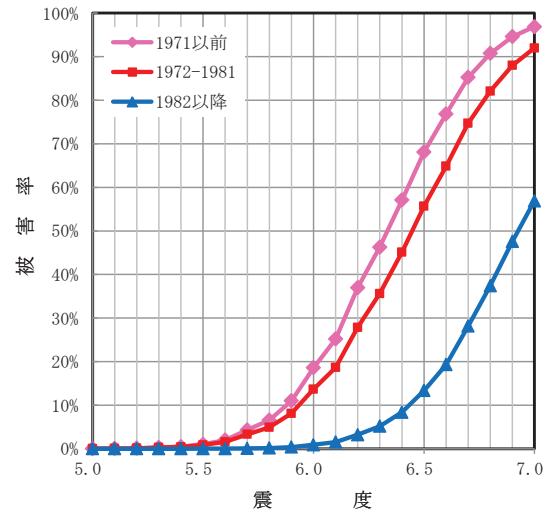


震度と木造全半壊率との関係

【木造（冬）】

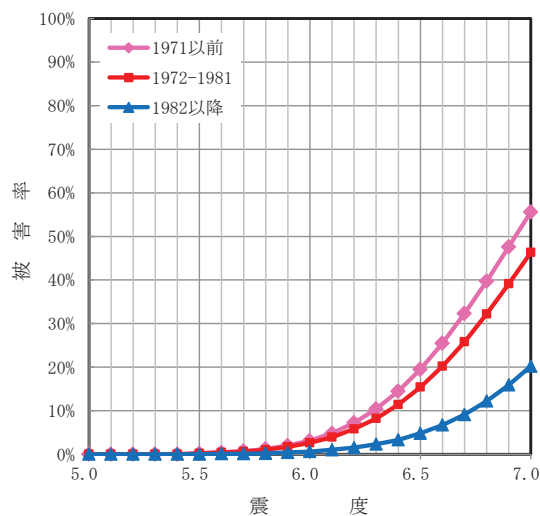


震度と木造全壊率との関係

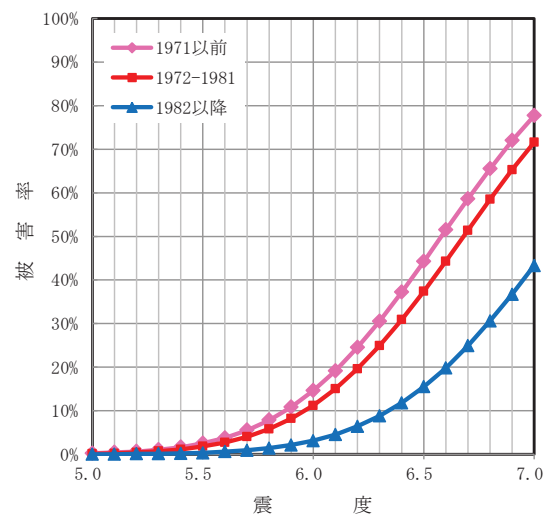


震度と木造全半壊率との関係

【非木造】



震度と非木造全壊率との関係



震度と非木造全半壊率との関係

②想定地震の揺れによる被害想定

想定地震において震度が最大となる直下型（M6.9）の冬の場合、町全体の人的被害総数は50人となっており、死者1人、重傷者5人、軽傷者44人となっています。

また、建物被害総数は479棟で全半壊率は3.9%となっています。

表 2-4 被害が最大となる地震に係る被害想定

想定地震	モデル	最大震度	最大震度階級	想定時期	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
十勝平野断層帯主部	45_5	5.4	5 強	冬	6	0.05%	0	0	0	0
				冬以外	3	0.03%	0	0	0	0
十勝沖	—	5.2	5 強	冬	1	0.01%	0	0	0	0
				冬以外	1	0.01%	0	0	0	0
直下型	M6.9	6.0	6 弱	冬	479	3.90%	1	49	5	44
				冬以外	148	1.21%	0	13	1	12

a. 十勝平野断層帯主部の揺れによる被害想定

十勝平野断層帯主部（モデル 45_5）における全半壊棟数は、冬の場合の白滝が最も多く 2 棟となっています。

また、そのほかの地域では 1 棟未満となっています。

全半壊率をみると、全ての地域で 3 % 未満となっており、最も高い地域でも 0.4% となっています。

図 2-6 十勝平野断層帯主部（モデル 45_5）の揺れによる全半壊率（冬の場合）



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

表 2-5 十勝平野断層帯主部（モデル 45_5）の揺れによる被害想定（冬の場合）

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
1	生田原	25.28	875	0.5	0.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
2	生田原安国	24.29	328	0.1	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
3	生田原水穂	11.55	185	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
4	生田原八重	24.34	70	0.1	0.12%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
5	生田原岩戸	35.75	61	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
6	生田原伊吹	36.94	92	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
7	生田原清里	70.97	96	0.1	0.07%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
8	生田原豊原	25.41	48	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
9	生田原旭野	13.65	6	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
10	大通北 1 丁目	0.04	49	0.0	0.07%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
11	大通北 2 丁目	0.04	33	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
12	大通北 3 丁目	0.04	60	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
13	大通北 4 丁目	0.08	57	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
14	大通北 5 丁目	0.08	26	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
15	大通北 6 丁目	0.08	123	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
16	大通北 7 丁目	0.08	124	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
17	大通北 8 丁目	0.06	63	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
18	大通北 9 丁目	0.08	68	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
19	大通北 1 0 丁目	0.08	36	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
20	大通北 1 1 丁目	0.09	43	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
21	大通南 1 丁目	0.06	114	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
22	大通南 2 丁目	0.05	102	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
23	大通南 3 丁目	0.02	40	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
24	大通南 4 丁目	0.03	48	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
25	岩見通北 1 丁目	0.03	38	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
26	岩見通北 2 丁目	0.02	6	0.0	0.06%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
27	岩見通北 3 丁目	0.01	11	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
28	岩見通北 4 丁目	0.04	65	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
29	岩見通北 5 丁目	0.04	81	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
30	岩見通北 6 丁目	0.03	37	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
31	岩見通北 7 丁目	0.05	38	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
32	岩見通北 8 丁目	0.05	47	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
33	岩見通北 9 丁目	0.07	25	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
34	岩見通北 1 0 丁目	0.06	31	0.0	0.07%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
35	岩見通北 1 1 丁目	0.08	26	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
36	岩見通南 1 丁目	0.04	31	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
37	岩見通南 2 丁目	0.03	38	0.0	0.07%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
38	岩見通南 3 丁目	0.02	34	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
39	岩見通南 4 丁目	0.01	22	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
40	一条通北 1 丁目	0.03	46	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
41	一条通北 2 丁目	0.05	49	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
42	一条通北 3 丁目	0.07	33	0.0	0.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
43	一条通北 4 丁目	0.07	76	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
44	一条通北 5 丁目	0.03	8	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
45	一条通北 6 丁目	0.03	46	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
46	一条通北 7 丁目	0.02	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
47	一条通北 8 丁目	0.03	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
48	一条通北 9 丁目	0.06	10	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
49	一条通北 1 0 丁目	0.04	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
50	一条通南 1 丁目	0.05	81	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
51	一条通南 2 丁目	0.04	27	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
52	一条通南 3 丁目	0.01	11	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
53	二条通北 1 丁目	0.04	65	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
54	二条通北 2 丁目	0.03	65	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
55	二条通北 3 丁目	0.02	12	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
56	二条通北 4 丁目	0.02	31	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
57	二条通北 5 丁目	0.05	83	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
58	二条通北 6 丁目	0.05	99	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
59	二条通北 7 丁目	0.05	80	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
60	二条通北 8 丁目	0.01	25	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
61	二条通南 1 丁目	0.05	85	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
62	二条通南 2 丁目	0.02	15	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
63	学田 1 丁目	0.65	149	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
64	学田 2 丁目	0.87	146	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
65	学田 3 丁目	0.69	63	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
66	学田 4 丁目	0.46	21	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
67	学田 5 丁目	0.33	2	0.0	0.07%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
68	南町 1 丁目	0.11	96	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
69	南町2丁目	0.30	311	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
70	南町3丁目	0.57	819	0.1	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
71	南町4丁目	0.29	312	0.1	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
72	西町1丁目	0.37	161	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
73	西町2丁目	0.52	504	0.1	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
74	西町3丁目	0.55	442	0.1	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
75	東町1丁目	0.49	175	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
76	東町2丁目	0.17	177	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
77	東町3丁目	0.42	282	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
78	東町4丁目	0.48	59	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
79	東町5丁目	0.58	127	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
80	福路1丁目	0.22	74	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
81	福路2丁目	0.38	124	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
82	福路3丁目	0.52	35	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
83	向遠軽	11.87	78	0.0	0.05%	1未満	1未満	1未満	1未満
84	宮前町	0.20	81	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
85	寿町	0.45	292	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
86	丸大	3.29	40	0.0	0.04%	1未満	1未満	1未満	1未満
87	弥生	8.68	2	0.0	0.15%	1未満	1未満	1未満	1未満
88	留岡	6.65	44	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
89	社名淵	7.04	56	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
90	豊里	9.29	449	0.2	0.05%	1未満	1未満	1未満	1未満
91	清川	7.56	224	0.1	0.05%	1未満	1未満	1未満	1未満
92	野上	12.15	54	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
93	栄野	14.73	42	0.0	0.05%	1未満	1未満	1未満	1未満
94	瀬戸瀬西町	1.31	63	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
95	瀬戸瀬東町	2.05	63	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
96	見晴	4.36	21	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
97	若松	8.25	23	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
98	美山	11.21	44	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
99	千代田	14.82	24	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
100	湯の里	47.21	71	0.1	0.07%	1未満	1未満	1未満	1未満
101	柏	12.05	6	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
102	若咲内	6.07	65	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
103	白滝	8.51	0	0.0	—	1未満	1未満	1未満	1未満
104	丸瀬布元町	0.20	81	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
105	丸瀬布西町	0.14	110	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
106	丸瀬布中町	0.08	98	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
107	丸瀬布新町	1.20	236	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
108	丸瀬布東町	0.83	175	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
109	丸瀬布水谷町	0.86	193	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
110	丸瀬布天神町	1.55	42	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
111	丸瀬布金山	4.10	62	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
112	丸瀬布南丸	6.43	29	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
113	丸瀬布上丸	3.99	20	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
114	丸瀬布武利	2.73	34	0.0	0.05%	1未満	1未満	1未満	1未満
115	丸瀬布上武利	5.29	121	0.0	0.04%	1未満	1未満	1未満	1未満
116	丸瀬布太平	9.39	1	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
117	白滝	4.16	583	2.1	0.36%	1未満	1未満	1未満	1未満
118	上白滝	3.77	34	0.1	0.36%	1未満	1未満	1未満	1未満
119	奥白滝	5.46	16	0.0	0.11%	1未満	1未満	1未満	1未満
120	旧白滝	4.89	75	0.1	0.09%	1未満	1未満	1未満	1未満
121	下白滝	1.56	13	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
122	東白滝	6.44	36	0.1	0.39%	1未満	1未満	1未満	1未満
123	白滝天狗平	8.38	20	0.0	0.23%	1未満	1未満	1未満	1未満
124	白滝北支湧別	2.87	41	0.2	0.38%	1未満	1未満	1未満	1未満
125	白滝支湧別	6.53	48	0.2	0.36%	1未満	1未満	1未満	1未満
126	白滝上支湧別	14.33	94	0.4	0.45%	1未満	1未満	1未満	1未満
127	その他	760.02	0	0.0	—	1未満	1未満	1未満	1未満
町全体		1,332.45	12,299	6.0	0.05%	0	0	0	0

※全半壊棟数は小数点第2位を四捨五入、全半壊率は小数点第3位を四捨五入しているため、町全体と各地域の和が一致しない場合があります。

図 2-7 十勝平野断層帯主部（モデル 45_5）の揺れによる全半壊率（冬以外）



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

表 2-6 十勝平野断層帯主部（モデル 45_5）の揺れによる被害想定（冬以外）

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
1	生田原	25.28	875	0.3	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
2	生田原安国	24.29	328	0.1	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
3	生田原水穂	11.55	185	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
4	生田原八重	24.34	70	0.1	0.10%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
5	生田原岩戸	35.75	61	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
6	生田原伊吹	36.94	92	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
7	生田原清里	70.97	96	0.1	0.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
8	生田原豊原	25.41	48	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
9	生田原旭野	13.65	6	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
10	大通北 1 丁目	0.04	49	0.0	0.06%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
11	大通北 2 丁目	0.04	33	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
12	大通北 3 丁目	0.04	60	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
13	大通北 4 丁目	0.08	57	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
14	大通北 5 丁目	0.08	26	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
15	大通北 6 丁目	0.08	123	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
16	大通北 7 丁目	0.08	124	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
17	大通北 8 丁目	0.06	63	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
18	大通北 9 丁目	0.08	68	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
19	大通北 1 0 丁目	0.08	36	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
20	大通北 1 1 丁目	0.09	43	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
21	大通南 1 丁目	0.06	114	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
22	大通南 2 丁目	0.05	102	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
23	大通南 3 丁目	0.02	40	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
24	大通南 4 丁目	0.03	48	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
25	岩見通北 1 丁目	0.03	38	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
26	岩見通北 2 丁目	0.02	6	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
27	岩見通北 3 丁目	0.01	11	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
28	岩見通北 4 丁目	0.04	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
29	岩見通北 5 丁目	0.04	81	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
30	岩見通北 6 丁目	0.03	37	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
31	岩見通北 7 丁目	0.05	38	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
32	岩見通北 8 丁目	0.05	47	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
33	岩見通北 9 丁目	0.07	25	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
34	岩見通北 1 0 丁目	0.06	31	0.0	0.06%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
35	岩見通北 1 1 丁目	0.08	26	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
36	岩見通南 1 丁目	0.04	31	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
37	岩見通南 2 丁目	0.03	38	0.0	0.06%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
38	岩見通南 3 丁目	0.02	34	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
39	岩見通南 4 丁目	0.01	22	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
40	一条通北 1 丁目	0.03	46	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
41	一条通北 2 丁目	0.05	49	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
42	一条通北 3 丁目	0.07	33	0.0	0.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
43	一条通北 4 丁目	0.07	76	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
44	一条通北 5 丁目	0.03	8	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
45	一条通北 6 丁目	0.03	46	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
46	一条通北 7 丁目	0.02	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
47	一条通北 8 丁目	0.03	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
48	一条通北 9 丁目	0.06	10	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
49	一条通北 1 0 丁目	0.04	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
50	一条通南 1 丁目	0.05	81	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
51	一条通南 2 丁目	0.04	27	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
52	一条通南 3 丁目	0.01	11	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
53	二条通北 1 丁目	0.04	65	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
54	二条通北 2 丁目	0.03	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
55	二条通北 3 丁目	0.02	12	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
56	二条通北 4 丁目	0.02	31	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
57	二条通北 5 丁目	0.05	83	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
58	二条通北 6 丁目	0.05	99	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
59	二条通北 7 丁目	0.05	80	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
60	二条通北 8 丁目	0.01	25	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
61	二条通南 1 丁目	0.05	85	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
62	二条通南 2 丁目	0.02	15	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
63	学田 1 丁目	0.65	149	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
64	学田 2 丁目	0.87	146	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
65	学田 3 丁目	0.69	63	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
66	学田 4 丁目	0.46	21	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
67	学田 5 丁目	0.33	2	0.0	0.07%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
68	南町 1 丁目	0.11	96	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
69	南町2丁目	0.30	311	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
70	南町3丁目	0.57	819	0.1	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
71	南町4丁目	0.29	312	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
72	西町1丁目	0.37	161	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
73	西町2丁目	0.52	504	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
74	西町3丁目	0.55	442	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
75	東町1丁目	0.49	175	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
76	東町2丁目	0.17	177	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
77	東町3丁目	0.42	282	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
78	東町4丁目	0.48	59	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
79	東町5丁目	0.58	127	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
80	福路1丁目	0.22	74	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
81	福路2丁目	0.38	124	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
82	福路3丁目	0.52	35	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
83	向遠軽	11.87	78	0.0	0.04%	1未満	1未満	1未満	1未満
84	宮前町	0.20	81	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
85	寿町	0.45	292	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
86	丸大	3.29	40	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
87	弥生	8.68	2	0.0	0.14%	1未満	1未満	1未満	1未満
88	留岡	6.65	44	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
89	社名淵	7.04	56	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
90	豊里	9.29	449	0.1	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
91	清川	7.56	224	0.1	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
92	野上	12.15	54	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
93	栄野	14.73	42	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
94	瀬戸瀬西町	1.31	63	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
95	瀬戸瀬東町	2.05	63	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
96	見晴	4.36	21	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
97	若松	8.25	23	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
98	美山	11.21	44	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
99	千代田	14.82	24	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
100	湯の里	47.21	71	0.0	0.05%	1未満	1未満	1未満	1未満
101	柏	12.05	6	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
102	若咲内	6.07	65	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
103	白滝	8.51	0	0.0	—	1未満	1未満	1未満	1未満
104	丸瀬布元町	0.20	81	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
105	丸瀬布西町	0.14	110	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
106	丸瀬布中町	0.08	98	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
107	丸瀬布新町	1.20	236	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
108	丸瀬布東町	0.83	175	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
109	丸瀬布水谷町	0.86	193	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
110	丸瀬布天神町	1.55	42	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
111	丸瀬布金山	4.10	62	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
112	丸瀬布南丸	6.43	29	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
113	丸瀬布上丸	3.99	20	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
114	丸瀬布武利	2.73	34	0.0	0.05%	1未満	1未満	1未満	1未満
115	丸瀬布上武利	5.29	121	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
116	丸瀬布太平	9.39	1	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
117	白滝	4.16	583	0.9	0.16%	1未満	1未満	1未満	1未満
118	上白滝	3.77	34	0.0	0.15%	1未満	1未満	1未満	1未満
119	奥白滝	5.46	16	0.0	0.09%	1未満	1未満	1未満	1未満
120	旧白滝	4.89	75	0.1	0.07%	1未満	1未満	1未満	1未満
121	下白滝	1.56	13	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
122	東白滝	6.44	36	0.1	0.31%	1未満	1未満	1未満	1未満
123	白滝天狗平	8.38	20	0.0	0.21%	1未満	1未満	1未満	1未満
124	白滝北支湧別	2.87	41	0.1	0.20%	1未満	1未満	1未満	1未満
125	白滝支湧別	6.53	48	0.1	0.26%	1未満	1未満	1未満	1未満
126	白滝上支湧別	14.33	94	0.2	0.22%	1未満	1未満	1未満	1未満
127	その他	760.02	0	0.0	—	1未満	1未満	1未満	1未満
町全体		1,332.45	12,299	3.2	0.03%	0	0	0	0

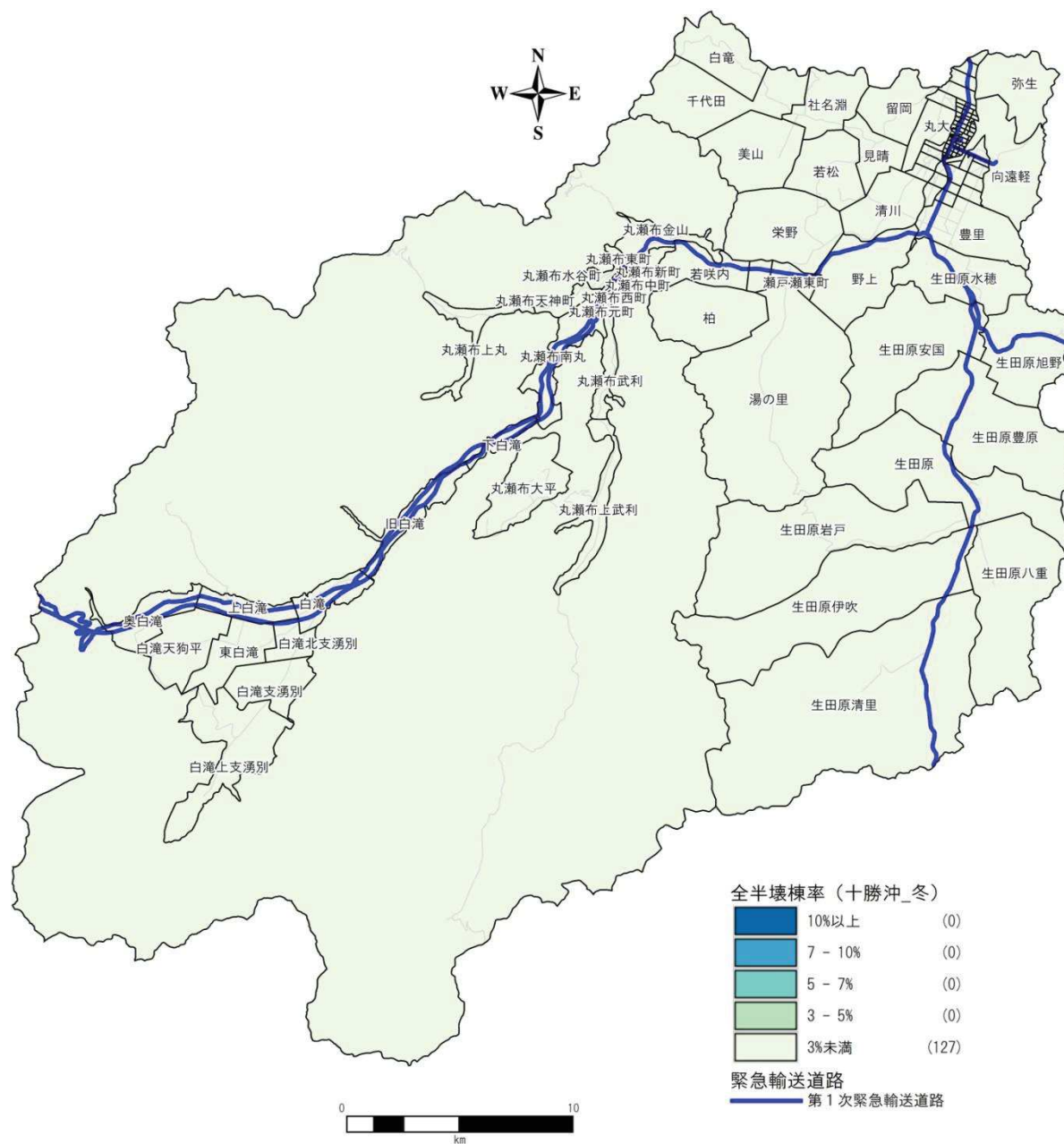
※全半壊棟数は小数点第2位を四捨五入、全半壊率は小数点第3位を四捨五入しているため、町全体と各地域の和が一致しない場合があります。

b. 十勝沖の揺れによる被害想定

十勝沖における全半壊棟数では、全ての地域で1棟未満となっています。

全半壊率をみると、全ての地域で3%未満となっており、最も高い地域でも0.1%となっています。

図 2-8 十勝沖の揺れによる全半壊率（冬の場合）



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

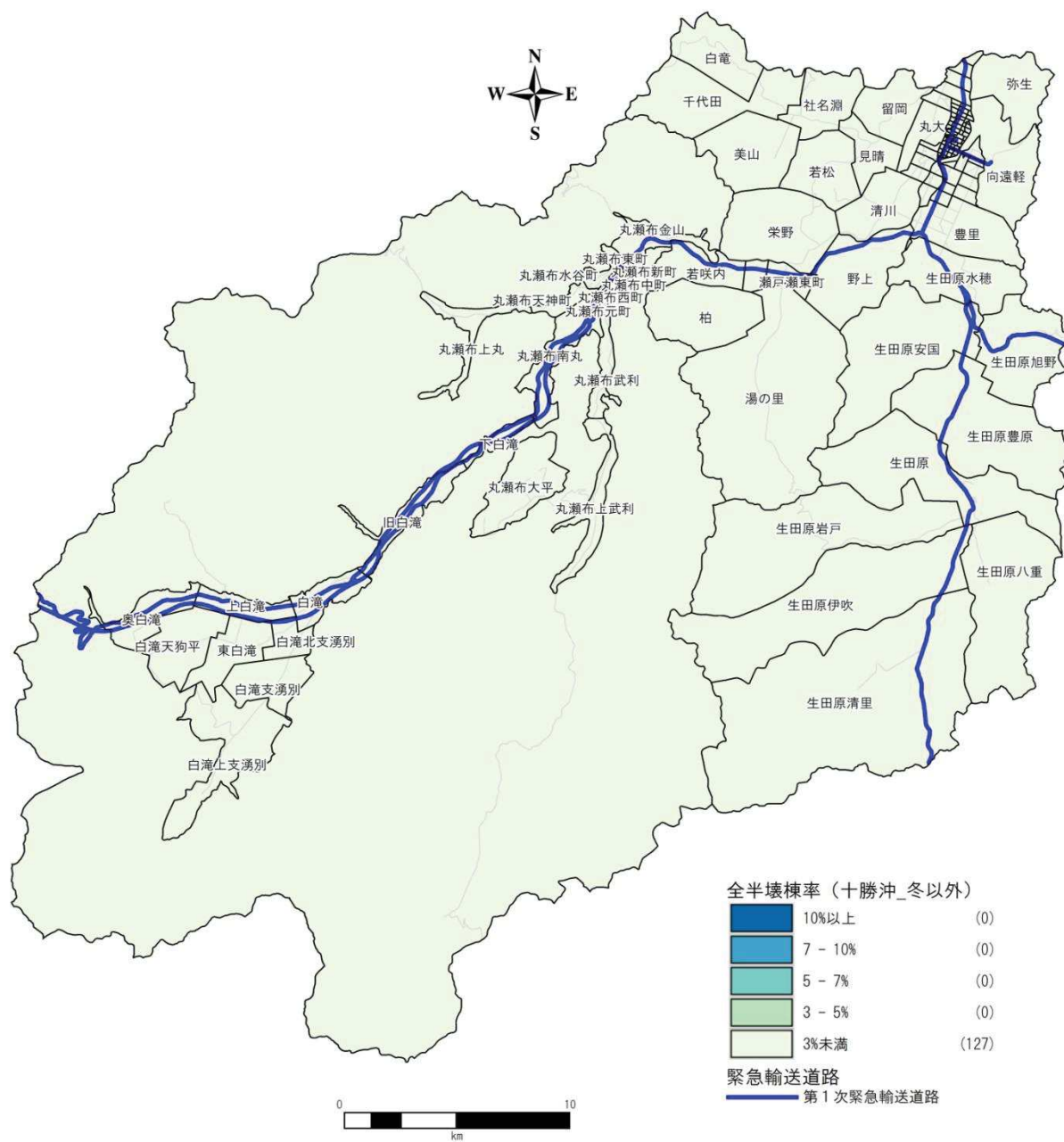
表 2-7 十勝沖の揺れによる被害想定（冬の場合）

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
1	生田原	25.28	875	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
2	生田原安国	24.29	328	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
3	生田原水穂	11.55	185	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
4	生田原八重	24.34	70	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
5	生田原岩戸	35.75	61	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
6	生田原伊吹	36.94	92	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
7	生田原清里	70.97	96	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
8	生田原豊原	25.41	48	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
9	生田原旭野	13.65	6	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
10	大通北1丁目	0.04	49	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
11	大通北2丁目	0.04	33	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
12	大通北3丁目	0.04	60	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
13	大通北4丁目	0.08	57	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
14	大通北5丁目	0.08	26	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
15	大通北6丁目	0.08	123	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
16	大通北7丁目	0.08	124	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
17	大通北8丁目	0.06	63	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
18	大通北9丁目	0.08	68	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
19	大通北10丁目	0.08	36	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
20	大通北11丁目	0.09	43	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
21	大通南1丁目	0.06	114	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
22	大通南2丁目	0.05	102	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
23	大通南3丁目	0.02	40	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
24	大通南4丁目	0.03	48	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
25	岩見通北1丁目	0.03	38	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
26	岩見通北2丁目	0.02	6	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
27	岩見通北3丁目	0.01	11	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
28	岩見通北4丁目	0.04	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
29	岩見通北5丁目	0.04	81	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
30	岩見通北6丁目	0.03	37	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
31	岩見通北7丁目	0.05	38	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
32	岩見通北8丁目	0.05	47	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
33	岩見通北9丁目	0.07	25	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
34	岩見通北10丁目	0.06	31	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
35	岩見通北11丁目	0.08	26	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
36	岩見通南1丁目	0.04	31	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
37	岩見通南2丁目	0.03	38	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
38	岩見通南3丁目	0.02	34	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
39	岩見通南4丁目	0.01	22	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
40	一条通北1丁目	0.03	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
41	一条通北2丁目	0.05	49	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
42	一条通北3丁目	0.07	33	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
43	一条通北4丁目	0.07	76	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
44	一条通北5丁目	0.03	8	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
45	一条通北6丁目	0.03	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
46	一条通北7丁目	0.02	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
47	一条通北8丁目	0.03	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
48	一条通北9丁目	0.06	10	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
49	一条通北10丁目	0.04	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
50	一条通南1丁目	0.05	81	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
51	一条通南2丁目	0.04	27	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
52	一条通南3丁目	0.01	11	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
53	二条通北1丁目	0.04	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
54	二条通北2丁目	0.03	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
55	二条通北3丁目	0.02	12	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
56	二条通北4丁目	0.02	31	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
57	二条通北5丁目	0.05	83	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
58	二条通北6丁目	0.05	99	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
59	二条通北7丁目	0.05	80	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
60	二条通北8丁目	0.01	25	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
61	二条通南1丁目	0.05	85	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
62	二条通南2丁目	0.02	15	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
63	学田1丁目	0.65	149	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
64	学田2丁目	0.87	146	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
65	学田3丁目	0.69	63	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
66	学田4丁目	0.46	21	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
67	学田5丁目	0.33	2	0.0	0.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
68	南町1丁目	0.11	96	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
69	南町2丁目	0.30	311	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
70	南町3丁目	0.57	819	0.1	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
71	南町4丁目	0.29	312	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
72	西町1丁目	0.37	161	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
73	西町2丁目	0.52	504	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
74	西町3丁目	0.55	442	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
75	東町1丁目	0.49	175	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
76	東町2丁目	0.17	177	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
77	東町3丁目	0.42	282	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
78	東町4丁目	0.48	59	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
79	東町5丁目	0.58	127	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
80	福路1丁目	0.22	74	0.0	0.01%	1未満	1未満	1未満	1未満
81	福路2丁目	0.38	124	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
82	福路3丁目	0.52	35	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
83	向遠軽	11.87	78	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
84	宮前町	0.20	81	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
85	寿町	0.45	292	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
86	丸大	3.29	40	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
87	弥生	8.68	2	0.0	0.12%	1未満	1未満	1未満	1未満
88	留岡	6.65	44	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
89	社名淵	7.04	56	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
90	豊里	9.29	449	0.1	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
91	清川	7.56	224	0.0	0.02%	1未満	1未満	1未満	1未満
92	野上	12.15	54	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
93	栄野	14.73	42	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
94	瀬戸瀬西町	1.31	63	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
95	瀬戸瀬東町	2.05	63	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
96	見晴	4.36	21	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
97	若松	8.25	23	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
98	美山	11.21	44	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
99	千代田	14.82	24	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
100	湯の里	47.21	71	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
101	柏	12.05	6	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
102	若咲内	6.07	65	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
103	白滝	8.51	0	0.0	—	1未満	1未満	1未満	1未満
104	丸瀬布元町	0.20	81	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
105	丸瀬布西町	0.14	110	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
106	丸瀬布中町	0.08	98	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
107	丸瀬布新町	1.20	236	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
108	丸瀬布東町	0.83	175	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
109	丸瀬布水谷町	0.86	193	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
110	丸瀬布天神町	1.55	42	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
111	丸瀬布金山	4.10	62	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
112	丸瀬布南丸	6.43	29	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
113	丸瀬布上丸	3.99	20	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
114	丸瀬布武利	2.73	34	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
115	丸瀬布上武利	5.29	121	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
116	丸瀬布太平	9.39	1	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
117	白滝	4.16	583	0.4	0.07%	1未満	1未満	1未満	1未満
118	上白滝	3.77	34	0.0	0.07%	1未満	1未満	1未満	1未満
119	奥白滝	5.46	16	0.0	0.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
120	旧白滝	4.89	75	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
121	下白滝	1.56	13	0.0	0.00%	1未満	1未満	1未満	1未満
122	東白滝	6.44	36	0.0	0.11%	1未満	1未満	1未満	1未満
123	白滝天狗平	8.38	20	0.0	0.07%	1未満	1未満	1未満	1未満
124	白滝北支湧別	2.87	41	0.0	0.09%	1未満	1未満	1未満	1未満
125	白滝支湧別	6.53	48	0.0	0.10%	1未満	1未満	1未満	1未満
126	白滝上支湧別	14.33	94	0.1	0.08%	1未満	1未満	1未満	1未満
127	その他	760.02	0	0.0	—	1未満	1未満	1未満	1未満
町全体		1,332.45	12,299	1.0	0.01%	0	0	0	0

※全半壊棟数は小数点第2位を四捨五入、全半壊率は小数点第3位を四捨五入しているため、町全体と各地域の和が一致しない場合があります。

図 2-9 十勝沖の揺れによる全半壊率（冬以外）



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

表 2-8 十勝沖の揺れによる被害想定（冬以外）

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
1	生田原	25.28	875	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
2	生田原安国	24.29	328	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
3	生田原水穂	11.55	185	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
4	生田原八重	24.34	70	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
5	生田原岩戸	35.75	61	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
6	生田原伊吹	36.94	92	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
7	生田原清里	70.97	96	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
8	生田原豊原	25.41	48	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
9	生田原旭野	13.65	6	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
10	大通北1丁目	0.04	49	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
11	大通北2丁目	0.04	33	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
12	大通北3丁目	0.04	60	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
13	大通北4丁目	0.08	57	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
14	大通北5丁目	0.08	26	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
15	大通北6丁目	0.08	123	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
16	大通北7丁目	0.08	124	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
17	大通北8丁目	0.06	63	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
18	大通北9丁目	0.08	68	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
19	大通北10丁目	0.08	36	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
20	大通北11丁目	0.09	43	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
21	大通南1丁目	0.06	114	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
22	大通南2丁目	0.05	102	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
23	大通南3丁目	0.02	40	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
24	大通南4丁目	0.03	48	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
25	岩見通北1丁目	0.03	38	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
26	岩見通北2丁目	0.02	6	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
27	岩見通北3丁目	0.01	11	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
28	岩見通北4丁目	0.04	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
29	岩見通北5丁目	0.04	81	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
30	岩見通北6丁目	0.03	37	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
31	岩見通北7丁目	0.05	38	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
32	岩見通北8丁目	0.05	47	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
33	岩見通北9丁目	0.07	25	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
34	岩見通北10丁目	0.06	31	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
35	岩見通北11丁目	0.08	26	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
36	岩見通南1丁目	0.04	31	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
37	岩見通南2丁目	0.03	38	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
38	岩見通南3丁目	0.02	34	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
39	岩見通南4丁目	0.01	22	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
40	一条通北1丁目	0.03	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
41	一条通北2丁目	0.05	49	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
42	一条通北3丁目	0.07	33	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
43	一条通北4丁目	0.07	76	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
44	一条通北5丁目	0.03	8	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
45	一条通北6丁目	0.03	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
46	一条通北7丁目	0.02	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
47	一条通北8丁目	0.03	46	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
48	一条通北9丁目	0.06	10	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
49	一条通北10丁目	0.04	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
50	一条通南1丁目	0.05	81	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
51	一条通南2丁目	0.04	27	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
52	一条通南3丁目	0.01	11	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
53	二条通北1丁目	0.04	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
54	二条通北2丁目	0.03	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
55	二条通北3丁目	0.02	12	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
56	二条通北4丁目	0.02	31	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
57	二条通北5丁目	0.05	83	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
58	二条通北6丁目	0.05	99	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
59	二条通北7丁目	0.05	80	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
60	二条通北8丁目	0.01	25	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
61	二条通南1丁目	0.05	85	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
62	二条通南2丁目	0.02	15	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
63	学田1丁目	0.65	149	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
64	学田2丁目	0.87	146	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
65	学田3丁目	0.69	63	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
66	学田4丁目	0.46	21	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
67	学田5丁目	0.33	2	0.0	0.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
68	南町1丁目	0.11	96	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
69	南町 2 丁目	0.30	311	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
70	南町 3 丁目	0.57	819	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
71	南町 4 丁目	0.29	312	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
72	西町 1 丁目	0.37	161	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
73	西町 2 丁目	0.52	504	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
74	西町 3 丁目	0.55	442	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
75	東町 1 丁目	0.49	175	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
76	東町 2 丁目	0.17	177	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
77	東町 3 丁目	0.42	282	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
78	東町 4 丁目	0.48	59	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
79	東町 5 丁目	0.58	127	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
80	福路 1 丁目	0.22	74	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
81	福路 2 丁目	0.38	124	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
82	福路 3 丁目	0.52	35	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
83	向遠軽	11.87	78	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
84	宮前町	0.20	81	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
85	寿町	0.45	292	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
86	丸大	3.29	40	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
87	弥生	8.68	2	0.0	0.11%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
88	留岡	6.65	44	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
89	社名淵	7.04	56	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
90	豊里	9.29	449	0.1	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
91	清川	7.56	224	0.0	0.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
92	野上	12.15	54	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
93	栄野	14.73	42	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
94	瀬戸瀬西町	1.31	63	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
95	瀬戸瀬東町	2.05	63	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
96	見晴	4.36	21	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
97	若松	8.25	23	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
98	美山	11.21	44	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
99	千代田	14.82	24	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
100	湯の里	47.21	71	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
101	柏	12.05	6	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
102	若咲内	6.07	65	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
103	白滝	8.51	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
104	丸瀬布元町	0.20	81	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
105	丸瀬布西町	0.14	110	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
106	丸瀬布中町	0.08	98	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
107	丸瀬布新町	1.20	236	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
108	丸瀬布東町	0.83	175	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
109	丸瀬布水谷町	0.86	193	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
110	丸瀬布天神町	1.55	42	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
111	丸瀬布金山	4.10	62	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
112	丸瀬布南丸	6.43	29	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
113	丸瀬布上丸	3.99	20	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
114	丸瀬布武利	2.73	34	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
115	丸瀬布上武利	5.29	121	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
116	丸瀬布太平	9.39	1	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
117	白滝	4.16	583	0.3	0.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
118	上白滝	3.77	34	0.0	0.04%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
119	奥白滝	5.46	16	0.0	0.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
120	旧白滝	4.89	75	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
121	下白滝	1.56	13	0.0	0.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
122	東白滝	6.44	36	0.0	0.10%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
123	白滝天狗平	8.38	20	0.0	0.07%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
124	白滝北支湧別	2.87	41	0.0	0.06%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
125	白滝支湧別	6.53	48	0.0	0.08%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
126	白滝上支湧別	14.33	94	0.1	0.06%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
127	その他	760.02	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
町全体		1,332.45	12,299	0.7	0.01%	0	0	0	0

※全半壊棟数は小数点第 2 位を四捨五入、全半壊率は小数点第 3 位を四捨五入しているため、町全体と各地域の和が一致しない場合があります。

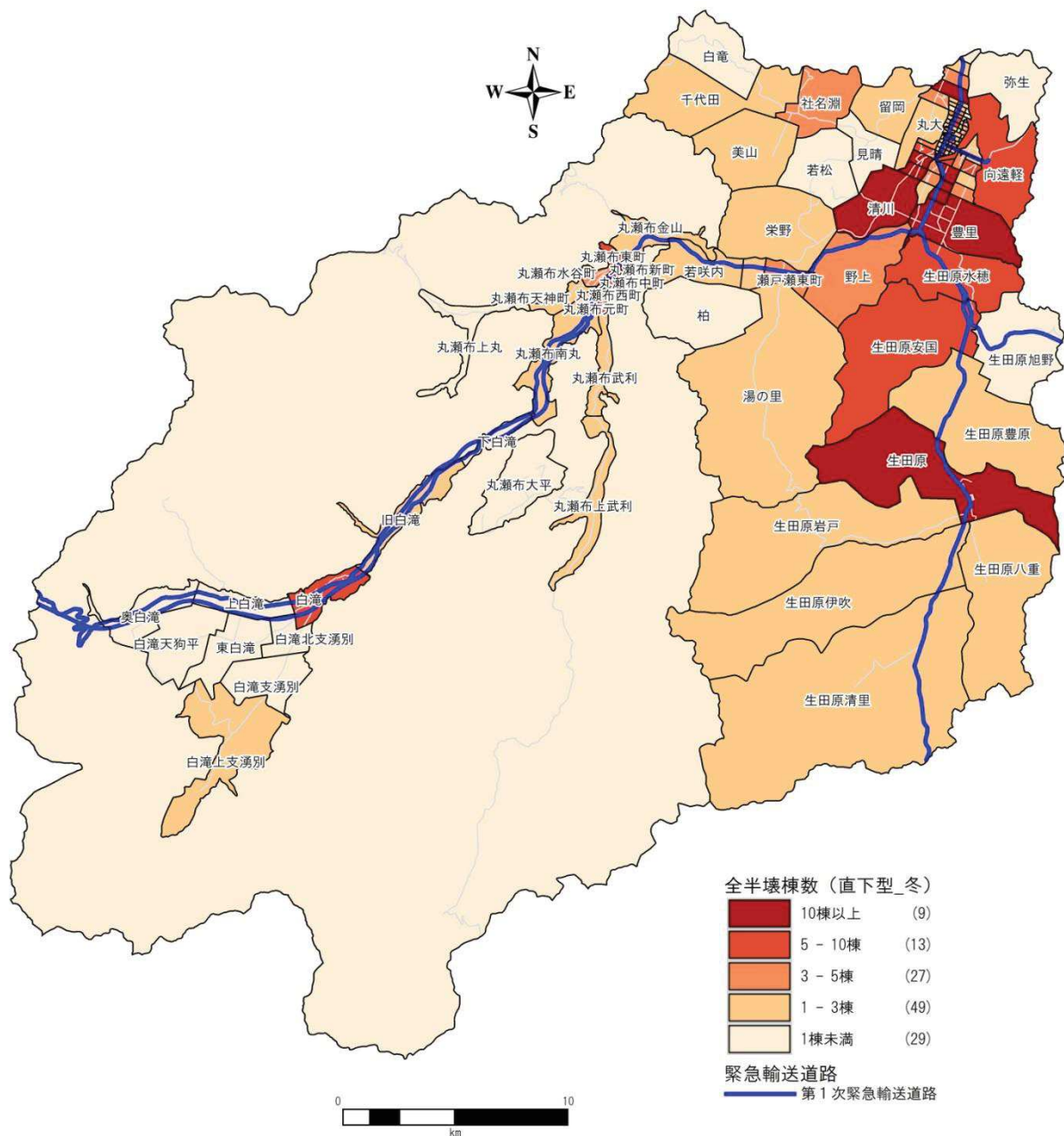
c. 全国どこでも起こりうる直下型の地震（M6.9）

全国どこでも起こりうる直下型の地震（M6.9）における全半壊棟数は、冬の場合の「遠軽市街地」や「清川」、「豊里」、「生田原」、「白滝」などの地域で10棟以上と多くなっています。

また、その他の地域では1棟未満となっています。

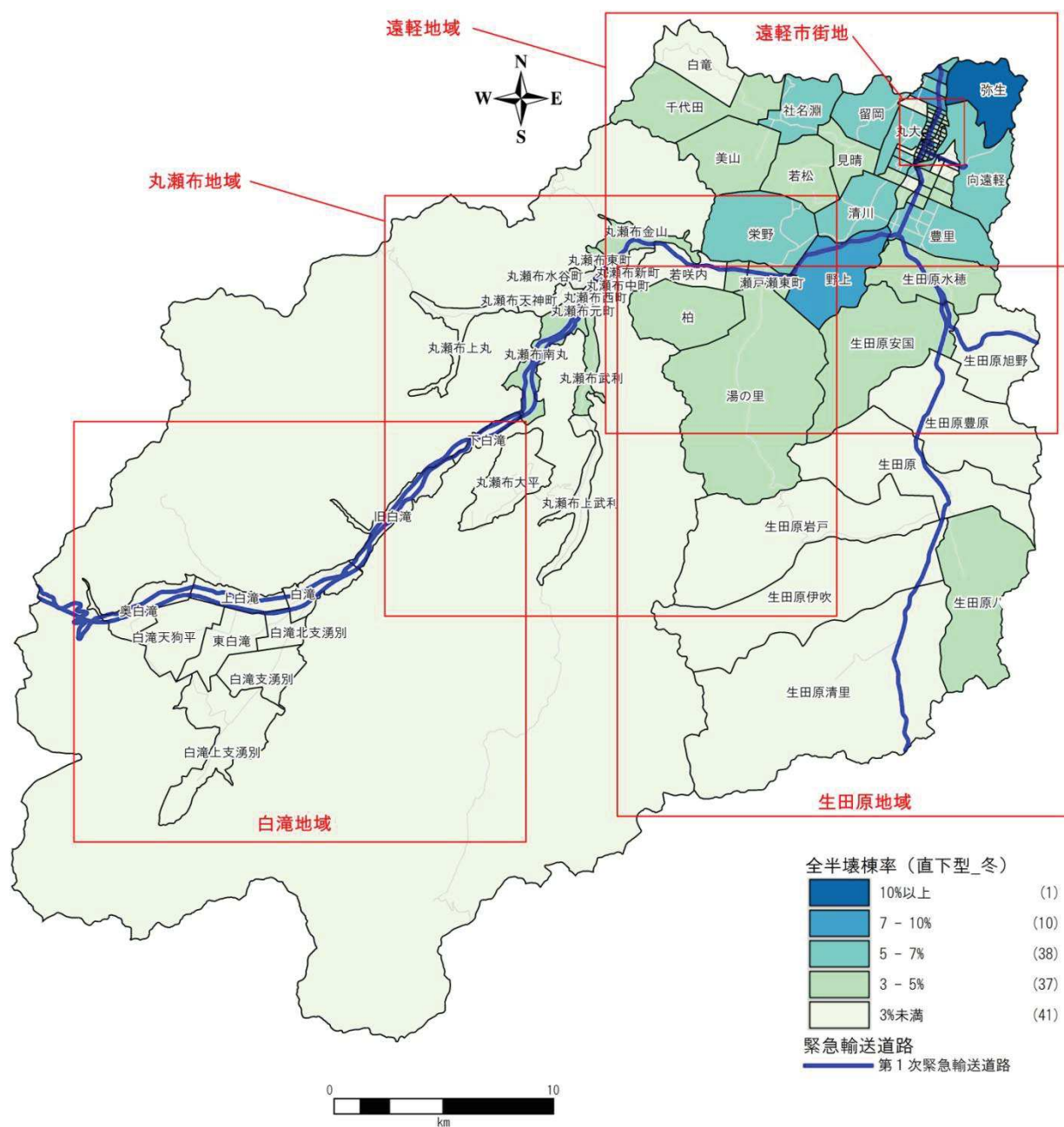
全半壊率をみると、特に「遠軽地域」で7%以上となっている地域が多く、その他の地域では「生田原」や「白滝」の割合が高くなっています。

図 2-10 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊棟数（冬の場合）



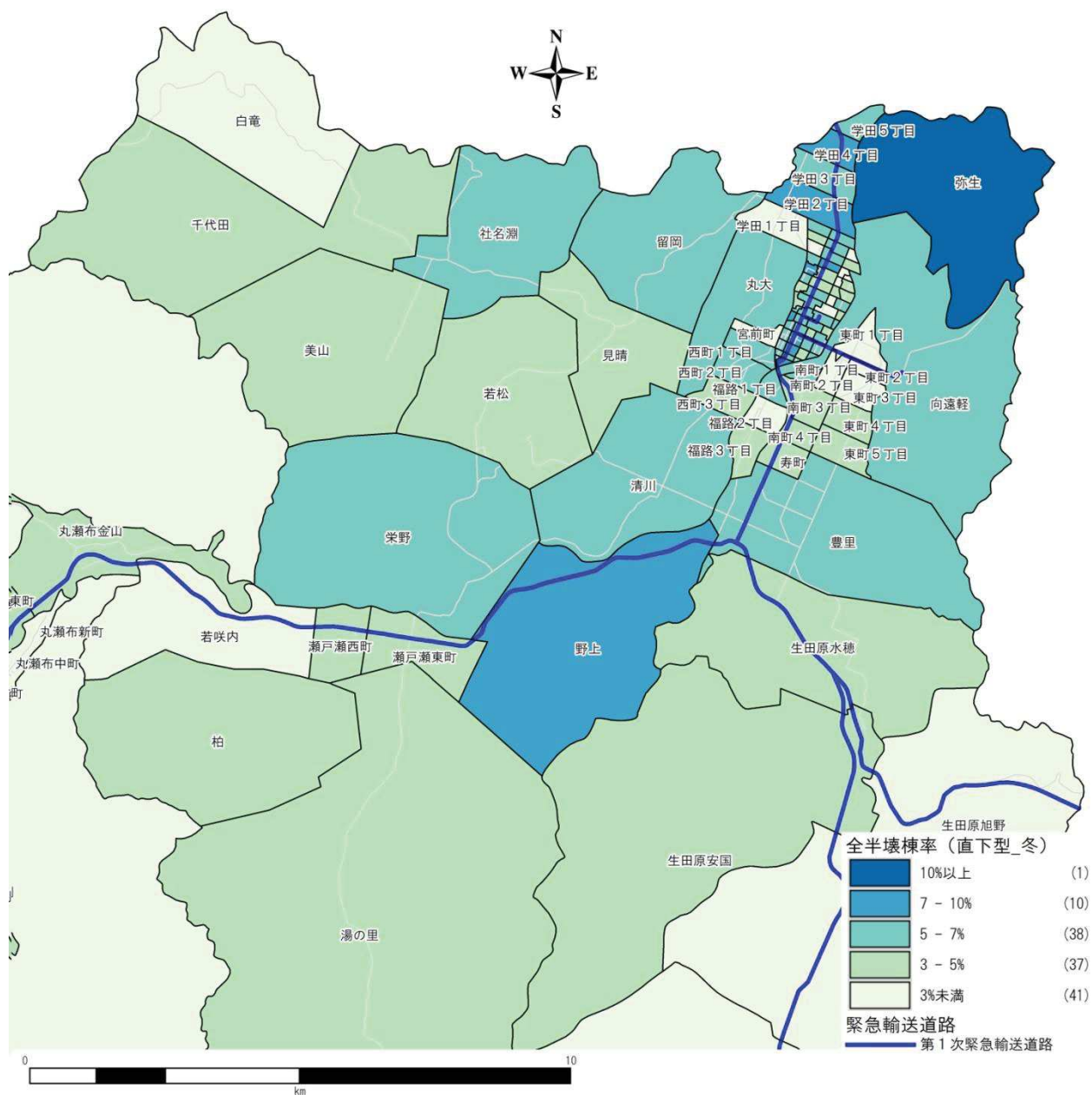
※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

図 2-11 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊率（冬の場合）



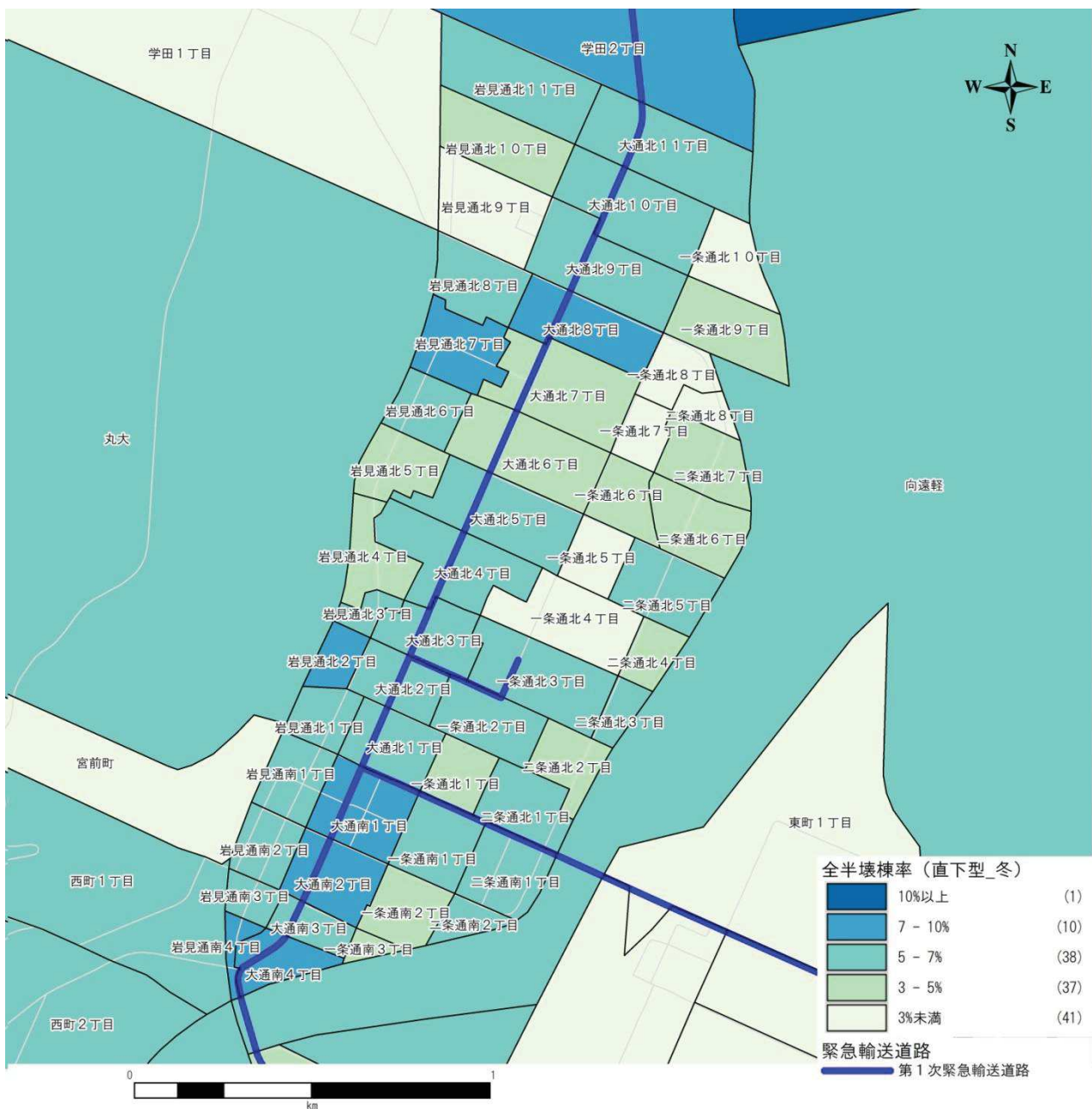
※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

図 2-12 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊率（冬の場合）遠軽地域



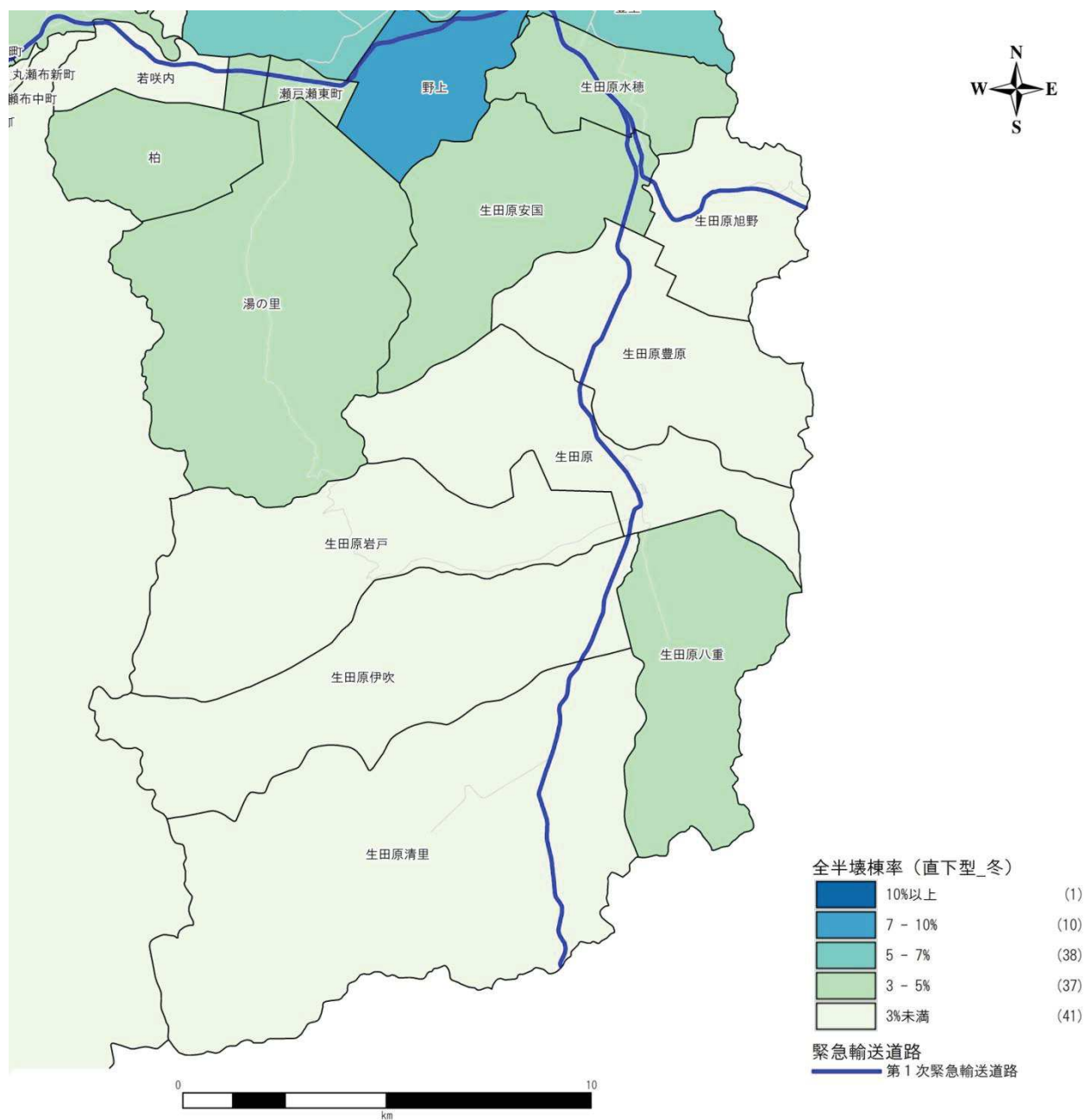
※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

図 2-13 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊率（冬の場合）遠軽市街地



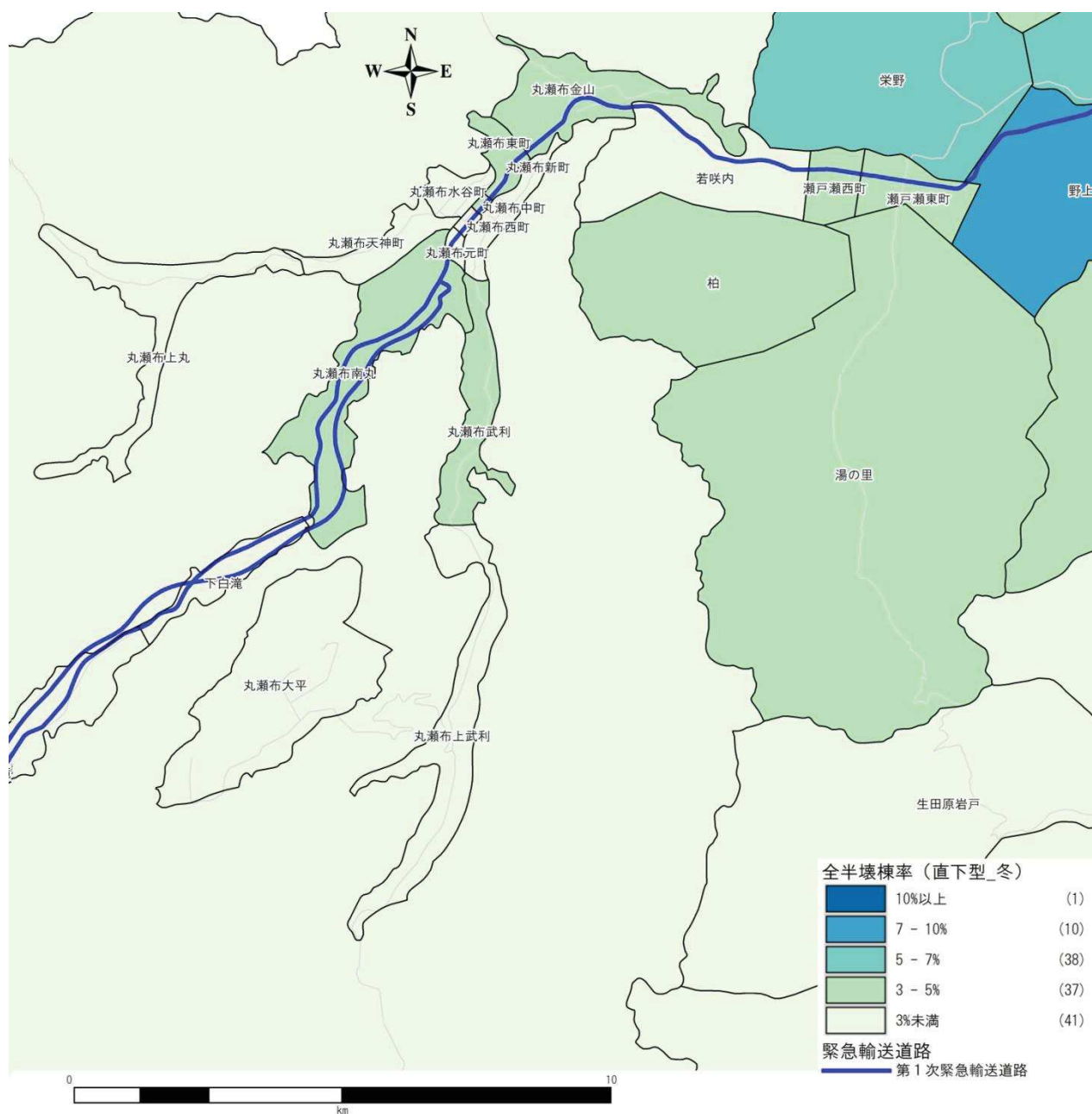
※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

図 2-14 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊率（冬の場合）生田原地域



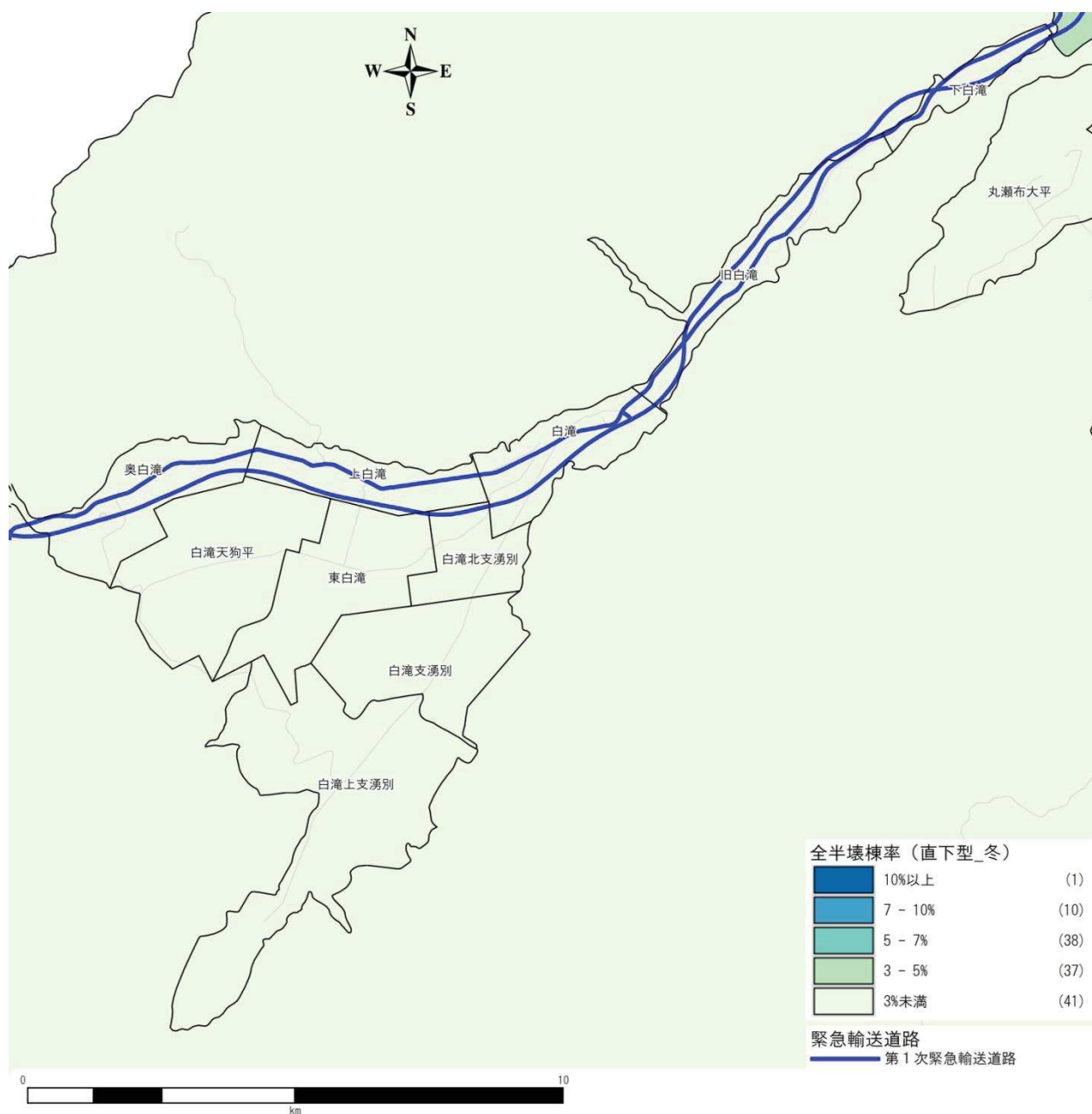
※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

図 2-15 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊率（冬の場合）丸瀬布地域



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

図 2-16 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊率（冬の場合）白滝地域



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

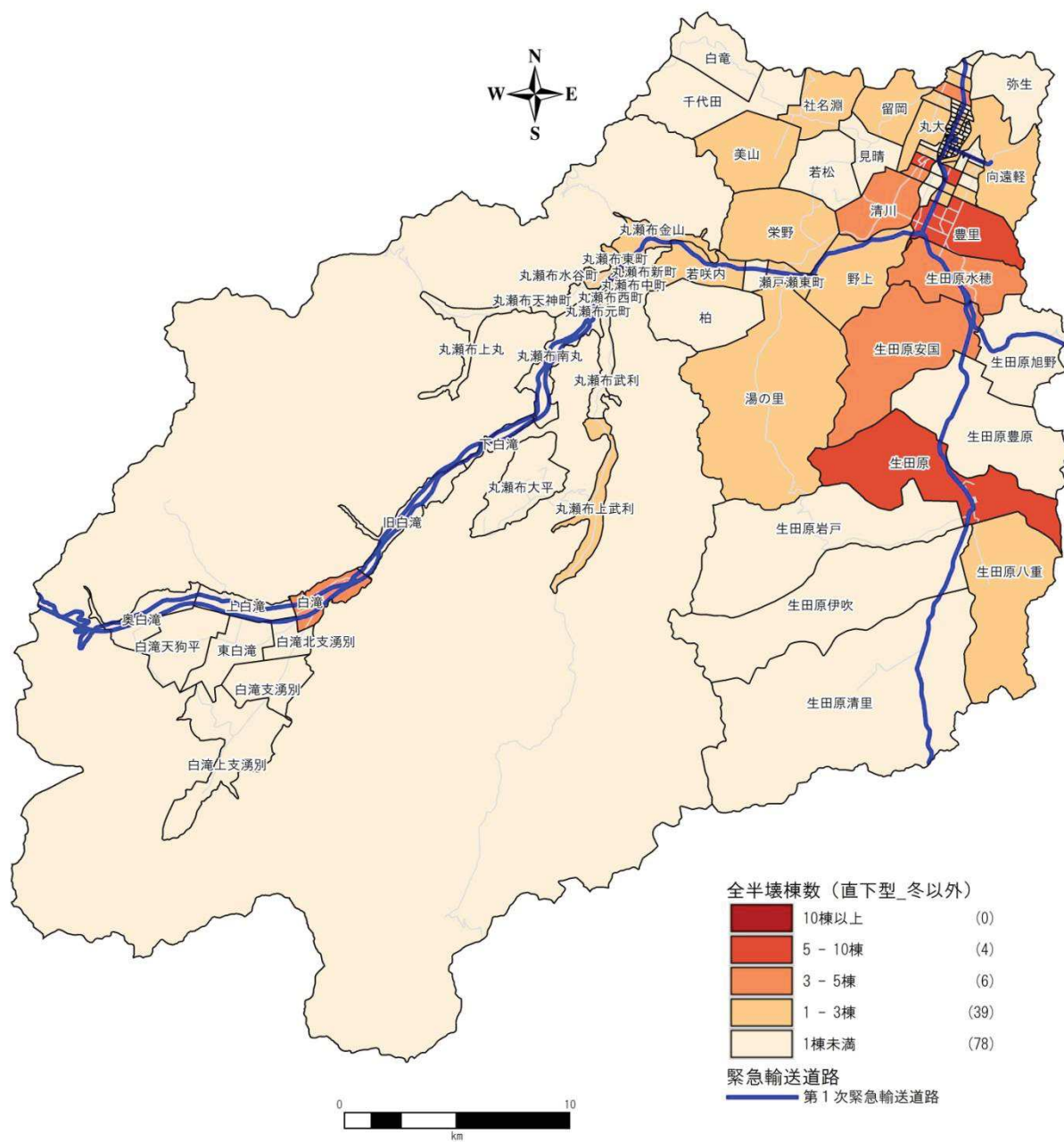
表 2-9 直下型の地震 (M6.9) の揺れによる被害想定 (冬の場合)

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
1	生田原	25.28	875	24.9	2.85%	1 未満	2	1 未満	1
2	生田原安国	24.29	328	9.9	3.00%	1 未満	1	1 未満	1 未満
3	生田原水穂	11.55	185	8.4	4.55%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
4	生田原八重	24.34	70	2.4	3.38%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
5	生田原岩戸	35.75	61	1.5	2.53%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
6	生田原伊吹	36.94	92	1.8	1.91%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
7	生田原清里	70.97	96	1.5	1.55%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
8	生田原豊原	25.41	48	1.4	2.95%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
9	生田原旭野	13.65	6	0.2	2.93%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
10	大通北 1 丁目	0.04	49	3.0	6.21%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
11	大通北 2 丁目	0.04	33	2.3	6.96%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
12	大通北 3 丁目	0.04	60	3.4	5.75%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
13	大通北 4 丁目	0.08	57	3.2	5.68%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
14	大通北 5 丁目	0.08	26	1.6	6.10%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
15	大通北 6 丁目	0.08	123	5.2	4.21%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
16	大通北 7 丁目	0.08	124	5.0	4.07%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
17	大通北 8 丁目	0.06	63	4.6	7.31%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
18	大通北 9 丁目	0.08	68	4.7	6.88%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
19	大通北 1 0 丁目	0.08	36	2.1	5.83%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
20	大通北 1 1 丁目	0.09	43	2.3	5.38%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
21	大通南 1 丁目	0.06	114	8.6	7.58%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
22	大通南 2 丁目	0.05	102	8.1	7.94%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
23	大通南 3 丁目	0.02	40	2.5	6.16%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
24	大通南 4 丁目	0.03	48	4.0	8.29%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
25	岩見通北 1 丁目	0.03	38	2.6	6.94%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
26	岩見通北 2 丁目	0.02	6	0.5	8.43%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
27	岩見通北 3 丁目	0.01	11	0.6	5.33%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
28	岩見通北 4 丁目	0.04	65	2.7	4.21%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
29	岩見通北 5 丁目	0.04	81	3.0	3.70%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
30	岩見通北 6 丁目	0.03	37	2.5	6.63%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
31	岩見通北 7 丁目	0.05	38	2.9	7.51%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
32	岩見通北 8 丁目	0.05	47	3.2	6.90%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
33	岩見通北 9 丁目	0.07	25	0.3	1.08%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
34	岩見通北 1 0 丁目	0.06	31	1.4	4.62%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
35	岩見通北 1 1 丁目	0.08	26	1.4	5.34%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
36	岩見通南 1 丁目	0.04	31	1.8	5.77%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
37	岩見通南 2 丁目	0.03	38	2.5	6.61%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
38	岩見通南 3 丁目	0.02	34	1.9	5.69%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
39	岩見通南 4 丁目	0.01	22	1.6	7.23%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
40	一条通北 1 丁目	0.03	46	2.1	4.67%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
41	一条通北 2 丁目	0.05	49	3.1	6.40%	1 未満	1	1 未満	1 未満
42	一条通北 3 丁目	0.07	33	2.1	6.36%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
43	一条通北 4 丁目	0.07	76	1.2	1.58%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
44	一条通北 5 丁目	0.03	8	0.2	2.98%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
45	一条通北 6 丁目	0.03	46	1.9	4.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
46	一条通北 7 丁目	0.02	46	0.6	1.36%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
47	一条通北 8 丁目	0.03	46	0.7	1.44%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
48	一条通北 9 丁目	0.06	10	0.3	3.39%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
49	一条通北 1 0 丁目	0.04	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
50	一条通南 1 丁目	0.05	81	4.3	5.27%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
51	一条通南 2 丁目	0.04	27	1.1	4.08%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
52	一条通南 3 丁目	0.01	11	0.4	3.22%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
53	二条通北 1 丁目	0.04	65	3.9	6.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
54	二条通北 2 丁目	0.03	65	2.0	3.12%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
55	二条通北 3 丁目	0.02	12	0.7	6.15%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
56	二条通北 4 丁目	0.02	31	1.4	4.54%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
57	二条通北 5 丁目	0.05	83	4.3	5.18%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
58	二条通北 6 丁目	0.05	99	3.5	3.53%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
59	二条通北 7 丁目	0.05	80	3.1	3.83%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
60	二条通北 8 丁目	0.01	25	0.5	1.84%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
61	二条通南 1 丁目	0.05	85	4.9	5.76%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
62	二条通南 2 丁目	0.02	15	1.0	6.55%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
63	学田 1 丁目	0.65	149	3.7	2.49%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
64	学田 2 丁目	0.87	146	10.9	7.50%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
65	学田 3 丁目	0.69	63	3.5	5.53%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
66	学田 4 丁目	0.46	21	1.7	8.03%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
67	学田 5 丁目	0.33	2	0.1	6.92%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
68	南町 1 丁目	0.11	96	5.2	5.46%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
69	南町2丁目	0.30	311	4.2	1.35%	1未満	1未満	1未満	1未満
70	南町3丁目	0.57	819	33.7	4.11%	1未満	5	1未満	4
71	南町4丁目	0.29	312	11.5	3.69%	1未満	2	1未満	1
72	西町1丁目	0.37	161	8.8	5.44%	1未満	1未満	1未満	1未満
73	西町2丁目	0.52	504	27.5	5.46%	1未満	4	1未満	4
74	西町3丁目	0.55	442	20.3	4.60%	1未満	3	1未満	3
75	東町1丁目	0.49	175	2.0	1.16%	1未満	1未満	1未満	1未満
76	東町2丁目	0.17	177	1.6	0.90%	1未満	1未満	1未満	1未満
77	東町3丁目	0.42	282	5.2	1.86%	1未満	1未満	1未満	1未満
78	東町4丁目	0.48	59	2.8	4.69%	1未満	1未満	1未満	1未満
79	東町5丁目	0.58	127	4.8	3.77%	1未満	1未満	1未満	1未満
80	福路1丁目	0.22	74	4.0	5.44%	1未満	1未満	1未満	1未満
81	福路2丁目	0.38	124	3.5	2.85%	1未満	1未満	1未満	1未満
82	福路3丁目	0.52	35	1.4	4.12%	1未満	1未満	1未満	1未満
83	向遠軽	11.87	78	5.0	6.45%	1未満	2	1未満	2
84	宮前町	0.20	81	3.9	4.78%	1未満	1未満	1未満	1未満
85	寿町	0.45	292	13.2	4.54%	1未満	2	1未満	2
86	丸大	3.29	40	2.8	6.88%	1未満	1未満	1未満	1未満
87	弥生	8.68	2	0.2	11.86%	1未満	1未満	1未満	1未満
88	留岡	6.65	44	2.8	6.34%	1未満	1未満	1未満	1未満
89	社名淵	7.04	56	3.1	5.60%	1未満	1未満	1未満	1未満
90	豊里	9.29	449	24.0	5.35%	1未満	3	1未満	2
91	清川	7.56	224	11.8	5.26%	1未満	1未満	1未満	1未満
92	野上	12.15	54	3.9	7.16%	1未満	1未満	1未満	1未満
93	栄野	14.73	42	2.5	5.84%	1未満	1未満	1未満	1未満
94	瀬戸瀬西町	1.31	63	2.9	4.61%	1未満	1未満	1未満	1未満
95	瀬戸瀬東町	2.05	63	3.1	4.84%	1未満	1未満	1未満	1未満
96	見晴	4.36	21	0.8	3.96%	1未満	1未満	1未満	1未満
97	若松	8.25	23	1.0	4.33%	1未満	1未満	1未満	1未満
98	美山	11.21	44	1.9	4.40%	1未満	1未満	1未満	1未満
99	千代田	14.82	24	1.2	4.89%	1未満	1未満	1未満	1未満
100	湯の里	47.21	71	2.7	3.80%	1未満	1未満	1未満	1未満
101	柏	12.05	6	0.2	3.27%	1未満	1未満	1未満	1未満
102	若咲内	6.07	65	1.9	2.91%	1未満	1未満	1未満	1未満
103	白滝	8.51	0	0.0	—	1未満	1未満	1未満	1未満
104	丸瀬布元町	0.20	81	1.9	2.39%	1未満	1未満	1未満	1未満
105	丸瀬布西町	0.14	110	3.1	2.82%	1未満	1未満	1未満	1未満
106	丸瀬布中町	0.08	98	3.2	3.26%	1未満	1未満	1未満	1未満
107	丸瀬布新町	1.20	236	6.5	2.74%	1未満	1未満	1未満	1未満
108	丸瀬布東町	0.83	175	5.4	3.06%	1未満	1未満	1未満	1未満
109	丸瀬布水谷町	0.86	193	3.4	1.75%	1未満	1未満	1未満	1未満
110	丸瀬布天神町	1.55	42	1.1	2.51%	1未満	1未満	1未満	1未満
111	丸瀬布金山	4.10	62	2.6	4.11%	1未満	1未満	1未満	1未満
112	丸瀬布南丸	6.43	29	1.1	3.90%	1未満	1未満	1未満	1未満
113	丸瀬布上丸	3.99	20	0.4	2.10%	1未満	1未満	1未満	1未満
114	丸瀬布武利	2.73	34	1.3	3.79%	1未満	1未満	1未満	1未満
115	丸瀬布上武利	5.29	121	2.2	1.78%	1未満	1未満	1未満	1未満
116	丸瀬布太平	9.39	1	0.0	0.04%	1未満	1未満	1未満	1未満
117	白滝	4.16	583	9.9	1.70%	1未満	1未満	1未満	1未満
118	上白滝	3.77	34	0.6	1.83%	1未満	1未満	1未満	1未満
119	奥白滝	5.46	16	0.1	0.67%	1未満	1未満	1未満	1未満
120	旧白滝	4.89	75	1.5	2.03%	1未満	1未満	1未満	1未満
121	下白滝	1.56	13	0.3	2.15%	1未満	1未満	1未満	1未満
122	東白滝	6.44	36	0.6	1.59%	1未満	1未満	1未満	1未満
123	白滝天狗平	8.38	20	0.2	1.04%	1未満	1未満	1未満	1未満
124	白滝北支湧別	2.87	41	0.7	1.71%	1未満	1未満	1未満	1未満
125	白滝支湧別	6.53	48	0.9	1.97%	1未満	1未満	1未満	1未満
126	白滝上支湧別	14.33	94	2.0	2.12%	1未満	1未満	1未満	1未満
127	その他	760.02	0	0.0	—	1未満	1未満	1未満	1未満
町全体		1,332.45	12,299	479.3	3.90%	1	49	5	44

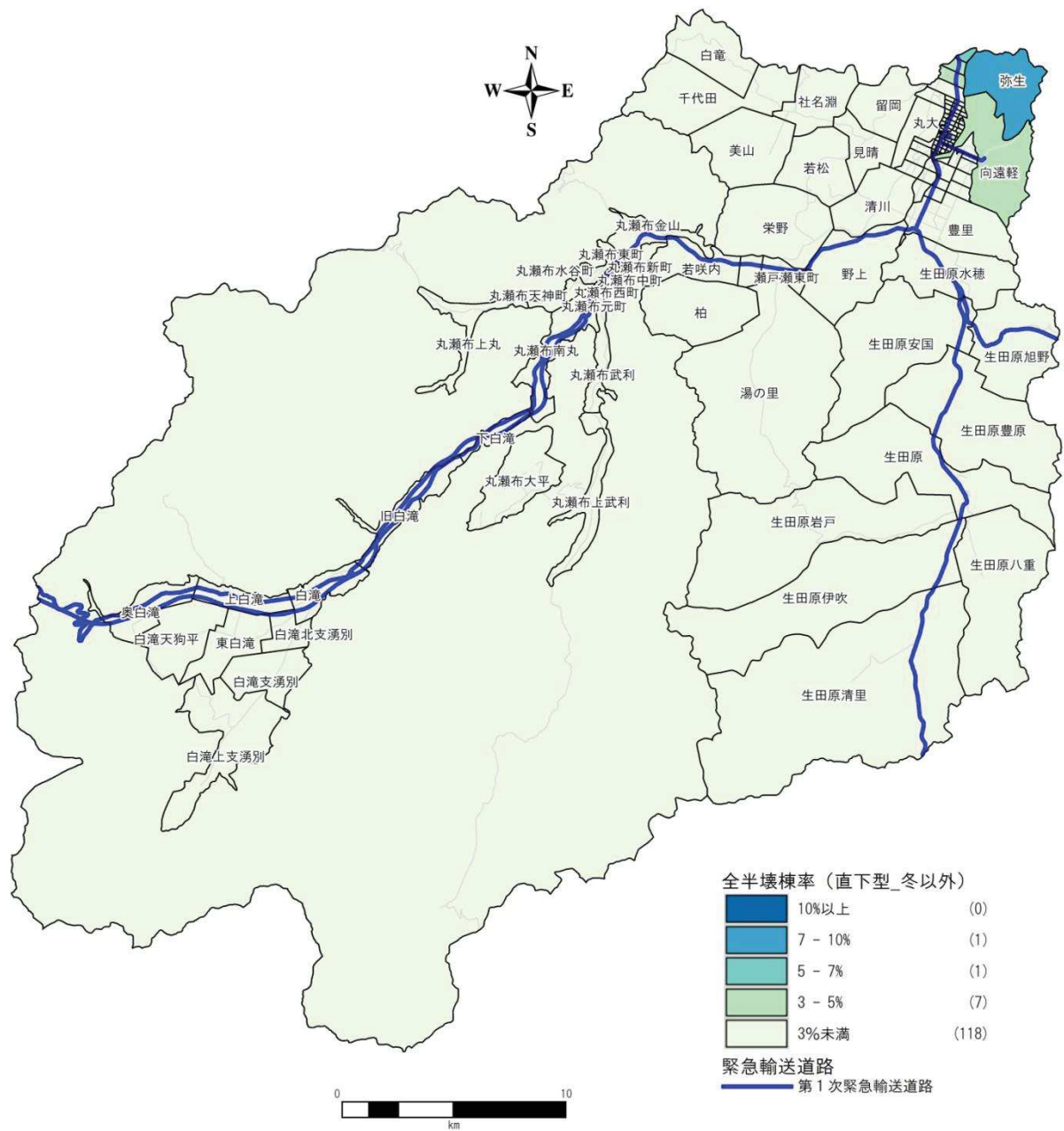
※全半壊棟数は小数点第2位を四捨五入、全半壊率は小数点第3位を四捨五入しているため、町全体と各地域の和が一致しない場合があります。

図 2-17 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊棟数（冬以外）



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

図 2-18 直下型の地震（M6.9）の揺れによる全半壊率（冬以外）



※第2次緊急輸送道路、第3次緊急輸送道路については、P67（図3-3）～P72（図3-8）を参照

表 2-10 直下型の地震 (M6.9) の揺れによる被害想定 (冬以外)

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
1	生田原	25.28	875	8.6	0.98%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
2	生田原安国	24.29	328	3.9	1.18%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
3	生田原水穂	11.55	185	3.1	1.66%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
4	生田原八重	24.34	70	1.5	2.13%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
5	生田原岩戸	35.75	61	0.6	1.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
6	生田原伊吹	36.94	92	0.8	0.86%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
7	生田原清里	70.97	96	0.8	0.87%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
8	生田原豊原	25.41	48	0.6	1.21%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
9	生田原旭野	13.65	6	0.1	1.16%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
10	大通北 1 丁目	0.04	49	1.7	3.39%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
11	大通北 2 丁目	0.04	33	0.9	2.60%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
12	大通北 3 丁目	0.04	60	0.9	1.46%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
13	大通北 4 丁目	0.08	57	1.3	2.33%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
14	大通北 5 丁目	0.08	26	0.7	2.70%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
15	大通北 6 丁目	0.08	123	1.8	1.49%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
16	大通北 7 丁目	0.08	124	1.0	0.83%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
17	大通北 8 丁目	0.06	63	1.2	1.97%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
18	大通北 9 丁目	0.08	68	1.6	2.34%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
19	大通北 1 0 丁目	0.08	36	0.6	1.76%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
20	大通北 1 1 丁目	0.09	43	0.4	1.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
21	大通南 1 丁目	0.06	114	2.4	2.13%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
22	大通南 2 丁目	0.05	102	2.3	2.25%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
23	大通南 3 丁目	0.02	40	0.7	1.85%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
24	大通南 4 丁目	0.03	48	1.2	2.50%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
25	岩見通北 1 丁目	0.03	38	0.8	2.21%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
26	岩見通北 2 丁目	0.02	6	0.3	4.25%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
27	岩見通北 3 丁目	0.01	11	0.1	0.65%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
28	岩見通北 4 丁目	0.04	65	0.5	0.69%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
29	岩見通北 5 丁目	0.04	81	0.7	0.86%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
30	岩見通北 6 丁目	0.03	37	0.7	1.87%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
31	岩見通北 7 丁目	0.05	38	0.7	1.96%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
32	岩見通北 8 丁目	0.05	47	0.6	1.36%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
33	岩見通北 9 丁目	0.07	25	0.1	0.27%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
34	岩見通北 1 0 丁目	0.06	31	0.8	2.67%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
35	岩見通北 1 1 丁目	0.08	26	0.2	0.79%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
36	岩見通南 1 丁目	0.04	31	0.6	1.89%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
37	岩見通南 2 丁目	0.03	38	1.6	4.11%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
38	岩見通南 3 丁目	0.02	34	0.7	1.93%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
39	岩見通南 4 丁目	0.01	22	0.3	1.22%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
40	一条通北 1 丁目	0.03	46	0.9	1.98%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
41	一条通北 2 丁目	0.05	49	1.0	2.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
42	一条通北 3 丁目	0.07	33	1.3	4.02%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
43	一条通北 4 丁目	0.07	76	0.3	0.39%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
44	一条通北 5 丁目	0.03	8	0.2	2.80%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
45	一条通北 6 丁目	0.03	46	0.4	0.89%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
46	一条通北 7 丁目	0.02	46	0.2	0.54%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
47	一条通北 8 丁目	0.03	46	0.3	0.64%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
48	一条通北 9 丁目	0.06	10	0.2	2.09%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
49	一条通北 1 0 丁目	0.04	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
50	一条通南 1 丁目	0.05	81	1.2	1.48%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
51	一条通南 2 丁目	0.04	27	0.4	1.41%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
52	一条通南 3 丁目	0.01	11	0.2	1.47%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
53	二条通北 1 丁目	0.04	65	0.9	1.41%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
54	二条通北 2 丁目	0.03	65	0.5	0.72%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
55	二条通北 3 丁目	0.02	12	0.2	1.84%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
56	二条通北 4 丁目	0.02	31	0.7	2.22%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
57	二条通北 5 丁目	0.05	83	0.8	0.98%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
58	二条通北 6 丁目	0.05	99	1.0	0.97%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
59	二条通北 7 丁目	0.05	80	0.7	0.85%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
60	二条通北 8 丁目	0.01	25	0.2	0.70%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
61	二条通南 1 丁目	0.05	85	1.5	1.72%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
62	二条通南 2 丁目	0.02	15	0.3	2.00%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
63	学田 1 丁目	0.65	149	1.2	0.79%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
64	学田 2 丁目	0.87	146	3.9	2.65%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
65	学田 3 丁目	0.69	63	2.1	3.26%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
66	学田 4 丁目	0.46	21	0.8	3.89%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
67	学田 5 丁目	0.33	2	0.1	6.92%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
68	南町 1 丁目	0.11	96	1.1	1.10%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満

	住所	面積 (km ²)	建築物数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	全半壊率 (%)	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
69	南町 2 丁目	0.30	311	1.0	0.32%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
70	南町 3 丁目	0.57	819	6.5	0.79%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
71	南町 4 丁目	0.29	312	2.4	0.78%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
72	西町 1 丁目	0.37	161	2.4	1.51%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
73	西町 2 丁目	0.52	504	5.5	1.10%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
74	西町 3 丁目	0.55	442	3.9	0.88%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
75	東町 1 丁目	0.49	175	0.8	0.46%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
76	東町 2 丁目	0.17	177	0.6	0.37%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
77	東町 3 丁目	0.42	282	1.7	0.59%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
78	東町 4 丁目	0.48	59	1.0	1.64%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
79	東町 5 丁目	0.58	127	1.3	0.99%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
80	福路 1 丁目	0.22	74	0.8	1.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
81	福路 2 丁目	0.38	124	0.7	0.55%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
82	福路 3 丁目	0.52	35	0.4	1.05%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
83	向遠軽	11.87	78	2.9	3.78%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
84	宮前町	0.20	81	0.8	0.96%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
85	寿町	0.45	292	2.5	0.85%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
86	丸大	3.29	40	1.1	2.67%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
87	弥生	8.68	2	0.1	7.18%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
88	留岡	6.65	44	1.1	2.59%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
89	社名淵	7.04	56	1.3	2.37%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
90	豊里	9.29	449	7.4	1.65%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
91	清川	7.56	224	5.0	2.21%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
92	野上	12.15	54	1.2	2.19%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
93	栄野	14.73	42	1.1	2.51%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
94	瀬戸瀬西町	1.31	63	0.8	1.30%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
95	瀬戸瀬東町	2.05	63	1.1	1.70%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
96	見晴	4.36	21	0.3	1.48%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
97	若松	8.25	23	0.4	1.81%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
98	美山	11.21	44	1.1	2.40%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
99	千代田	14.82	24	0.4	1.70%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
100	湯の里	47.21	71	1.3	1.80%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
101	柏	12.05	6	0.0	0.78%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
102	若咲内	6.07	65	1.2	1.77%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
103	白滝	8.51	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
104	丸瀬布元町	0.20	81	1.1	1.40%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
105	丸瀬布西町	0.14	110	0.8	0.72%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
106	丸瀬布中町	0.08	98	1.1	1.16%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
107	丸瀬布新町	1.20	236	1.5	0.64%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
108	丸瀬布東町	0.83	175	1.7	0.99%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
109	丸瀬布水谷町	0.86	193	1.0	0.54%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
110	丸瀬布天神町	1.55	42	0.2	0.58%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
111	丸瀬布金山	4.10	62	1.1	1.73%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
112	丸瀬布南丸	6.43	29	0.4	1.41%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
113	丸瀬布上丸	3.99	20	0.2	1.12%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
114	丸瀬布武利	2.73	34	0.8	2.42%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
115	丸瀬布上武利	5.29	121	1.1	0.89%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
116	丸瀬布太平	9.39	1	0.0	0.01%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
117	白滝	4.16	583	3.9	0.67%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
118	上白滝	3.77	34	0.2	0.68%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
119	奥白滝	5.46	16	0.1	0.53%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
120	旧白滝	4.89	75	0.8	1.12%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
121	下白滝	1.56	13	0.1	1.10%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
122	東白滝	6.44	36	0.4	1.15%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
123	白滝天狗平	8.38	20	0.2	0.93%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
124	白滝北支湧別	2.87	41	0.3	0.76%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
125	白滝支湧別	6.53	48	0.6	1.16%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
126	白滝上支湧別	14.33	94	0.8	0.88%	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
127	その他	760.02	0	0.0	—	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
町全体		1,332.45	12,299	148.4	1.21%	0	14	1	12

※全半壊棟数は小数点第 2 位を四捨五入、全半壊率は小数点第 3 位を四捨五入しているため、町全体と各地域の和が一致しない場合があります。

2 耐震化対策の現状の把握

(1) 住宅の耐震化の現状

住宅の耐震化の現状は、「北海道耐震改修促進計画」の考え方を基に推計します。同計画では、昭和 57 年以降に建設された住宅は耐震性を有しているものとし、さらに昭和 56 年以前の建設であっても、耐震診断の結果から一定程度は耐震性を有するものとして耐震化率を推計しています。

町では、住宅 8,944 棟のうち、昭和 57 年以降建設が 4,635 棟（51.8%）、昭和 56 年以前建設が 4,309 棟（48.2%）となっています。

昭和 56 年以前建設の 4,309 棟のうち公共建築物では約 75%（69 棟）、民間建築物では約 25%（1,046 棟）が耐震性を有するものと想定すると、合計 1,115 棟となります。

その結果、耐震性を有する住宅は 5,750 棟（1,115 棟＋4,635 棟）で 64.3%、耐震性が不十分なものは 3,194 棟で 35.7%と推計されます。

平成 22 年 3 月に策定された前回計画では、平成 27 年度までに住宅の耐震化率を 90%とすることを目標としていました。

計画当初の耐震化率の 46.2%から平成 30 年度までに 64.3%と耐震化が進んでいるものの、さらなる耐震化の促進が必要です。

表 2-11 住宅建築物の耐震化の現状 (単位：棟)

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物			昭和 57 年 以降の建 築物 E	耐震性を 有する建 築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		耐震性を有 する建築物 B=C+D	C	耐震性が 不十分な 建築物 D			
住宅全体	8,944	4,309	1,115	3,194	4,635	5,750	64.3%

資料：町家屋台帳

(参考) 住宅建築物の耐震化の現状 (前回計画) (単位：棟)

	建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の建築物 E	耐震性を有する建築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
			B=C+D	耐震性を有する建築物 C			
公共	教職員住宅等	166	91	—	91	75	45.2%
	町営住宅	300	125	—	125	175	58.4%
	小計	466	216	0	216	250	53.7%
民間	専用住宅	8,144	4,481	—	4,481	3,663	45.0%
	共同住宅	241	66	—	66	175	72.7%
	小計	8,385	4,547	0	4,547	3,838	45.8%
住宅全体		8,851	4,763	0	4,763	4,088	46.2%

①公共建築物

表 2-12 住宅建築物の耐震化の現状

(単位：棟)

	建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物			昭和 57 年以降の 建築物 E	耐震性を 有する建 築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
			B=C+D	耐震性を 有する建 築物 C	耐震性が 不十分な 建築物 D			
木 造	教職員住宅等	121	31	7	24	90	97	80.5%
	町営住宅	138	11	11	0	127	138	100.0%
	小計	259	42	18	24	217	235	90.9%
非 木 造	教職員住宅等	13	8	7	1	5	12	93.2%
	町営住宅	75	44	44	0	31	75	100.0%
	小計	88	52	51	1	36	87	99.0%
教職員住宅等 計		134	39	14	25	95	109	81.3%
町営住宅 計		213	55	55	0	158	213	100.0%
合計		347	94	69	25	253	322	92.8%

※教職員住宅の内木造住宅は昭和 56 年以前建設住宅の 24%を耐震性有とし、非木造住宅は昭和 56 年以前建設住宅の 89%を耐震性有とした。

※町営住宅は昭和 56 年以前建設住宅であっても躯体の安全性が確保されていることから、100%を耐震性有りとした。

②民間建築物

表 2-13 住宅建築物の耐震化の現状

(単位：棟)

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年 以降の建 築物 E	耐震性を 有する建築 物 F=C+E	耐震化率 G=F/A	
		耐震性を有 する建築物 B=C+D C	耐震性が 不十分な 建築物 D				
専用住宅	8,319	4,162	999	3,163	4,157	5,156	62.0%
共同住宅	278	53	47	6	225	272	97.8%
合計	8,597	4,215	1,046	3,169	4,382	5,428	63.1%

※専用住宅は昭和 56 年以前建設住宅の 24%を耐震性有とし、共同住宅は昭和 56 年以前建設住宅の 89%を耐震性有とした。

（２）特定建築物の耐震化の現状

特定建築物は、耐震改修促進法第 14 条の第 1 号から 3 号までに以下のように分類された既存耐震不適格建築物（昭和 56 年以前の旧耐震基準で建てられた建築物）です。

耐震改修促進法第 15 条第 2 項では、上記のうち地震に対する安全性の向上を図ることが特に必要なものとして政令で定める規模以上のものについて、必要な耐震診断又は耐震改修が行われていないと認めるときは、該当建築物の所有者に対して必要な指示をすることができるとされています。

耐震改修促進法に規定する特定建築物は 38 施設あり、多数利用建築物が 25 施設、危険物等貯蔵施設が 13 施設となっています。避難路沿道建築物の該当はありません。多数利用建築物のうち 15 施設が公共施設です。

表 2-14 特定建築物の概要（耐震改修促進法第 14 条第 1 号～3 号）

該当	区分	内容
1 号	多数の者が利用する建築物 （以下、多数利用建築物）	学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、老人ホームその他多数の者が利用する建築物で政令で定めるものであって政令で定める規模以上のもの
2 号	危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物 （以下、危険物貯蔵等建築物）	火薬類、石油類その他政令で定める危険物であって政令で定める数量以上のものの貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物
3 号	地震時に通行を確保すべき沿道建築物 （以下、避難路沿道建築物）	地震によって倒壊した場合においてその敷地に接する道路の通行を妨げ、多数の者の円滑な避難を困難とするおそれがあるものとして政令で定める建築物であって、その敷地が都道府県耐震改修促進計画に記載された道路に接するもの

表 2-15 町内の特定建築物の棟数

（単位：棟）

	特定建築物 （法第 14 条） （昭和 56 年以前建設）		安全の向上が特に必要な 建築物 （法第 15 条）				耐震診断義務付け 対象建築物 （法附則第 3 条）		
	耐震性を有する建築物	耐震性が不十分な建築物	耐震性を有する建築物	耐震性が不十分な建築物	耐震性を有する建築物	耐震性が不十分な建築物	耐震性を有する建築物	耐震性が不十分な建築物	
多数利用建築物	25	7	18	16	7	9	6	5	1
うち公共施設	15	7	8	13	7	6	6	5	1
うち民間施設	10	0	10	3	0	3	0	0	0
危険物貯蔵等建築物	13	0	13	0	0	0	0	0	0
うち公共施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち民間施設	13	0	13	0	0	0	0	0	0
避難路沿道建築物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	38	7	31	16	7	9	6	5	1

表 2-16 耐震改修促進法第 14 条第 1 号に規定する多数利用建築物となる要件

用途		多数利用建築物 (法第 14 条)	安全性の向上が 特に必要な建築 物 (法第 15 条)	耐震診断義務付 け対象建築物 (法附則第 3 条)
学校	小学校、中学校、中等教育学校の 前期課程、特別支援学校	階数 2 以上かつ 1,000 m ² 以上(屋 内運動場の面積 を含む。)	階数 2 以上かつ 1,500 m ² 以上(屋 内運動場の面積 を含む。)	階数 2 以上かつ 3,000 m ² 以上(屋 内運動場の面積 を含む。)
	上記以外の学校	階数 3 以上かつ 1,000 m ² 以上		
体育館（一般公共の用に供されるもの）		階数 1 以上かつ 1,000 m ² 以上	階数 1 以上かつ 2,000 m ² 以上	階数 1 以上かつ 5,000 m ² 以上
ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設		階数 3 以上かつ 1,000 m ² 以上	階数 3 以上かつ 2,000 m ² 以上	階数 3 以上かつ 5,000 m ² 以上
病院、診療所				
劇場、観覧場、映画館、演芸場				
集会所、公会堂				
展示場				
卸売市場				
百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗			階数 3 以上かつ 2,000 m ² 以上	階数 3 以上かつ 5,000 m ² 以上
ホテル、旅館				
賃貸住宅（共同住宅に限る。）、寄宿舍、下宿				
事務所				
老人ホーム、老人短期入所施設、福祉ホームその他これらに類するもの		階数 2 以上かつ 1,000 m ² 以上	階数 2 以上かつ 2,000 m ² 以上	階数 2 以上かつ 5,000 m ² 以上
老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの				
幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所		階数 2 以上かつ 500 m ² 以上	階数 2 以上かつ 750 m ² 以上	階数 2 以上かつ 1,500 m ² 以上
博物館、美術館、図書館		階数 3 以上かつ 1,000 m ² 以上	階数 3 以上かつ 2,000 m ² 以上	階数 3 以上かつ 5,000 m ² 以上
遊技場				
公衆浴場				
飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これに類するもの				
理髪店、質屋、貸衣装屋、銀行その他これらに類するサービス業を営む店舗				
工場（危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物を除く）				
車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場を構成する建築物で、旅客の乗降又は待合いの用に供するもの			階数 3 以上かつ 2,000 m ² 以上	階数 3 以上かつ 5,000 m ² 以上
自動車車庫その他の自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設				
保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物				

表 2-17 耐震改修促進法第 14 条第 2 号に規定する危険物貯蔵等建築物の要件

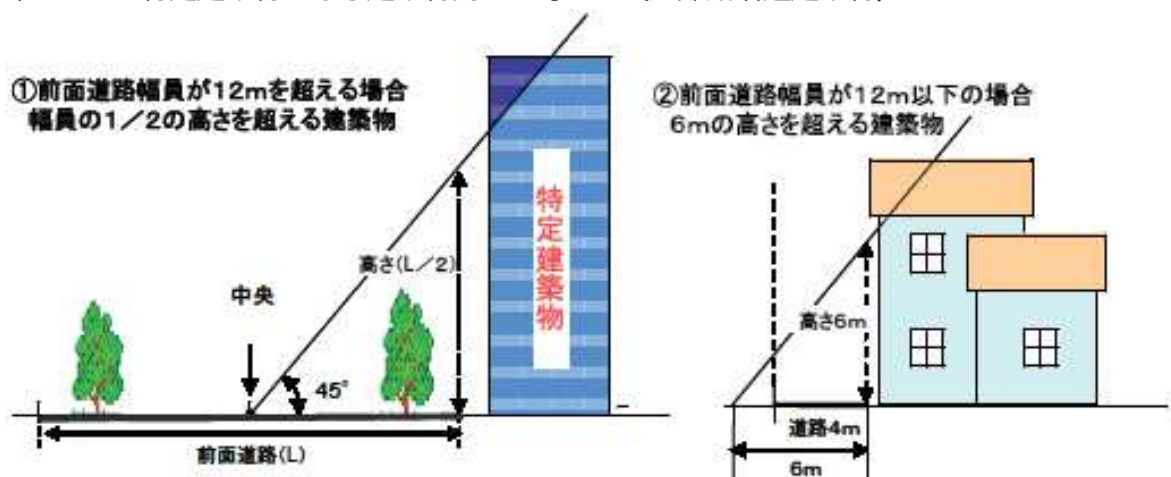
危険物の種類	危険物の数量	安全性の向上が特に必要な建築物（法第 15 条）	耐震診断義務付け対象建築物（法附則第 3 条）
① 火薬類（法律で規定） イ 火薬 ロ 爆薬 ハ 工業雷管若しくは電気雷管又は信号雷管 ニ 銃用雷管 ホ 実包若しくは空包、信管若しくは火管又は電気導火線 ヘ 導爆線又は導火線 ト 信号炎管若しくは信号火箭又は煙火 チ その他火薬を使用した火工品 その他爆薬を使用した火工品	10 t 5 t 50万個 500万個 5万個 500km 2 t 10 t 5 t	500 m以上	階数 1 以上かつ 5,000 m ² 以上（敷地境界線から一定距離以内に存する建築物に限る）
② 消防法第 2 条第 7 項に規定する危険物	危険物の規制に関する政令別表第三の指定数量の欄に定める数量の 10 倍の数量		
③ 危険物の規制に関する政令別表第 4 備考第 6 号に規定する可燃性個体類	可燃性個体類 30 t		
④ 危険物の規制に関する政令別表第 4 備考第 8 号に規定する可燃性液体類	可燃性液体類 20 m ³		
⑤ マッチ	300 マッチトン※		
⑥ 可燃性のガス（⑦及び⑧を除く）	2 万 m ³		
⑦ 圧縮ガス	20 万 m ³		
⑧ 液化ガス	2,000 t		
⑨ 毒物及び劇薬取締法第 2 条第 1 項に規定する毒物（液体又は気体のものに限る）	20 t		
⑩ 毒物及び劇薬取締法第 2 条第 2 項に規定する劇物（液体又は気体のものに限る）	200 t		

※マッチトン：マッチの計量単位で、1 マッチトンは、並型マッチ（56×36×17 mm）で 7,200 個

避難路沿道建築物は、その高さが、当該部分から前面道路の境界線までの水平距離に、当該前面道路の幅員に応じ、それぞれ定める距離を加えたものを超える建築物としています。

- ・ 幅員 12m 以下の場合 6m＋前面道路までの水平距離
- ・ 幅員 12m を超える場合 前面道路の幅員の 2 分の 1 に相当する距離＋前面道路までの水平距離

図 2-19 特定建築物となる建築物高さの考え方（避難路沿道建築物）



(3) 多数利用建築物

町内の多数利用建築物は 57 棟あり、昭和 56 年以前建設が 25 棟、昭和 57 年以降建設が 32 棟となっています。これらは全て耐震改修促進法第 14 条 1 号に規定する建築物です。平成 22 年度に策定された本計画では、平成 27 年度までに多数利用建築物の耐震化率を 90%とすることを目標としていました。平成 30 年度の現時点での耐震化率は公共施設 77.1%、民間施設 54.5%、合計 68.4%となっています。

表 2-18 多数利用建築物の耐震化の状況 (単位：棟)

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の建築物 E	耐震性を有する建築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		B=C+D	耐震性を有する建築物 C			
多数利用建築物 (法第 14 条)	57	25	7	18	32	68.4%
公共施設	35	15	7	8	20	77.1%
民間施設	22	10	0	10	12	54.5%
安全性の向上が特に必要な建築物 (法第 15 条)	26	16	7	9	10	65.4%
公共施設	20	13	7	6	7	70.0%
民間施設	6	3	0	3	3	50.0%
耐震診断義務付け対象建築物 (法附則第 3 条)	10	6	5	1	4	90.0%
公共施設	9	6	5	1	3	88.9%
民間施設	1	0	0	0	1	100.0%

① 公共建築物

表 2-19 多数利用建築物の耐震化状況 (法第 14 条) (単位：棟)

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の建築物 E	耐震性を有する建築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		B=C+D	耐震性を有する建築物 C			
町営住宅	8	0	0	8	8	100.0%
庁舎	2	2	2	0	0	0.0%
学校	14	9	7	5	12	85.7%
体育館	5	2	2	3	3	60.0%
集会所	1	1	1	0	0	0.0%
福祉施設	3	0	0	3	3	100.0%
事務所	1	1	1	0	0	0.0%
宿泊施設	1	0	0	1	1	100.0%
合計	35	15	7	20	27	77.1%

資料：町調べ

表 2-20 安全性の向上が特に必要な建築物の耐震化状況 (法第 15 条) (単位：棟)

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の建築物 E	耐震性を有する建築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		B=C+D	耐震性を有する建築物 C			
庁舎	2	2	2	0	0	0.0%
学校	14	9	7	5	12	85.7%
体育館	2	1	1	1	1	50.0%
集会所	1	1	1	0	0	0.0%
宿泊施設	1	0	0	1	1	100.0%
合計	20	13	7	7	14	70.0%

資料：町調べ

表 2-21 耐震診断義務付け対象建築物の耐震化状況（法附則第 3 条）（単位：棟）

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の 建築物 E	耐震性を 有する建 築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		B=C+D	耐震性を 有する建 築物 C			
学校	9	6	5	1	3	88.9%

資料：町調べ

②民間建築物

表 2-22 多数利用建築物の耐震化状況（法第 14 条）（単位：棟）

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の 建築物 E	耐震性を 有する建 築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		B=C+D	耐震性を 有する建 築物 C			
共同住宅	10	2		2	8	80.0%
ホテル、旅館	3	2		2	1	33.3%
事務所	2	1		1	1	50.0%
銀行	2	2		2	0	0.0%
店舗	3	2		2	1	33.3%
病院	2	1		1	1	50.0%
合計	22	10	0	10	12	54.5%

資料：町調べ

表 2-23 安全性の向上が特に必要な建築物の耐震化状況（法第 15 条）（単位：棟）

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の 建築物 E	耐震性を 有する建 築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		B=C+D	耐震性を 有する建 築物 C			
ホテル、旅館	2	1		1	1	50.0%
銀行	1	1		1	0	0.0%
店舗	1	0		1	1	100.0%
病院	2	1		1	1	50.0%
合計	6	3	0	3	3	50.0%

資料：町調べ

表 2-24 耐震診断義務付け対象建築物の耐震化状況（法附則第 3 条）（単位：棟）

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の 建築物 E	耐震性を 有する建 築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		B=C+D	耐震性を 有する建 築物 C			
病院	1	0		0	1	100.0%

資料：町調べ

（４）危険物貯蔵等建築物

町における危険物貯蔵等建築物の状況をみると、19 棟あり、耐震化率は 31.6%となっています。施設は全て民間建築物であり、公共建築物はありません。

表 2-25 危険物貯蔵等建築物の耐震化状況（法第 14 条）

建築物の種類	総数 A=B+E	昭和 56 年以前の建築物		昭和 57 年以降の 建築物 E	耐震性を 有する建 築物 F=C+E	耐震化率 G=F/A
		B=C+D	耐震性を 有する建 築物 C			
第 2 号特定建築物	19	13	0	13	6	31.6%

資料：町調べ

3 平成 32 年度を目処とした耐震化の目標設定

国の基本方針においては、平成 32 年度までに住宅及び多数利用建築物の耐震化率を少なくとも 95%にすることを目標としています。

道においても、国と同様に平成 32 年度までに住宅及び多数利用建築物の耐震化率を少なくとも 95%にすることを目標としています。

また、「平成 24～25 年度地震被害想定調査結果（北海道）」によると、道内における住宅及び多数利用建築物が 95%になることにより、想定地震に基づく全壊棟数は約 66%※、全半壊棟数は約 61%※減少すると推計されています。

町においては、国や道の計画との整合性を図り、平成 32 年度における住宅・多数利用建築物の目標耐震化率は 95%と定め、より一層の耐震化の促進に取り組みます。

また、計画期間である平成 37 年度までには、可能な限り耐震性のない住宅・多数利用建築物の解消を目指します。

※ 6 振興局平均：渡島・胆振・日高・十勝・釧路・根室（北海道耐震改修促進計画より）

図 2-20 耐震化率目標の考え方

		[計画当初]		[現 況]		[H32 耐震化率目標]
国	住 宅	75 %	→	82% (H25)	→	95%
	多数利用建築物	75 %	→	85% (H25)	→	95%
道	住 宅	76 %	→	87% (H27)	→	95%
	多数利用建築物	78 %	→	93% (H27)	→	95%
遠軽町	住 宅	46%	→	64% (H30)	→	95%
	多数利用建築物	38%	→	68% (H30)	→	95%

4 耐震化に向けた取組方針

(1) 住宅における必要耐震改修棟数の考え方

平成 30 年度から平成 32 年度にかけての住宅総数は、これまでの新築・除却傾向を踏まえて設定します。除却する住宅は全て昭和 56 年以前の住宅のうち、耐震性を持たないものと想定し、平成 31～32 年度の 2 年間で 114 棟^{※1} 減少するものとします。昭和 57 年以降の住宅は平成 32 年までに除却しないものとし、新たに 2 年間で 126 棟^{※2} 増加するものとします。以上から平成 32 年度の住宅数は 8,956 棟と設定します。

将来戸数 8,956 棟のうち、95%が耐震性を有するためには、8,509 棟(8,956 棟×0.95)以上の住宅が耐震性を有する必要があります。よって、平成 32 年までの 2 年間で 2,633 棟(年間約 1,316 棟)以上の耐震改修・除却などの対応が必要となります(8,509 棟－(4,761 棟+1,115 棟)＝2,633 棟)。

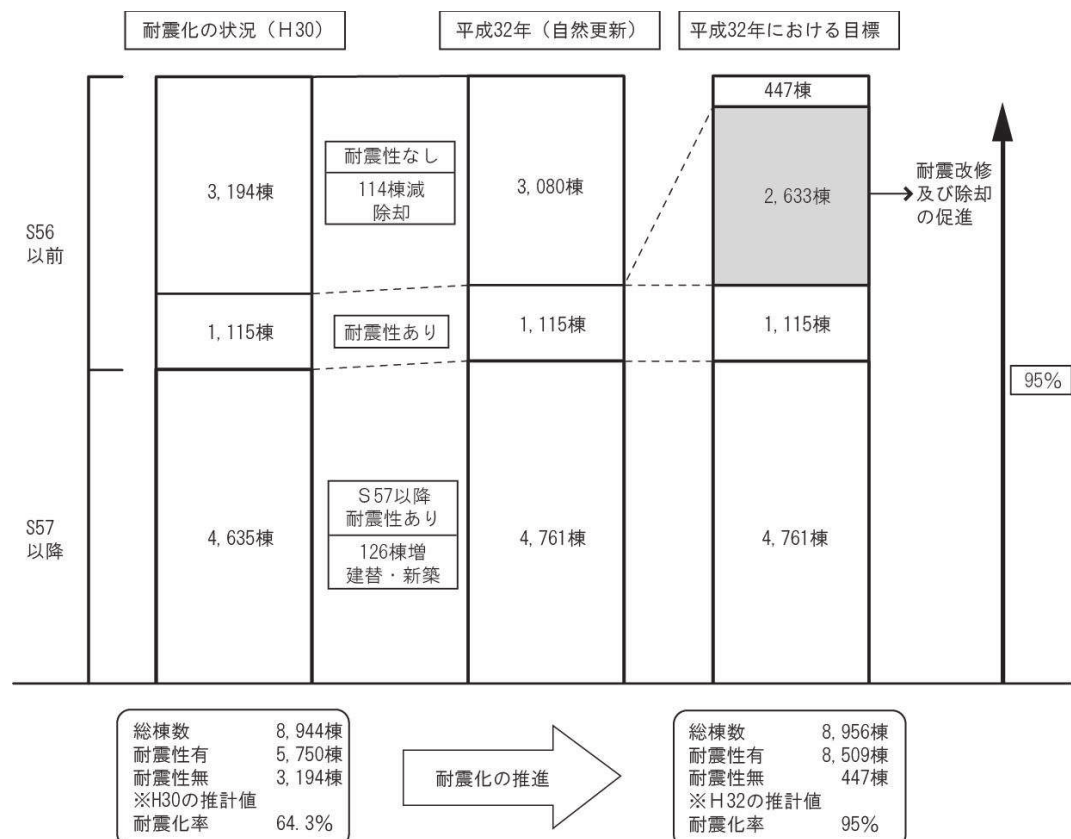
表 2-26 必要耐震改修棟数の考え方

	H30 年度	2 年間の増減	H32 年度 (自然更新)	耐震化必要棟数	H32 年度 (目標)
S56 以前建設	4,309	-114	4,195		4,195
耐震性有り	1,115		1,115		1,115
耐震改修実施	0		0	2,633	2,633
耐震性不十分	3,194	-114	3,080	-2,633	447
S57 以降建設	4,635	126	4,761		4,761
合計	8,944	12	8,956		8,956
耐震性満たす	5,750		5,877		8,509
耐震化率	64%		66%		95%

※1 減失：H22-29 の除却棟数平均 57 棟/年×2 年(H22 の S56 以前 4,763 棟－H30 の S56 以前 4,309 棟/8)

※2 建設：H22-29 の着工棟数平均(持ち家 49 棟+貸家 12 棟+給与住宅 2 棟)/年×2 年

※3 持ち家・給与住宅は 1 棟 1 戸、貸家は 1 棟 4 戸と想定



【参考：新設・除却住宅数の設定】

- ・町の住宅数は平成 22 年度の 8,851 棟から平成 30 年度では 8,944 棟となっており、8 年間で住宅数は 93 棟（年間平均約 12 棟）増加しています。
- ・昭和 57 年以降の住宅数は 8 年間で 1,663 棟（年間約 208 棟）増加、昭和 56 年以前の住宅数は 8 年間で 454 棟（年間約 57 棟）減少しています。
- ・本計画では、耐震性が不十分な住宅のみが減少し、耐震性を満たす住宅数は建築統計年報による平成 22～29 年の年間平均着工戸数約 100 戸であり、棟数に換算すると約 63 棟（持ち家・給与住宅は 1 棟 1 戸、貸家は 1 棟 4 戸と想定）が増加するものと想定します。
- ・耐震性を満たす住宅の減少は老朽化等によるもの、耐震性が不十分な住宅は全て建替えに伴う除却であると想定します。
- ・以上から、新設住宅数は年間平均約 63 棟、除却住宅数は年間平均約 57 棟と想定します。

表 2-27 新設住宅の建設状況の推移

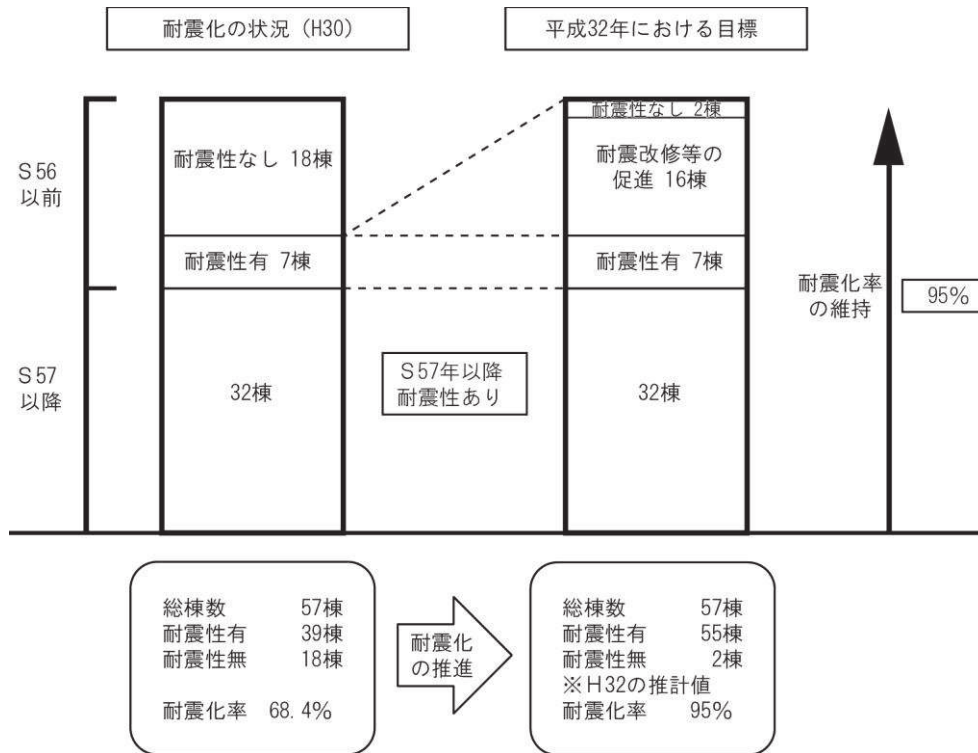
（単位：戸）

	合計	持ち家			貸家	給与住宅
			注文	分譲		
H22	88	50	50	0	37	1
H23	193	82	79	3	111	0
H24	103	53	53	0	49	1
H25	86	66	66	0	20	0
H26	78	39	39	0	35	4
H27	99	29	29	0	62	8
H28	60	33	33	0	24	3
H29	91	36	34	2	55	0
平均	99.8	48.5	47.9	0.6	49.1	2.1

資料：各年建築統計年報

(2) 多数利用建築物における必要耐震改修数

平成 30 年度時点の多数利用建築物は 57 棟あり、現時点での耐震化率は 68. 4%となっています。平成 32 年度までに耐震化率を 95%以上とするためには 16 棟（年間 8 棟）の耐震改修等が必要となります。



第3章 耐震化促進に向けた施策

住宅・建築物の耐震化の目標達成に向けて、次の3つを施策の基本的方向とし、国の住宅・建築物耐震改修等事業等の活用と、北海道との連携を図りながら、効果的、効率的な施策を展開します。

<住宅・建築物の耐震化促進に向けた施策体系>

施策の基本的方向	施策内容
1 住宅・建築物の地震防災対策に関する啓発、知識の普及	①パンフレットやインターネットを活用した普及啓発
	②一般向けセミナー等の開催
	③地震防災マップの更新・公表の促進
2 耐震診断・改修の促進を図るための支援や環境整備	①住宅の耐震化の促進
	②多数利用建築物の耐震化の促進
	③地震時に利用を確保することが公益上必要な建築物の耐震化の促進
	④地震時に通行を確保すべき道路の沿道建築物の耐震化の促進
	⑤耐震診断・改修に係る相談体制の充実
	⑥その他の地震時の安全対策の推進
3 耐震診断・改修を担う人材の技術向上	①耐震診断・改修技術講習会の開催
	②耐震改修工法や地震防災対策の研究・技術開発の推進

1 住宅・建築物の地震防災対策に関する啓発、知識の普及

町は、住宅や建築物の所有者に対して、地震に対する安全性確保の重要性を認識してもらうとともに、耐震診断や耐震改修の必要性や効果について普及啓発を図ります。

(1) パンフレットやインターネットを活用した普及啓発

町は、建築関係団体及び相談窓口などを通じて、耐震診断・改修に係る情報提供や地震防災パンフレット等普及啓発ツールの配布など耐震促進に係る情報の提供を行います。

また、町内会は災害時対応において重要な役割を果たすとともに、平時においても危険個所の点検や耐震化のための啓発活動を行うことが期待されます。

町は、地域に根ざした専門家や自主防災組織の育成、NPOとの連携など、地域単位の幅広い取組を支援する施策を講じることとします。

(2) 一般向けセミナー等の開催

住宅建築物の耐震診断及び耐震改修の必要性や効果についての普及を図るため、建築関係団体などと連携し、各地で開催されている一般向けリフォームセミナーなどを紹介していくものとします。

また、リフォーム工事や増改築工事は、耐震改修を実施する好機であることから、これらの工事とあわせて耐震改修が行われるように、所有者などに対してリフォームセミナーなどを通じて普及・啓発を図るものとします。

(3) 地震防災マップの更新・公表の促進

各地域において発生のおそれがある地震や発生時に想定される建築物被害等を住民の方々に伝え、注意を喚起することは、防災意識の高揚を図る上で重要です。

地震防災マップは、住民に理解しやすく、身近で詳細な情報が示されており、道内の全ての市町村では、地震防災マップのひとつである「揺れやすさマップ」を作成しています。平成24年の「北海道地域防災計画」の修正に伴い、想定地震についても見直されていることから、町のマップの更新や公表の促進を図ります。

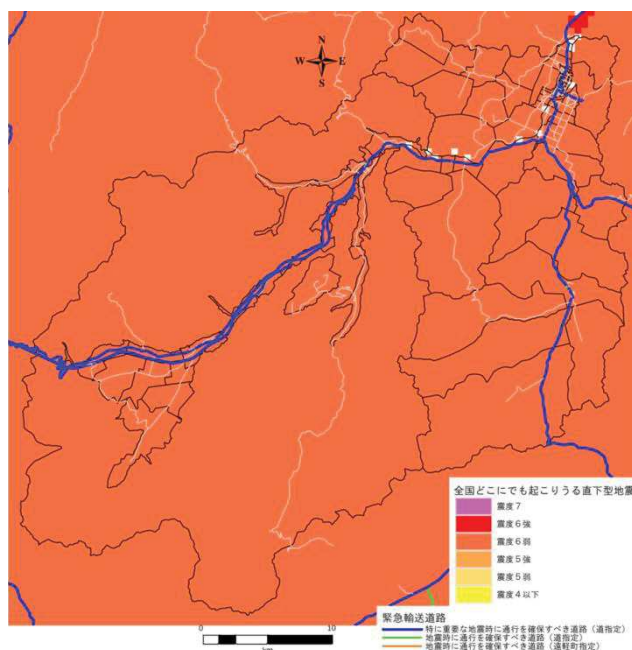
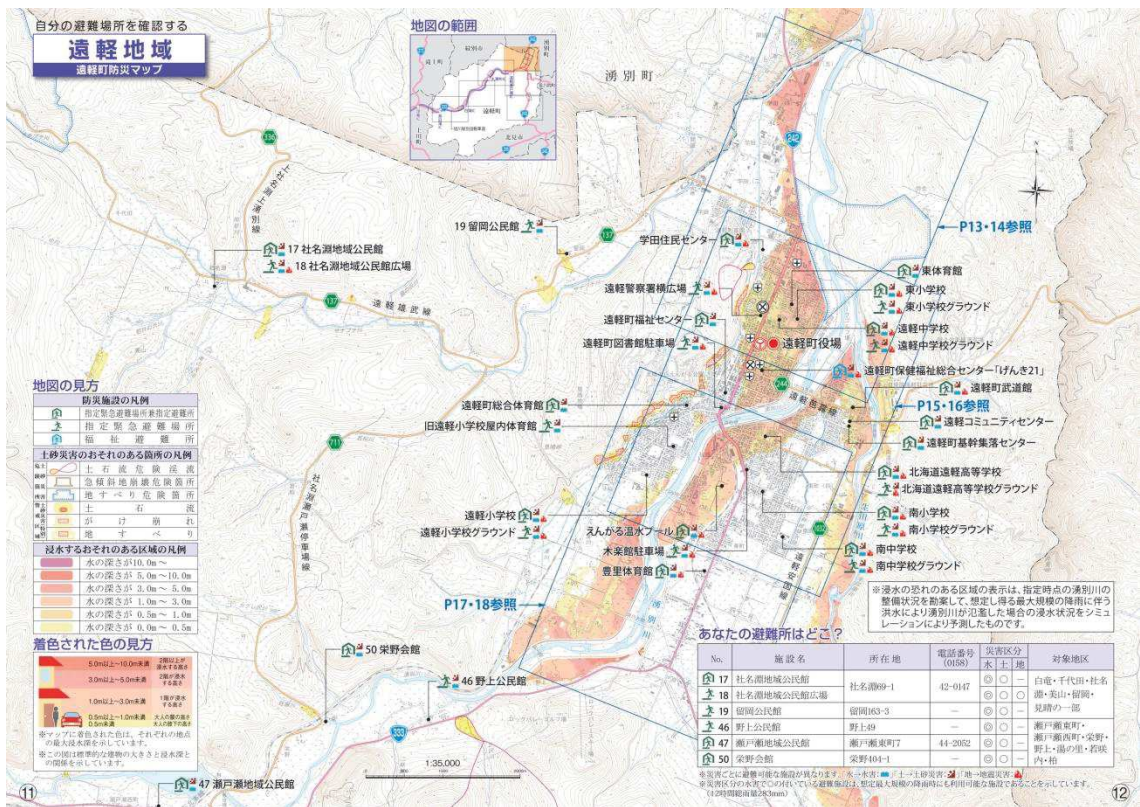


図 3-1 揺れやすさマップ

図 3-2 遠軽町防災ガイドマップ



2 耐震診断・改修の促進を図るための支援や環境整備

町は、耐震診断及び耐震改修の促進を図るため、耐震診断・改修に要する費用負担の軽減を図る所有者支援や、耐震診断・改修に関する相談体制の充実などの環境整備に努めます。

(1) 住宅の耐震化の促進

① 住宅の耐震診断の促進

住宅建築物の耐震化を進める上で、まず耐震診断を行う必要があります。耐震診断には、簡易診断、一般診断、精密診断があります。簡易診断は、行政や一般向けに普及しているものであり、所有者自身が手順に従って診断できる方法です。

また、一般診断は通常、建築士や工務店などの専門家が有料で現地調査を行って老朽度や壁量などから必要な耐力を判定するものです。

現在、北海道では、木造住宅建築物を対象とした「一般診断プログラム」を活用した「無料耐震診断」を実施しています。町においても、木造住宅建築物を対象とした「無料耐震診断」を実施し、耐震改修の必要性について普及・啓発を図るものとします。

② 住宅の耐震改修、建替え、老朽住宅の除却の促進

北海道では「既存住宅耐震改修事業補助金制度」を見直し、補助制度を設けている市町村に対し、耐震診断、補強設計、耐震改修の補助を行うこととしています。

また、国においても「住宅の耐震化を総合的に支援するメニュー」を創設しており、住宅耐震化に向けた積極的な取り組みを行う地方公共団体に対し補助を行うこととしています。

町においても、今後、道や国の補助制度を活用した施策の拡充について検討します。

参考：【道補助】既存住宅耐震改修事業補助金制度（概要）

1 補助の対象

（１）補助対象市町村

- ・補助制度を設けている市町村（札幌市を除く）

（２）補助対象事業

- ・耐震診断、補強設計、耐震改修工事

【対象住宅】

- ・所有者自ら居住の用に供している住宅
- ・昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工された住宅
- ・耐震診断の結果、現行の耐震関係規定と同程度の性能を満たさないと判断されたもの

2 補助スキーム

（１）耐震診断

- ・市町村補助額の 1/2
- ・道補助（国費含む）上限 44,500 円／戸

市町村補助（2／3）				事業者負担 （1／3）
道補助（1／3）		交付金 （1／6）	町負担 （1／6）	
道負担 （1／6）	交付金 （1／6）			

（２）補強設計

- ・市町村補助額の 1/2
- ・道補助（国費含む）上限 50,000 円／戸

市町村補助（2／3）				事業者負担 （1／3）
道補助（1／3）		交付金 （1／6）	町負担 （1／6）	
道負担 （1／6）	交付金 （1／6）			

（３）耐震改修

- ・市町村補助額の 1/2
- ・道補助（国費含む）上限 411,000 円／戸
- ・市町村において①又は②を選択

①定率補助

市町村補助（23%）				事業者負担 （77%）
道補助（11.5%）		交付金 （5.75%）	町負担 （5.75%）	
道負担 （5.75%）	交付金 （5.75%）			

②定額補助

耐震改修工事費	市町村の補助		
		道補助	市町村
100 万円未満	20 万円	10 万円	10 万円
100～200 万円未満	30 万円	15 万円	15 万円
200～300 万円未満	50 万円	25 万円	25 万円
300 万円以上	70 万円	35 万円	35 万円

参考：【国補助】住宅の耐震化を総合的に支援するメニュー（概要）

現行制度に加え、住宅耐震化に向けた積極的な取組（戸別訪問等、改修事業者への技術力向上支援、普及啓発等）を行う地方公共団体について、補強設計及び耐震改修を総合的に支援する。

耐震化に係る総合的支援メニュー【創設】 [対象市町村] 戸別訪問等を実施するなど、住宅耐震化に向け積極的な取組を行うとともに、「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム※」に基づき毎年度 PDCA サイクルを実施する市町村 [交付対象] 耐震設計等及び耐震改修費用を合算した額 [交付対象限度額] 100 万円（ただし改修工事費の 8 割を限度とする。） [交付率] 1/2	現行の耐震化支援制度（存置） ○耐震設計等 [補助対象] 設計等費用の 2/3 [交付率] 1/2 ○耐震改修 [補助対象] 耐震改修×23%又は下表の選択 注：地方公共団体が区域を定め戸別訪問を行う場合、耐震改修に対して、国と地方で 30 万円／戸を加算（H29 年度末までの措置） [交付率] 1/2 [補助限度額] 82.2 万円（戸建） <table border="1"> <thead> <tr> <th>耐震改修工事費</th><th>補助対象額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100 万円未満</td><td>20 万円</td></tr> <tr> <td>100～200 万円未満</td><td>30 万円</td></tr> <tr> <td>200～300 万円未満</td><td>50 万円</td></tr> <tr> <td>300 万円以上</td><td>70 万円</td></tr> </tbody> </table>	耐震改修工事費	補助対象額	100 万円未満	20 万円	100～200 万円未満	30 万円	200～300 万円未満	50 万円	300 万円以上	70 万円
耐震改修工事費	補助対象額										
100 万円未満	20 万円										
100～200 万円未満	30 万円										
200～300 万円未満	50 万円										
300 万円以上	70 万円										

総合的支援メニューの対象となる地方公共団体

少なくとも以下の耐震化を促進する取組を規定した住宅耐震化緊急アクションプログラムを策定し、毎年度耐震改修等に係る支援目標を設定するとともに、実施・達成状況を把握・検証・公表し対策を進めること。

【耐震化を促進する取組】

- ① 戸別訪問等の方法により住宅所有者に対して直接的に耐震化を促す取り組みを行うこと
- ② 耐震診断支援した住宅に対して耐震改修を促すような取組を行っていること
- ③ 改修事業者等の技術力向上を図る取組を行うとともに、住宅所有者から改修事業者等への接触が容易となる取組を行っていること
- ④ 広く一般に対し耐震化の必要性に係る普及・啓発を行っていること

※耐震化緊急促進アクションプログラム 記載内容例

- 1 年間の支援目標
- 1 年間の取組内容
- 前年度の取組実績
- 前年度の課題・改善策
- 前年度までの支援実績

（２）多数利用建築物の耐震化の促進

町は、学校・病院などの多数利用建築物について、耐震性能の向上について適切な措置を講じることができるよう、耐震化の状況などを記載したデータを管理しています。

町は、このデータを活用しながら、多数利用建築物の耐震化の促進に努めるとともに、地震に対する安全性を確保するため耐震診断や耐震改修の必要があると認めるときは、その建築物の所有者に対して、耐震改修促進法第 15 条第 1 項¹の規定に基づき、耐震診断及び耐震改修について必要な指導・助言を行います。

町が所有する多数利用建築物は、速やかに耐震診断及び耐震改修を実施し、耐震化を進めていく必要があります。

町の多数利用建築物の耐震化率は、平成 30 年度時点で 68% ですが、95% の達成を目指します。

また、多数利用建築物以外の町有施設についても、利用状況等を勘案しつつ、耐震化の促進に努めます。

（３）地震時に利用を確保することが公益上必要な建築物の耐震化の促進

大規模な地震が発生した場合において、災害応急対策の拠点となる施設や避難所となる施設など、その利用を確保することが公益上必要な建築物（防災拠点建築物）のうち、昭和 56 年以前の耐震基準（旧耐震基準）により建築され、地震に対する安全性が明らかでないものは、耐震診断を行うとともに、耐震改修の促進を図る必要があります。

このため「北海道耐震改修促進計画」では、次のとおり耐震改修促進法第 5 条第 3 項第 1 号²の規定に基づき、地震時に利用を確保することが公益上必要な建築物を指定して、当該建築物の耐震性の確保を図ることとしています。町においては生田原小学校、遠軽中学校、南小学校等が該当します。

耐震改修促進法第 5 条第 3 項第 1 号の規定に基づく要安全確認計画記載建築物として次の建築物を指定する。
耐震改修促進法附則第 3 条第 1 項に規定する要緊急安全確認大規模建築物のうち、災害対策基本法第 2 条に規定する地域防災計画において、地震が発生した場合における避難所として位置付けられているもの、又は位置付けられることが確実なもの
また、地震発生時に避難所として活用することについて、市町村と要安全確認計画記載建築物として必要な協定を締結しているもの

¹第十五条 所管行政庁は、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修の適確な実施を確保するため必要があると認めるときは、特定既存耐震不適格建築物の所有者に対し、技術指針事項を勘案して、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修について必要な指導及び助言をすることができる。

²第五条第 3 項 都道府県は、次の各号に掲げる場合には、前項第二号に掲げる事項（区域内の建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための施策に関する事項）に、当該各号に定める事項を記載することができる。

一 病院、官公署その他大規模な地震が発生した場合においてその利用を確保することが公益上必要な建築物で政令で定めるものであって、既存耐震不適格建築物であるものについて、耐震診断を行わせ、及び耐震改修の促進を図ることが必要と認められる場合 当該建築物に関する事項及び当該建築物に係る耐震診断の結果の報告の期限に関する事項

（４）地震時に通行を確保すべき道路の沿道建築物の耐震化の促進

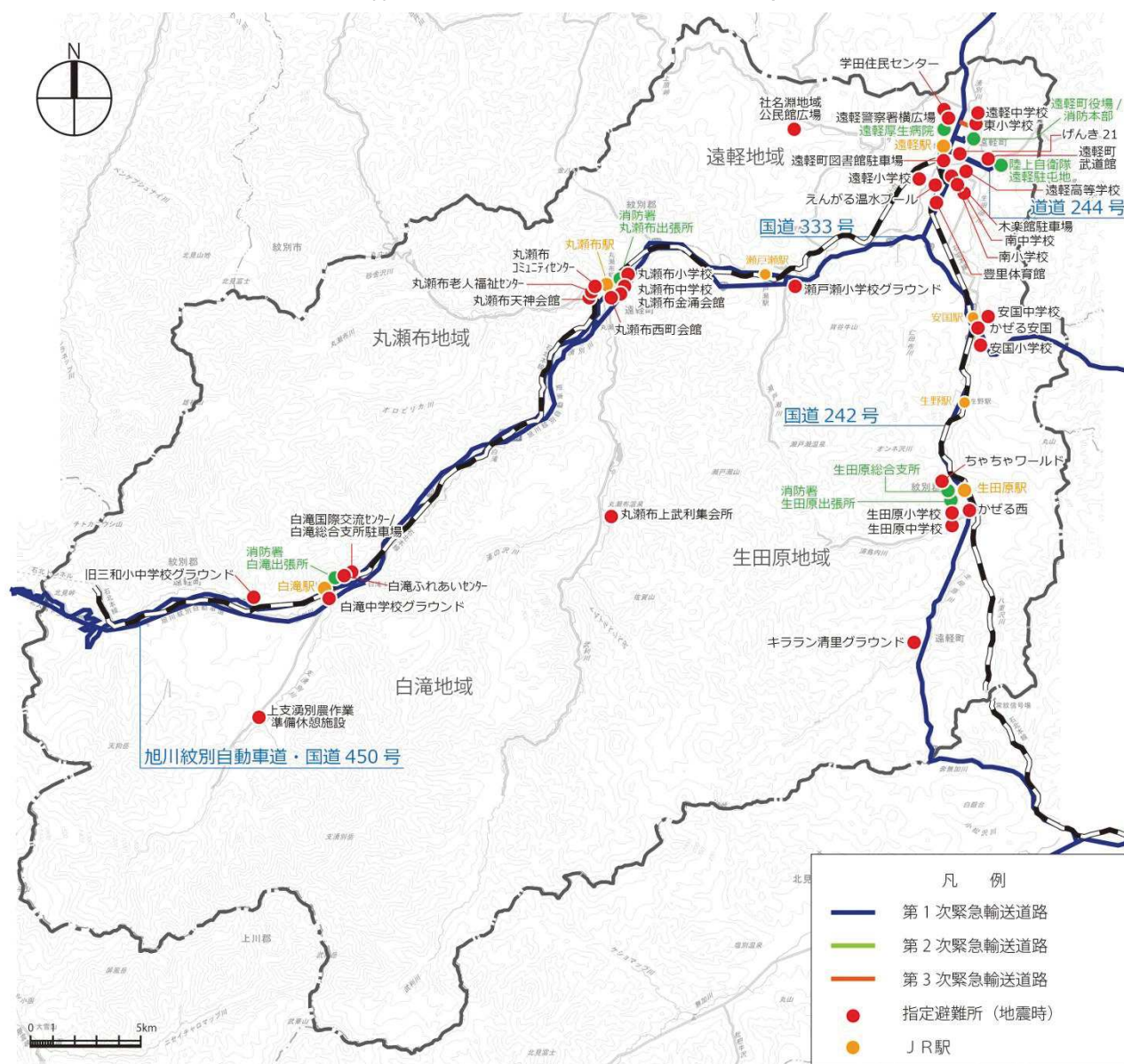
地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施するために必要な道路として、北海道緊急輸送道路ネットワーク計画において、第１次から第３次までの緊急輸送道路が位置付けられています。

道では、緊急輸送道路は、地震によって沿道の建築物が倒壊した場合において、緊急車両の通行や住民の避難を確保する必要があることから、耐震改修促進法第５条第３項第３号に規定する道路に指定することとします。

道では、この緊急輸送道路の沿道にある建築物で、前面道路幅員に対し一定の高さなどを有するものは、市町村と連携して、建築物の所有者に対し、地震時の倒壊により道路を閉塞するおそれがある建築物であることを伝えるとともに、当該建築物の耐震診断の実施を促すこととし、地震に対する安全性を確保するため耐震改修の必要があると認めるときは、耐震改修を実施するよう指導・助言を行っていきます。

また、町においても、地域における避難路、密集市街地内の道路など地域防災計画との整合を図りながら、重要性や必要性を勘案し、地震発生時に通行を確保すべき道路を耐震改修促進計画において定めるなど、沿道の建築物の耐震化の促進に努める必要があります。

図 3-3 地震時に通行を確保すべき道路と指定避難所（地震時）



[北海道緊急輸送道路ネットワーク計画（北海道緊急輸送道路ネットワーク計画等策定協議会）抜粋]

第 1 次緊急輸送道路

道庁、地方中心都市及び重要港湾、空港、総合病院、自衛隊、警察、消防等を連絡する道路

第 2 次緊急輸送道路

第 1 次緊急輸送道路と市町村役場、主要な防災拠点（行政機関、公共機関、主要駅、港湾、ヘリポート、災害医療拠点、備蓄集積拠点、広域避難地等）を連絡する道路

第 3 次緊急輸送道路

第 1 次及び第 2 次緊急輸送道路とその他の防災拠点を連絡する道路

図 3-4 地震時に通行を確保すべき道路と指定避難所（地震時）遠軽地域

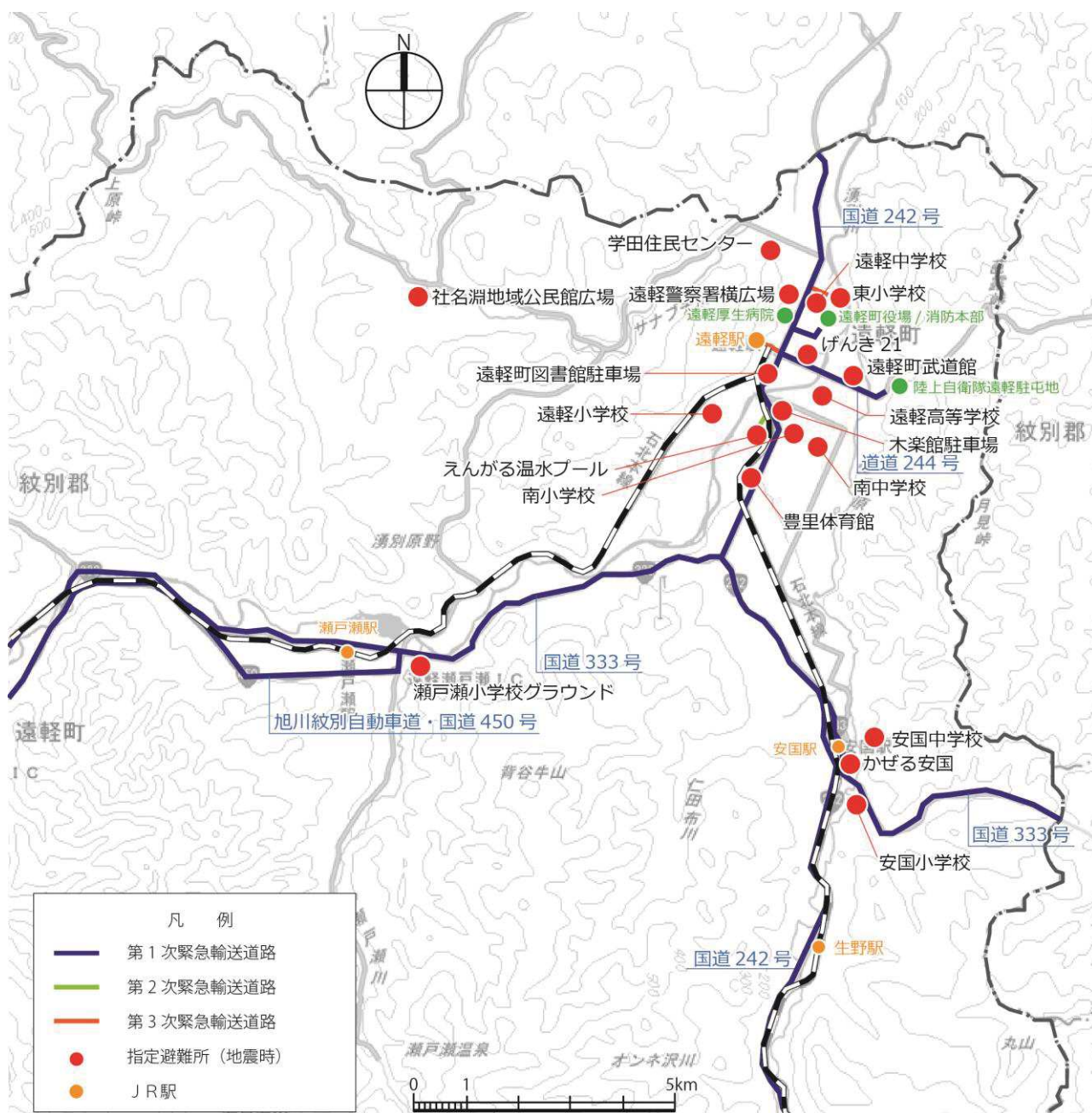


図 3-5 地震時に通行を確保すべき道路と指定避難所（地震時）遠軽市街地

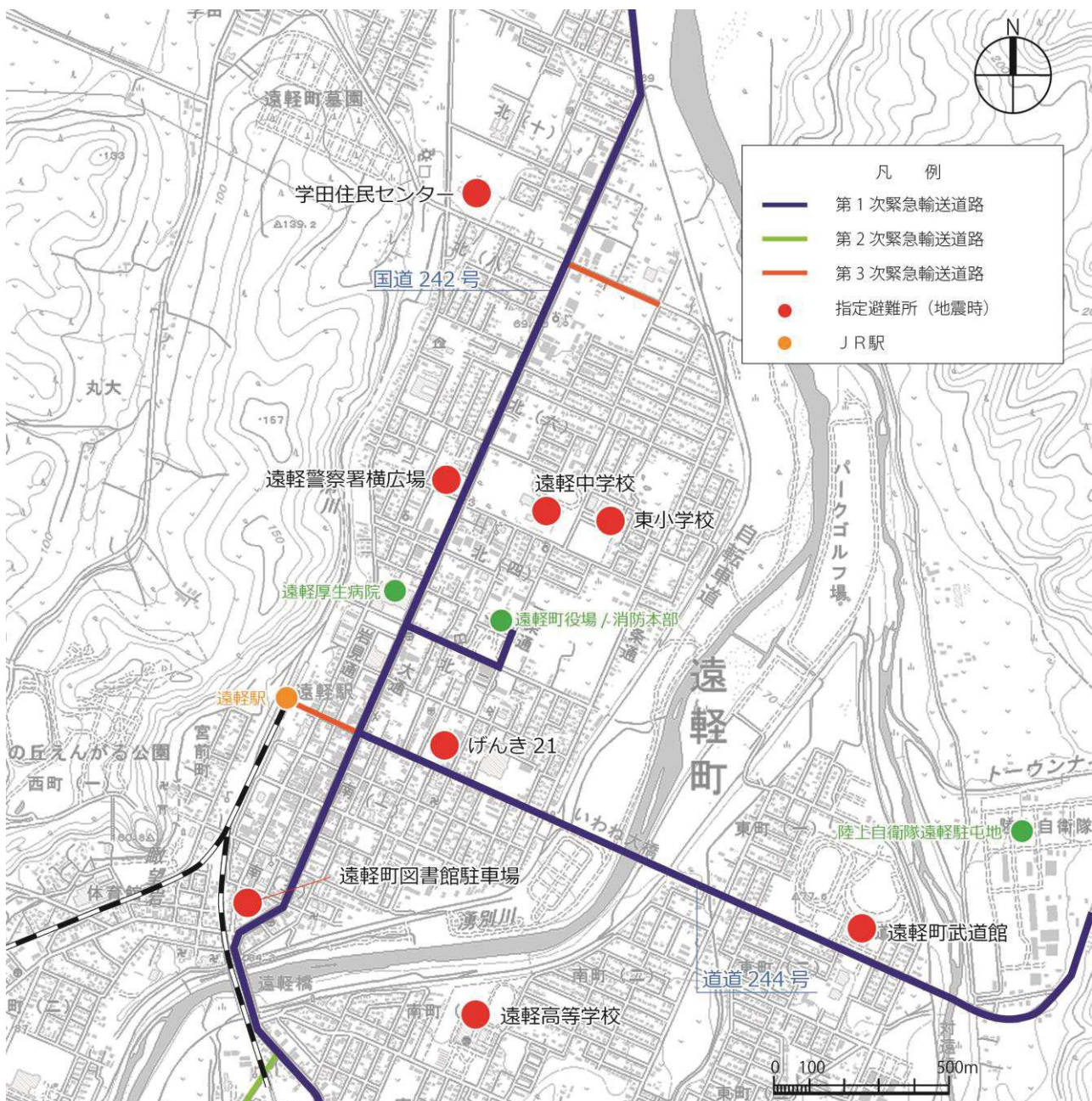


図 3-6 地震時に通行を確保すべき道路と指定避難所（地震時）生田原地域

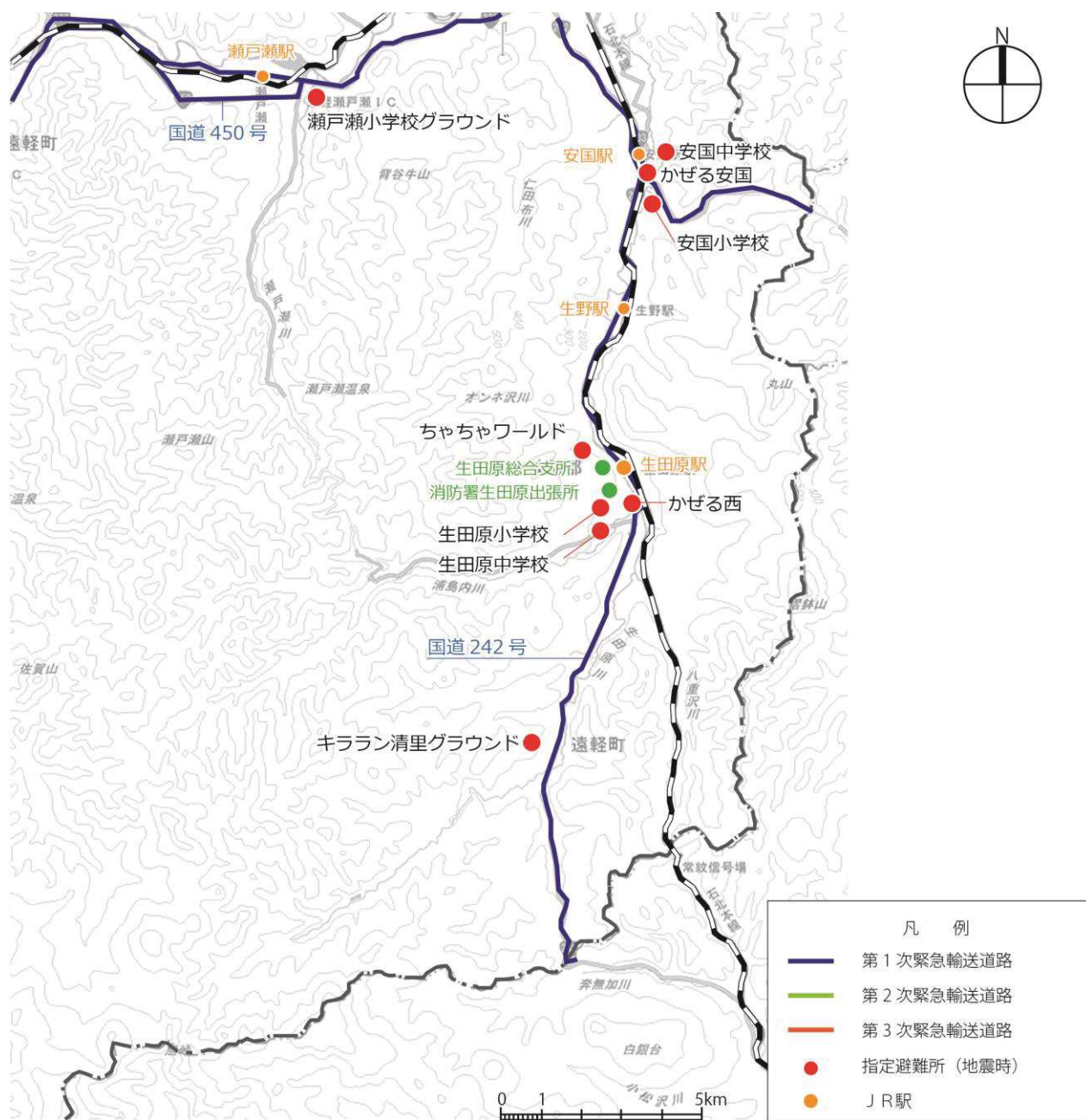


図 3-7 地震時に通行を確保すべき道路と指定避難所（地震時）丸瀬布地域

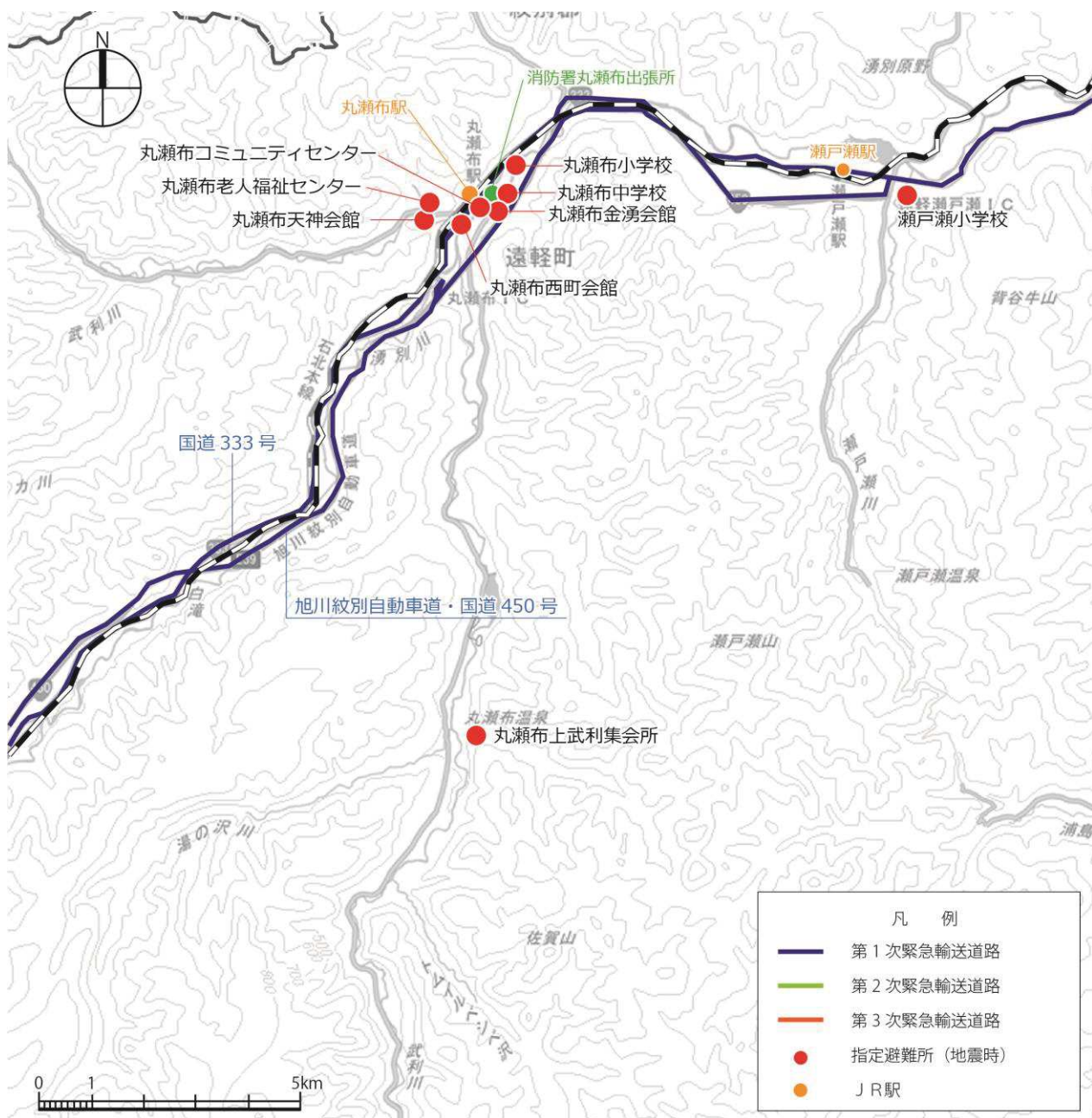


図 3-8 地震時に通行を確保すべき道路と指定避難所（地震時）白滝地域



（５）耐震診断・改修に係る相談体制の充実

①相談窓口の充実

相談窓口を設置し、オホーツク総合振興局建築指導課、(財)北海道建築指導センターと連携し、専門家による対応を行うものとします。耐震化に係わる相談のみならず、住宅建築物に関する一般的な相談やリフォームに関する相談など総合的な相談窓口とするものとします。

また、近年、悪質なリフォーム工事詐欺による被害が社会問題となっており、住宅建築物の所有者が安心して耐震改修を実施できる環境整備を行うものとします。

②相談員の資質向上

相談員の資質向上を図るため、北海道及び(財)北海道建築指導センターと連携し、技術研修会を実施するものとします。

また、相談窓口において、「無料耐震診断」を実施するため、耐震診断プログラム研修会などに参加するものとします。

（６）その他の地震時の安全対策の推進

①窓ガラス等の落下の防止対策

地震動による落下物からの危害を防止するため、市街地で主要道路に面する地上３階建て以上の建築物の窓ガラス・外装材・屋外広告物等で落下のおそれのあるものについて、必要に応じて、所有者に対し改善指導を行います。

②大規模空間の天井の脱落防止対策

平成１５年の十勝沖地震では、空港ターミナルビルの天井が崩落する被害が生じ、さらに平成２３年の東日本大震災では、体育館や劇場など比較的新しい建築物も含めて大規模空間の天井が脱落する被害が発生しました。これらの被害を踏まえ、道及び町では、国土交通省の基準等に基づき、公共施設の対策を講じるとともに、建築基準法に基づく所有者による定期報告制度などにおいて、安全性の確保を図るよう指導します。

③エレベーター内の閉じ込め防止対策

近年、地震発生時において、多くのビルでエレベーターが緊急異常停止し、エレベーター内に人が閉じ込められるなどの被害が発生しています。

これらの被害を防止するため、建築基準法に基づく所有者による定期検査において、地震の初期振動を感知し最寄階に停止させ、ドアを開放する「地震時管制運転装置」の設置の促進を図るとともに、地震時のリスク等を周知するなど、安全性の確保を図るよう指導します。

④ブロック塀等の倒壊防止対策

地震によるブロック塀等の倒壊を防止するため、既存ブロック塀等については、建築パトロールなどを通じて、点検・補強の指導を行うとともに、新規に施工・設置する場合には、施工・設置基準を遵守させるなど、安全性の確保について指導します。

3 耐震診断・改修を担う人材の技術力向上

（１）耐震診断・改修技術講習会の開催

耐震改修工事は、十分な技術的知見を有する建築士や事業者が行った詳細な耐震診断結果に基づいて実施することが重要です。

町では、所有者の相談ニーズに応じるため、道や建築関係団体と連携し、建築構造別耐震診断法や性能向上、制度面での知識向上を図る講習会を開催します。

（２）耐震改修工法や地震防災対策の研究・技術開発の推進

住宅・建築物の耐震改修を推進するためには、コスト削減や本道の気候風土に適した効果的な新工法や地震被害評価手法などの技術開発を図ることが必要です。

町では、北海道立総合研究機構北方建築総合研究所との連携等により耐震診断や耐震改修工法等に係る民間への普及を図ります。

第4章 耐震改修促進法及び建築基準法に基づく指導

所管行政庁である北海道と連携し、耐震改修促進法に基づく指導、建築基準法に基づく勧告又は命令等を行います。

1 耐震改修促進法に基づく指導等

平成25年の耐震改修促進法の改正では第16条において、現行の建築基準法令の耐震関係規定に適合しない全ての住宅や建築物の所有者に対して、耐震診断と必要に応じた耐震改修の努力義務が課されることとなりました。

このため、所管行政庁である北海道は、周辺への影響などを勘案して必要があると認めるときは、その所有者に対して、耐震診断及び耐震改修について必要な指導・助言を行います。

また、耐震診断が義務付けされた不特定多数の者等が利用する大規模建築物及び耐震改修促進法第15条第2項に規定する不特定多数の者等が利用する一定規模以上の建築物等について、所有者が必要な耐震診断や耐震改修を行われていない場合に、所管行政庁は国の基本方針に規定する技術上の指針となるべき事項を勘案して、指導・助言・指示を行うこととします。さらに正当な理由なく所有者が指示に従わなかったときは、その旨を公表することとします。

2 建築基準法に基づく勧告又は命令

建築基準法では、耐震改修促進法に基づく指導・助言、指示等を行ったにもかかわらず、耐震診断が義務づけられた大規模建築物等の所有者が必要な対策をとらなかった場合、所管行政庁は建築基準法第10条の規定に基づく勧告や命令を行うことができます。

建築基準法による勧告又は命令：

構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性について著しく保安上危険であると認められる建築物については、建築基準法第10条第3項の規定に基づく命令を行うことができます。

また、損傷・腐食及びその他の劣化が進み、そのまま放置すれば著しく保安上危険となるおそれがあると認められる建築物については、建築基準法第10条第1項の規定に基づく勧告や同条第2項の規定に基づく命令を行うことができます。

3 所管行政庁との連携

建築物の耐震化を促進するためには、指導等を行うにあたり、その内容、実施方法を定め、効果的な実施を図っていく必要があります。

町は今後、北海道と連携しながら「全道建築防災・維持保全連絡会議」等の場を通じ、勧告・是正命令等の具体的な取り組み方針を定め指導等を進めます。